



「みんなで育てる

身近な図書館」を目指して

(第2次和光市図書館サービス計画 2018~2022)



平成30年3月
和光市図書館

目次

第1章 計画の概要	1
1 計画策定の背景と目的.....	1
2 計画の位置付けと期間.....	2
3 計画の実現に向けて.....	2
4 第1次サービス計画の成果と課題整理.....	3
5 各種統計資料及びアンケート調査等から読み取れる特長と課題.....	6
第2章 基本計画	8
1 将来像.....	8
2 施策の体系.....	9
3 基本施策.....	11
4 重点プラン.....	16
第3章 各種施策	18
基本施策Ⅰ 和光市らしさを意識した図書館へ.....	18
基本施策Ⅱ みんなが利用しやすい図書館へ.....	24
基本施策Ⅲ 居心地の良い図書館へ.....	36
資料編	46

第2次和光市図書館サービス計画の策定にあたって

市民の皆様、図書館利用者の皆様には、日頃より和光市図書館の運営にご理解・ご協力をいただいておりますことに、心より厚く御礼申し上げます。

本市図書館は、昭和58年8月に開館して以来、本年には設立35周年を迎えます。この間、市民の皆様の日常生活の課題を解決する支援や読書活動の支援を積極的に推進してまいりました。平成20年3月には「和光市子ども読書活動推進計画」を策定し、市内小中学校、保育園、幼稚園等への図書の貸出（団体貸出）やボランティアによる読み聞かせなどに取り組んできました。これらの取組みは「埼玉・教育ふれあい賞」（平成21年11月）、「文部科学大臣表彰子ども読書活動優秀実践図書館」（平成24年4月）の受賞という成果に結びついたものと思います。その後、平成25年3月には「第2次和光市子ども読書活動推進計画」を策定すると同時に、和光市図書館独自のサービス計画として「和光市図書館サービス計画」を策定いたしました。平成25年度から平成29年度は、この2つの計画を車の両輪として、様々な取組みを行ってきたところです。また、平成28年11月には和光市にとって初めての図書館分館となる和光市図書館下新倉分館が開館し、和光市駅北側に図書館を利用できる環境が整備され、より一層の図書館サービスの充実に努めてまいりました。

さて、図書館は「知の情報拠点」と言われていますように、利用者が図書館で本を「借り・読み・調べる」ことを通じて、先人の知恵や業績に触れたり、知識を吸収して、自らの知性や人間性を高めることができる社会教育施設として重要な役割を担っています。また、近年では図書館について「より実践的な知的サービスの提供」や、「高齢者や障害者、困難を抱える人々等にも読書の機会を提供し、誰に対しても知的サービスを提供する施設として社会的包摂の観点から地域のニーズに積極的・能動的に responding していくこと」等も重要な課題と指摘されています。

一方、情報を求める利用者の多くは知識や経験に基づく様々な情報を持っています。図書館資料が持つ情報に加え、様々な人々が持つ情報を多様な機関や団体と有機的に結び付けることによって、まさに「知の情報拠点」である図書館を核としたまちづくりが展開できるものと考えます。そのためには、地域を支える情報拠点である図書館が、プラットフォームのとしての役割や機能を発揮していくことが求められます。

この度、第1次和光市図書館サービス計画期間中の課題等も踏まえて、第2次和光市図書館サービス計画を策定いたしました。第1次サービス計画で定めた将来像である「みんなで育てる身近な図書館 ～地域コミュニティを支える情報拠点を目指して～」は第2次サービス計画においても踏襲しつつ、新たな取り組み等も盛り込んだ計画となっています。この計画を着実に進めていくことで、より一層の図書館サービスの充実に努めていきたいと考えております。

図書館づくりの主役は言うまでもなく市民の皆様です。和光市図書館をみんなで育てていただくと同時に、みんなと一緒に育っていく図書館となっていくことを目指してまいります。

最後となりましたが、本計画策定にあたり貴重なご意見ご提案をいただきました和光市図書館協議会委員の皆様をはじめ、アンケート調査やワークショップ等にご協力いただきました市民・利用者の方々に深く感謝を申し上げますとともに、今後とも変わらぬご指導、ご支援を賜わりますようお願いを申し上げます。挨拶とさせていただきます。

平成30年3月

和光市教育委員会教育長 戸部 恵一

第1章 計画の概要

1 計画策定の背景と目的

今日のわが国の状況は、高度情報化・国際化が進んでいる一方、少子高齢化や人口の減少、国や地方の財政状況の悪化なども同時に進行しています。

このような社会情勢の変化の中、各個人一人ひとりのニーズが多様化、複雑化し、図書館を取り巻く環境も大きく変わってきています。昭和24年に社会教育法が制定されてから間もなく70年を迎えようとする社会教育行政は、近年では社会教育における学習成果を「地域づくり」の実践につなげていくことに関して社会の期待が高まっていると言われるようになってきました。文部科学省生涯学習政策局が設置した「学びを通じた地域づくりに関する調査研究協力者会議」がまとめた論点整理によれば、図書館や博物館は施設の特성에応じて『地域課題解決学習』の推進による地域コミュニティの維持・活性化への貢献、社会的包摂への寄与、社会の変化に対応した学習機会の提供の役割¹や、「地域住民が学び、交流する拠点としての役割」が求められ、さらに図書館については「より実践的な知的サービスの提供」や、「高齢者や障害者、困難を抱える人々等にも読書の機会を提供し、誰に対しても知的サービスを提供する施設として社会的包摂の観点から地域のニーズに積極的・能動的に responding していくこと」や、「困難を抱えた親子に対して読書の機会を提供していくことも重要な課題」と指摘されています¹。

図書館は、今まで市民の日常生活の課題解決を支援する施設として取り組んできました。これからは時代の変化にあった幅広いサービスの提供、より高度な専門性が求められ、地域の情報拠点・生涯学習の拠点として一層図書館が果たす役割の重要性が増していくものと考えられます。

和光市図書館は、平成25年度から平成29年度までを計画の期間とした『和光市図書館サービス計画（以下『第1次サービス計画』といいます）』を策定し、様々な取り組みを行ってきました。平成28年11月には和光市図書館下新倉分館（以下『下新倉分館』といいます）が開館したことにより、駅北側に図書館を利用できる環境が整備され、より市民に利用しやすい図書館サービスを提供することができるようになりました。

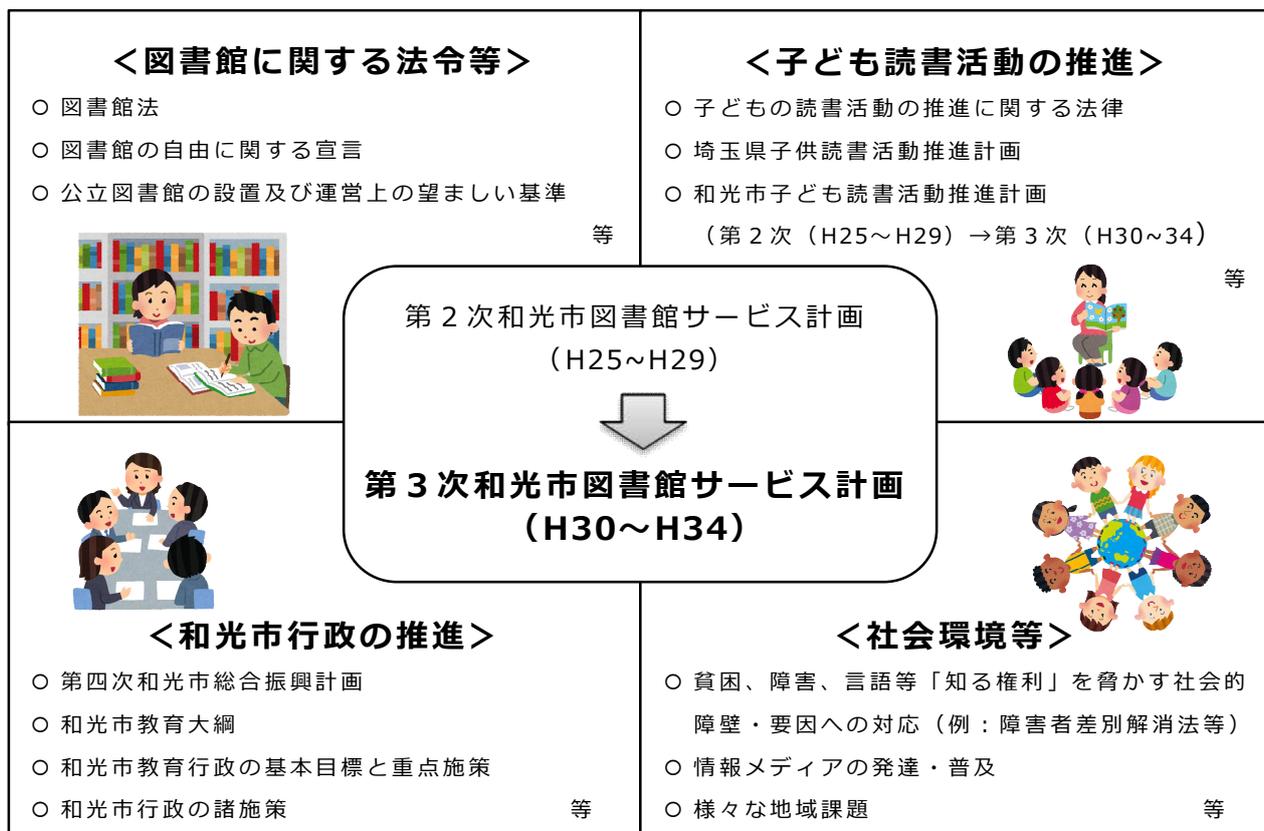
和光市図書館は、これまでの取り組みを踏まえつつ、より良い図書館サービスを実現できるよう、『第2次和光市図書館サービス計画』を策定します。

市民が市政の主役と言われているように、図書館づくりの主役は市民です。本計画に基づき、図書館は各種施策等に取り組みながら、図書館を支えていただいている市民、地域、ボランティアなどすべての人々と協力・連携することにより、将来像【みんなで育てる 身近な図書館 ～地域コミュニティを支える情報拠点を目指して～】に向けてより一層の充実した図書館サービスを提供いたします。そして、和光市のまちづくりにとって無くてはならない「身近な図書館」となるように、みんなで育てていただくと同時に、みんなと一緒に育っていく図書館となることを目指します。

¹学びを通じた地域づくりに関する調査研究協力者会議『人々の暮らしと社会の発展に貢献する持続可能な社会教育システムの構築に向けて論点整理』（平成29年3月）

2 計画の位置付けと期間

(1) 計画の位置付け



(2) 計画の期間

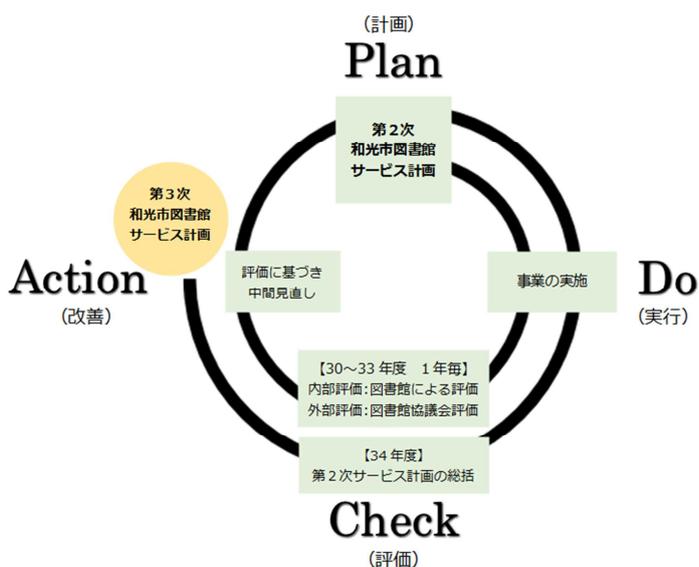
計画の期間は、平成30年度から34年度までの5年間とします。なお、必要に応じて見直しを行います。

3 計画の実現に向けて (PDCAサイクルによる計画の推進)

本計画は、各施策に「取組年度」と「5年後の目指す姿 (定性的目標)」と「数値指標 (定量的指標)」を設定し、図書館による内部評価を行い、さらに外部評価として、和光市図書館協議会において実施状況について評価を受けます。

これらの評価結果を参考に、各種事業の見直しを行うなど、計画の実現に向けて、P計画(plan)-D実施(do)-C評価(check)-A改善(action)サイクルによる取組を進めていきます。

なお、最終年度は期間中の成果を中間総括し、第3次サービス計画の策定に活かすこととします。



4 第1次サービス計画の成果と課題整理

第1次サービス計画期間中（平成25年度から平成29年度まで）、和光市図書館では図書館を取り巻く環境変化、利用者ニーズ等を踏まえながら様々な施策を実施してきました。ここではこれまでの取り組み状況や成果を振り返り、そして総括することで課題整理をいたします。

（1）第1次サービス計画における成果と課題（資料1）

第1次サービス計画期間中、国により「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」の改正や「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が定められるなど、図書館にかかわりの深い動きが見られました。また、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（いわゆる「障害者差別解消法」）」の施行に伴い、図書館においても「合理的配慮」の概念は明確なものとなるなど、あらためて「知る権利」を脅かす社会的障壁を取り除くことに関して、図書館として果たすべき役割は重要であると考えられます²。

読書環境については、情報メディアの発達・普及によって少しずつ変化が起きています。「平成29年版情報通信白書」によれば、スマートフォンの普及率は、平成23年（2011）には14.6%であったものが、平成28年（2016）には56.8%と、5年間で4倍に上昇しています（総務省「平成29年版情報通信白書」）。電子書籍市場の拡大等、出版業界をめぐる環境の変化は、読書環境の変化と密接に関係しているものと推測されます。

このような社会的背景の中、第1次サービス計画では以下の3つの基本施策に基づき、事業を展開してきました。

基本施策Ⅰ 市の特性に合った計画的な蔵書管理

基本施策Ⅱ 快適な図書館サービスの提供

基本施策Ⅲ 誰もが便利と感じる図書館機能の充実

第1次サービス計画期間中の数値目標の達成状況を資料1にまとめました。平成28年度現在で目標に未達成のものもありますが、「図書資料等の満足度」「視聴覚資料等の満足度」「読書習慣がある児童の割合（小学生）」「貸出点数」を除いては平成24年度当初の数値を上回っており、おおむね順調に推移しています。しかし、「図書資料等の満足度」が低下していることは大きな課題と考えられます。

（2）図書館協議会委員による中間評価（資料2）

和光市教育委員会の諮問に基づき、年度毎に図書館協議会委員に第1次サービス計画の進捗状況について中間評価をしていただきました。これまでの中間評価の概要については資料2のとおりまとめました。



²障害者差別解消法の制定を受け、公益社団法人日本図書館協会は平成27年12月に「図書館利用における障害者差別の解消に関する宣言」を発表し、平成28年3月に「図書館における障害を理由とする差別の解消の推進に関するガイドライン」を作成している。

資料1 第1次和光市図書館サービス計画における成果と課題整理

第1次サービス計画策定から現在までの国等の動向及び和光市や図書館を取巻く環境変化

<国等の動向>

- 「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」の改正（H24.12）
- 子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（H25.5）
- 第2期教育振興基本計画（H25～29年度）
- 子どもの貧困対策の推進に関する法律（H26.1施行）
- 学校図書館法の改正（H26.6施行）
- 子供の貧困対策に関する大綱（H26.8.29閣議決定）
- 障害者差別解消法（H28.4施行）

<読書環境を取巻く環境>

- 貧困、障害、言語等「知る権利」を脅かす社会的要因の存在
- 情報メディアの発達・普及による読書環境の変化

<和光市の状況>

- 人口の増加傾向・転出入の増加
H24年度 76,481人→H28年度 78,606人 約2.8%増
(住民基本台帳4月現在で比較)
- 外国人人口の増加
H24年度 1,796人→H28年度 1,940人 約8.1%増
(住民基本台帳4月現在で比較)
- 高齢化の進展
H24年度 14.8%→H28年度 16.9% 約2.1%増
(第四次総合振興計画改訂版より)

第1次サービス計画期間における和光市図書館の主な取組と成果の概要

<基本施策Ⅰ 市の特性に合った計画的な蔵書管理>

- 「和光市図書館資料収集方針」策定
- 「雑誌スポンサー制度」の導入

<基本施策Ⅱ 快適な図書館サービスの提供>

- ブックスタート事業、出張ブックスタート事業開始
- キッズルーム設置
- 「読書通帳」及び「わかガチャ」の開始
- YA通信発行
- ビブリオバトル開始
- オンラインデータベースの充実
- 「和光市図書館利用困難者支援事業実施要綱」の策定
- 対面朗読サービス、デイジー再生機等利用サービス開始
- 「りんごの棚」設置
- 外国語資料の充実、外国語の利用案内作成
- <基本施策Ⅲ 誰もが便利と感じる図書館機能の充実>
- 開館時間変更 10:00→9:30
- 公民館での貸出時間の拡大による予約受取サービス拡充
- 庁内業務支援サービスの開始
- 和光市図書館サポーター制度の開始

<数値目標の達成状況>

	H24年度	H28年度	目標値	達成度
基本 図書資料の蔵書数(冊)	172,935 (H23年)	→ 192,431	190,000	101.3%
図書資料等の満足度(%)	60.6	→ 55.3	65.0	85.1%
基本 視聴覚資料数(点)	9,079 (H23年)	→ 9,350	9980	93.7%
視聴覚資料等の満足度(%)	27.9	→ 18.7	33	56.7%
基本 郷土・行政資料の蔵書数	3,656 (H23年)	→ 4,804	4,100	117.2%
乳幼児・小学生対象事業等参加人数(人)	1,539 (H23年)	→ 3,608	1,650	218.7%
読書習慣がある児童の割合(小学生)	84.2	→ 75.5	89	84.6%
読書習慣がある生徒の割合(中学2年)(%)	68.9	→ 74.3	74	100.4%
基本 読書習慣がある生徒の割合(高校2年)(%)	49.0	→ 52.3	54	96.9%
ビジネス支援端末利用件数(件)	968.0	→ 1,213	1,200	101.1%
基本 放送大学再視聴施設利用件数(件)	-	→ 79	-	-
障害者・高齢者サービス資料の蔵書数(冊)	-	→ 2,033	-	-
障害者・高齢者サービス登録者数(人)	-	→ 14	-	-
60～69歳の登録件数(件)	3,909 (H23年)	→ 5,054	4150	121.8%
外国語資料の蔵書数(冊)	790 (H23年)	→ 1,129	940	120.1%
公民館図書室における資料貸出点数(点)	7,525	→ 7,917	10535	75.1%
基本 庁内業務支援サービスの実施件数	-	→ 7	-	-
図書館ボランティアの登録人数(人)	78	→ 124	100	124.0%
基本 地域情報コーナーのチラシ等の数(種類)	-	→ 212	-	-
館内の環境の満足度(%)	62.6	→ 69.8	68	102.6%
基本 インターネット予約件数(件)	21,931 (H23年)	→ 27,885	23,500	118.7%
貸出点数(点)	372,949	→ 371,986	420000	88.6%
基本 レファレンス件数	-	→ 5,670	-	-

※目標値は第1次和光市図書館サービス計画における最終年度の数値目標による

※実績値のうち、満足度及び読書習慣割合等一部の値は、平成29年度実施のアンケート調査の結果による。

第1次サービス計画期間における主な課題

- 資料の保存場所の確保
- 図書資料・視聴覚資料の充実
- 市内小・中・高等学校と連携した取組みの強化
- ビジネス支援の強化
- 高齢者、障害者、外国人等の対象者ニーズに合わせたサービスの実施
- 他の公共機関等との連携強化
- 地域活動団体、ボランティア団体等との連携強化
- Wi-Fi環境の整備

資料2 和光市図書館協議会による第1次サービス計画進行状況評価 総括表

施策	平成26年度	平成27～28年度	
基本 策 I	1 図書資料等の収集・保存	概ね適切 特に無し	適切 市内の分担保存について考えること。
	2 視聴覚資料の充実	概ね適切 特になし	適切 ナグソスミュージックライブラリーの利用指標を検討すること。
基本 策 II	3 郷土・行政資料の収集・保存	概ね適切 郷土資料が市内公共施設等のどこにあるかがわかるようなリストを作成すること。また、郷土資料の活用方法について検討し実施すること。	適切 特になし
	基本施策Iの評価コメント	蔵書管理は概ね適切にできている。ただし、今後は特性にあった蔵書管理を進める。特に郷土資料については、和光市内の関係機関と連携して資料を収集し、全体を管理していかると良い。	蔵書管理は概ね適切にできている。今後は4市の分担保存や市内の分担保存について検討していただき、適切に管理するよう努めてもらいたい。
基本 策 III	1 乳幼児、小学生へのサービスの充実	適切 特になし	適切 特になし
	2 中学生及び高校生へのサービスの充実	不十分 中高生向けの図書館サポーターの設置、YA向け情報発信サービスの充実及び中高生向けの講演会を実施すること。	適切 特になし
	3 成人へのサービスの充実	概ね適切 図書館だよりを発行し、放送大学再視聴覚施設の利用など成人向けサービスを周知すること。	概ね適切 商工会と連携して、ビジネス支援を充実させること。
	4 障害者・高齢者へのサービスの充実	概ね適切 障害者・高齢者を担当する課と連携し図書館サービスの周知及びニーズを把握すること。また、ニーズに合ったサービスを提供すること。	適切 特になし
	5 外国人へのサービスの充実	不十分 外国語の利用案内を図書館ホームページに掲載すること。	概ね適切 市内の外国人のニーズを把握すること。
基本 策 III の評価 コメント	利用者の適正に応じて、概ね適切なサービスの計画が立てられていると言える。ただし、中学生及び高校生、外国人へのサービスについては工夫の余地がある。また、その他のサービスについても、引き続きより良い方法を模索していただきたい。	利用者の適性に応じて、概ね適切なサービスがなされている。今後は、ビジネス支援に関して工夫する余地がある。また外国人へのサービスについてもニーズの把握が必要である。引き続きより良い方法を模索していただきたい。	
基本 策 III	1 公共施設等と連携したサービスの提供	概ね適切 市内各機関が保有する図書の情報を図書館ホームページに掲載すること。	適切 特になし
	2 地域、ボランティアとの連携	適切 特になし	適切 特になし
	3 コミュニティ情報等の収集・保存・発信	不十分 各関係機関が発行したチラシやパンフレット（市内のもの）について永年保存すること。	概ね適切 コミュニティ情報等に保存するものがないか検討すること。
基本 策 III	4 図書館施設等の保全	適切 特になし	概ね適切 Wi-Fi環境を整えるよう検討すること。
	5 電子図書館の推進	概ね適切 電子書籍、インターネット音楽配信サービスの導入を検討すること。	概ね適切 Wi-Fi環境を整えるよう検討すること。
基本 策 III の評価 コメント	6 図書館の効率的・効果的運営及び職員の資質の向上	適切 特になし	適切 おもしろいレファレンス事例の公開を検討すること。
	基本施策IIIの評価コメント	図書館機能の充実については概ね適切に行われていると言えます。また、和光市図書館サポーター制度実施要綱を確立できたところが前進であり、評価できる。ただし、チラシやパンフレット等の保存等も含め、各関係機関等との連携を強めていただきたい。	図書館機能の充実については概ね適切に行われていると言える。Wi-Fi環境の整備はぜひ進めてほしい。また、レファレンスはとても重要なので、レファレンスしやすい環境づくりを今後とも作ってほしい。

5 各種統計資料及びアンケート調査等から読み取れる特徴と課題

本計画策定に伴い現状の基礎的なデータを収集するため、次のとおりアンケート調査（市民無作為抽出アンケート、図書館利用者アンケート）及びワークショップを実施しました。

- ・市民無作為抽出アンケート

調査対象：市内に住む 18 歳以上の市民 1,000 人（住民基本台帳から無作為抽出）

調査時期：平成 29 年 6 月 13 日～平成 29 年 6 月 27 日（15 日間）

調査方法：郵送配布・郵送回収

回収状況：346 枚（回収率 34.6%）

- ・図書館利用者アンケート

調査対象：和光市図書館・和光市図書館下新倉分館及び各公民館図書室の来館者

調査時期：平成 29 年 5 月 26 日～平成 29 年 6 月 26 日（32 日間）

調査方法：和光市図書館・和光市図書館下新倉分館及び各公民館図書室において、アンケート用紙を設置

回収状況：139 枚（図書館 97 人、下新倉分館 33 人、中央公民館 0 人、坂下公民館 8 人、南公民館 1 人）

- ・「第 2 次和光市図書館サービス計画策定に伴う理想の図書館像を考えるワークショップ」

日時：平成 29 年 7 月 15 日（土） 13：30～15：30

場所：和光市図書館下新倉分館

参加者：18 人

テーマ：理想の図書館像を考える

ここではその成果から読み取れる特長と課題を以下にまとめます(アンケート等の詳細については本計画の「資料編」を参照)。

（1）所蔵資料・貸出数が少ない

図書館の所蔵資料数についてはこれまで、19 万点前後で推移していました。平成 28 年 11 月に下新倉図書館が開館したことにより、今後は約 23 万点まで増加していく予定となっています。しかし、それでも県内の現在の数値と比較すると、所蔵資料数は平均を下回っています。また、人口一人当たりの蔵書冊数も同様に県内平均を下回っており、近隣の朝霞市、志木市、新座市と比較しても低い数値となっています³。

資料貸出状況については、毎年度減少傾向となっています。人口一人当たりの資料貸出数については、県内平均を下回っており、近隣の朝霞市、志木市、新座市と比較しても低い数値となっています。

市民無作為抽出アンケートの結果によれば、図書館を利用して不満に思うところとして、「図書・雑誌の量」を挙げた人は全回答中最多となっており、特に図書館に「あまり満足していない」「満足していない」と回答した人の 65.5%が「図書・雑誌

³平成 29 年度「埼玉の公立図書館」平成 28 年度市町村図書館活動調査結果一覧による。

の量」を挙げていました。

このことから、第1次サービス計画と同様に、図書館資料の蔵書数を増やすための手段の検討や、貸出数を増加させるための方法についての検討が必要です。

(2) 利用者の年齢・性別・地域に偏りがある

年齢別の利用者数（実人数）を見るとは、40歳代の人の利用が一番多く、次いで30歳代、60歳代の順になっており、13～18歳のヤングアダルト（YA）世代の利用は少なくなっています。性別では、40歳代女性が一番多く、次いで、30歳代女性、40歳代男性の順になっています⁴。市民無作為抽出アンケートの結果を見ると、1年間に図書館を利用したことがないという市民が約5.5割おり、特に白子地区の住民の利用が少なくなっています。また、図書館を利用する時間がないと回答する30歳代男性が多くなっています⁵。

このことから、利用が少ない年齢や性別を対象とした取組、また、図書館から遠い地域への取組を行うことが課題と言えます。

(3) 職員の資質の向上

市民無作為抽出アンケートでは、「専門知識を持った職員による的確な資料案内」及び「丁寧で気持ちのよい職員対応」を求める人が約3割となっており、また、ワークショップでも職員の質の向上を求める声がありました⁶。レファレンス^{※7}の件数は、平成26年度から毎年上がっており、職員の資質は向上しているものと考えられますが、より専門的なものを求める利用者が増えているとも考えられます。

このことから、より職員の資質を向上させながら、さまざまな情報を提供していくことが課題と言えます。

⁴資料編「年齢別実利用者数（平成28年度）」による。

⁵資料編「市民無作為抽出アンケート」による。

⁶資料編「市民無作為抽出アンケート」・「第2次和光市図書館サービス計画策定に伴う理想の図書館像を考えるワークショップの概要」による。

⁷レファレンス：図書館利用者が学習・研究・調査等のために必要な資料及び情報を求めた場合に、図書館職員が図書館の資料と機能を活用して資料の検索を援助し、資料を提供し、あるいは回答を与えるなど、利用者と資料を結びつける業務。

第2章 基本計画

1 将来像

図書館は地域を支える情報拠点、市民の生涯学習拠点となることが求められています。また、市民の誰もが便利で使いやすい身近な図書館を目指し、市民の「知りたい」・「読みたい」・「学びたい」気持ちに応えていくことが必要です。

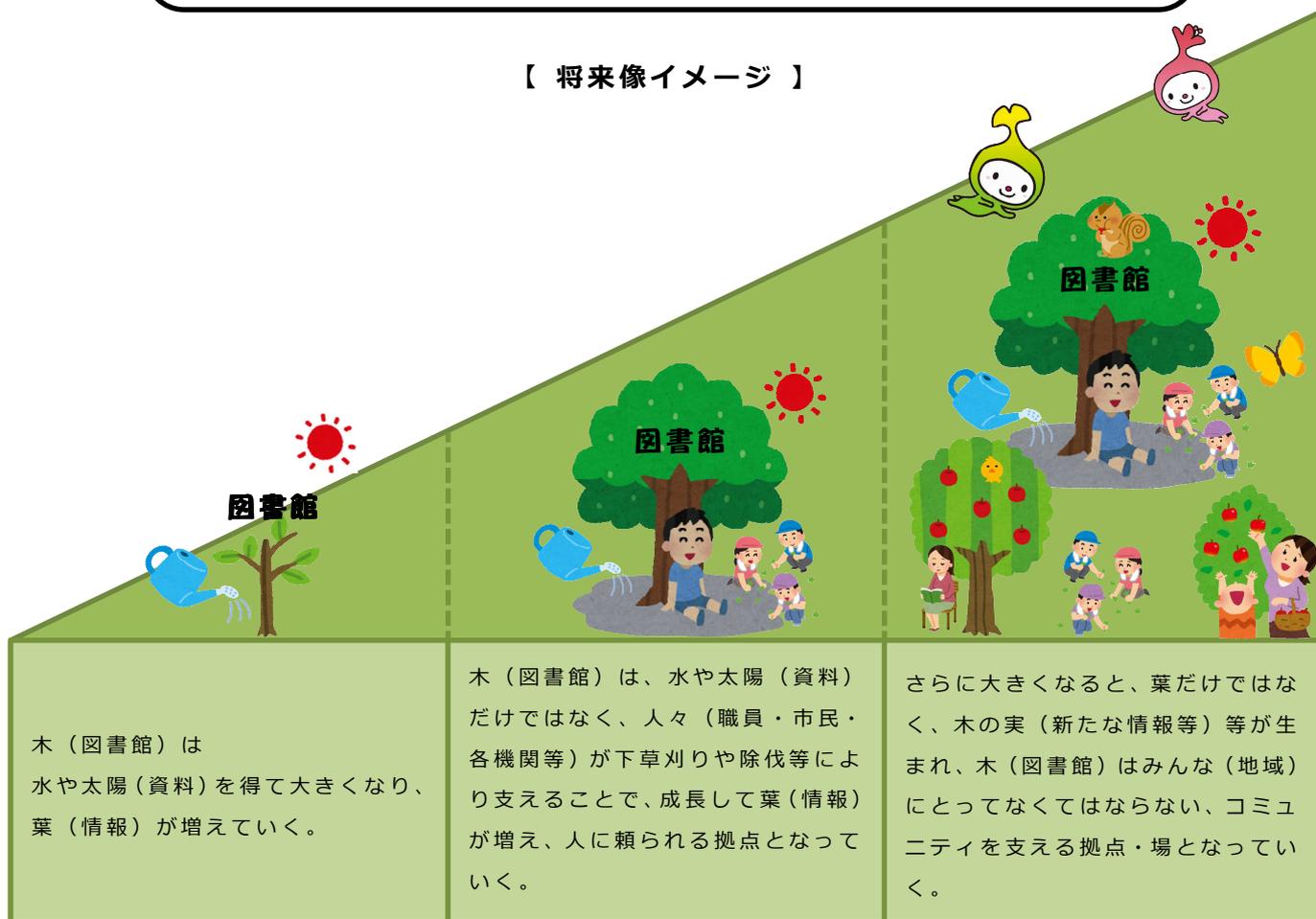
本計画の推進に当たっては、図書館単独で図書館サービスを提供するだけでなく、市民・地域やボランティア、学校をはじめとした公共施設、さらには市内にある国等の機関等と連携・協力することで、より一層市民にとって「身近な図書館」となることが必要と考えます。これらを踏まえ、第1次サービス計画と同様に和光市図書館の将来像を次のとおり定めます。

【将来像】

「みんなで育てる 身近な図書館」

～地域コミュニティを支える情報拠点を目指して～

【将来像イメージ】



みんなで育てることで、図書館は地域コミュニティを支える情報拠点となります。



「みんなで育てる 身近な図書館」

～地域コミュニティを支える情報拠点を目指して～

将来像

基本施策

5年後の目指す姿

施策

取組内容 (◎は重点プラン)

I 和光市らしさを意識した図書館へ

【目指す姿】
市民生活の課題解決や生涯学習活動の支援を行う等、市民の多様化するニーズ等への対応を図りながら、和光市らしさを意識した蔵書の管理を行います。

本の収集を行い、収蔵量の範囲内で適切な蔵書管理を行うことで、市民が多様な情報に触れられるようにする。

視聴覚資料を充実・活用し、その満足度が高い図書館となる。

郷土資料を活用することで、市民が和光市の歴史や郷土の偉人を知り、和光市を身近に感じられる図書館となる。

- 1 図書資料等の収集・保存
- 2 視聴覚資料の充実
- 3 郷土・行政資料の収集・保存

- 適切な蔵書管理
- 利用者ニーズを把握するためのアンケートの実施
- 除籍資料（リサイクル資料）の活用
- 図書資料の保存場所等の検討・確保
- 市民と連携・協力した郷土資料等の収集・保存
- 本市ゆかりの文化人の資料の収集・保管
- 子ども向け郷土資料の充実
- 郷土・行政資料を活用したイベントの開催
- 地域の思い出を共有する企画

II みんなが利用しやすい図書館へ

【目指す姿】
乳幼児、高齢者、障害者、外国人、困難を抱える人々を含め、誰もが利用しやすいよう、利用者に応じたきめ細やかな図書館サービスを提供します。

多くの子どもたちが本に親しみ、本を読む習慣を身につけていく状態となるようサポートできる図書館となる。

多くの中高生が本に親しみ、本を読む習慣を身につけていく状態となるようサポートできる図書館となる。

現役世代が利用しやすくなるような図書館となる。

障害者や高齢者が利用しやすい図書館となる。また、図書館がアクセシビリティの活動の場の一つになる。

外国人が利用しやすい図書館となる。

- 1 乳幼児・小学生へのサービスの充実
- 2 中学生及び高校生へのサービスの充実
- 3 成人へのサービスの充実
- 4 障害者・高齢者等へのサービスの充実
- 5 外国人へのサービスの充実

- 良質な乳幼児・児童向け図書等の収集・保存
- 乳幼児向け事業等の充実
- 保育施設・幼稚園における取組への支援
- 家庭・地域における取組への支援
- 子ども向け事業等の充実
- 障害のある子どもたちへのサービスの充実
- 市内各公共施設への団体貸出等の充実
- ◎ヤングアダルトコーナー等の充実
- ◎中高生向け講座の実施
- ◎学校における取組への支援
- 現役世代の利用率向上のための取組の実施
- 館内閲覧用パソコンの充実
- 放送大学再視聴施設の充実
- カフェ設置の検討
- ◎障害等に応じたサービスの実施
- 市役所関係各課との連携によるニーズの把握及び事業の実施
- ◎対面朗読のための音訳者支援
- ◎アクセシビリティ向けのサービスの充実
- 市役所関係各課等との連携
- 外国人への情報提供と外国語資料の収集・保存

III 居心地の良い図書館へ

【目指す姿】
地域の情報拠点を旨し、図書館の安定的な運営を行い、質の高いサービスを提供する等、誰もが居心地が良いと感じる図書館機能を充実します。

様々な機関と連携し、それぞれの強みを活かした事業を実施する図書館となる。

地域のボランティアと連携し、市民・利用者にとって魅力的な図書館となる。

市内のコミュニティ情報を知りたいときに、知ることができる図書館となる。

適切に施設を保存し、みんなが満足できる環境を提供する。

様々な情報をアクセシブルにする図書館となる。

職員等の質や意欲を向上させ、図書館の質を向上させる。

図書館の運営状況等の定期的な開催

図書館協議会による協議

図書館の運営状況等の情報提供

第3次図書館サービス計画の検討・策定

- 1 公共施設等と連携したサービスの提供
- 2 地域、ボランティアとの連携
- 3 コミュニティ情報等の収集・保存・発信
- 4 図書館施設等の保全
- 5 電子図書館の推進
- 6 図書館の効率的・効果的運営及び職員等の資質の向上

- 効率的・効果的運営の検討・実施
- 職員等の資質の向上
- ◎図書館協議会による協議
- ◎図書館の運営状況等の情報提供
- ◎第3次図書館サービス計画の検討・策定
- 適切な施設の保全
- ◎コミュニティ情報サービスの充実
- 市役所発行のチラシ等の配布
- ◎図書館ボランティアの育成・支援、連携
- ◎地域等との連携による図書館事業の充実
- ◎ひと八〇図書館の検討・実施
- ◎図書館ボランティアの育成・支援、連携
- ◎市民館図書室の利用方法の検討・実施
- ◎市内の機関（国等）や企業、医療機関等との連携
- ◎県内各公共施設、近隣図書館との連携等によるサービスの充実
- ◎市役所関係各課等との連携による事業等の充実
- ◎公民館図書室の利用方法の検討・実施
- ◎市内の機関（国等）や企業、医療機関等との連携
- ◎県内各公共施設、近隣図書館との連携等によるサービスの充実
- ◎市役所関係各課等との連携による事業等の充実
- ◎公民館図書室の利用方法の検討・実施
- ◎市内の機関（国等）や企業、医療機関等との連携
- ◎県内各公共施設、近隣図書館との連携等によるサービスの充実
- ◎市役所関係各課等との連携による事業等の充実

2 基本施策

これまで実施した図書館の取組やアンケート調査をはじめとした市民参加の結果等を踏まえ、現状及び課題を把握・検証し、将来像の実現に向けて次の基本施策を掲げました。

【 将来像実現のための基本施策 】

- I 和光市らしさを意識した図書館へ
- II みんなが利用しやすい図書館へ
- III 居心地の良い図書館へ

基本施策 I 和光市らしさを意識した図書館へ

1 目指す姿

市民生活の課題解決や生涯学習活動の支援を行う等、市民の多様化するニーズ等への対応を図りながら、和光市らしさを意識した蔵書の管理を行います。

2 現状と課題

(1) 現状

資料の収集については、「和光市図書館資料収集方針」（平成 26 年 11 月制定）に基づき、一般書は市民生活の課題解決に役立つ書籍を中心に、児童書（紙芝居含む）については調べ学習に役立つ書籍や読書習慣の形成に寄与する資料を中心に積極的に購入を進めています。

視聴覚資料（CD・DVD等）については、館内において購入アンケートを実施する等、利用者のニーズに合った購入を進めています。

また、郷土資料については「和光市図書館地域資料収集方針」（平成 29 年 4 月制定）に基づき、本市ゆかりの文化人に関する資料、また、行政資料については市役所関係各課と連携し、市民参加に関する資料や市議会に関する資料等を収集・保存しています。

平成 29 年度「埼玉の公立図書館」における「平成 28 年度市町村図書館活動調査結果」によれば、和光市図書館の人口一人当たり蔵書冊数は 2.38 冊となっており、県内平均（3.16 冊）を下回り、朝霞市、志木市、新座市等近隣 3 市と比較しても低い数値となっています。

(2) 課題

平成 28 年 11 月に下新倉分館が開館したことにより、それまでよりも蔵書収容冊数は増加しました。しかし、それでもなお 2 館の図書館内の広さ（面積）が限られていることから、市内の公共施設を活用する等資料の保存場所を確保し、蔵書を増やすことを視野に入れた検討は引き続き必要です。

さらに、郷土・行政資料の収集・保存については、「和光市図書館地域資料収集方針」に基づき、市役所関係各課、地域及び市民との連携・協力を進めるとともに、デジタルアーカイブ化（電子化による保存）の導入についても検討していく必要があります。これらを踏まえ、基本施策 I では以下の 3 つの施策に取り組みます。



下新倉分館開館（平成 28 年 11 月 3 日）

施策 1 図書資料等の収集・保存

施策 2 視聴覚資料の充実

施策 3 郷土・行政資料の収集・保存

基本施策 II みんなが利用しやすい図書館へ

1 目指す姿

乳幼児、高齢者、障害者、外国人、困難を抱える人々を含め、誰もが利用しやすいよう、利用者に応じたきめ細やかな図書館サービスを提供します。

2 現状及び課題

(1) 現状

乳幼児、小・中・高校生へのサービスについては、平成 25 年 3 月に策定した「第 2 次和光市子ども読書活動推進計画」に基づき、市内の小中学校や保育園等への団体貸出や、読み聞かせ等の子ども向け集会行事を実施しています。また、大学生等や社会人向けのサービスについては、館内閲覧用パソコンの導入やビジネスコーナーの設置、ハローワークの求人情報チラシの設置等、ビジネス支援や就労支援等を行っています。

障害者や高齢者向けのサービスについては、大活字本等の収集・保存のほか、「和光市図書館利用困難者支援事業実施要綱」（平成 27 年 4 月制定）に基づき郵送貸出サービス等を行っています。また、「人生 100 年時代」と言われる中、元気な高齢者（以下、「アクティブシニア⁸」という。）が増えていることから、アクティブシニアの活動の場

⁸この計画では、「仕事や趣味に意欲的で元気なシニア世代」のことを「アクティブシニア」という。

として図書館をはじめとした様々な施設が注目されており、「地域が抱える様々な諸課題」に対応するとともに、「地域における学習拠点・活動拠点としての取組」を推進することが期待されています⁹。

外国人向けのサービスについては、和光市の姉妹都市であるロングビュー市コーナーを設置し、市の紹介や寄贈して頂いたグッズの展示を行っています。また、市内に住む外国人の国籍を踏まえ、利用が見込まれるタガログ語、タイ語、マレー語、スペイン語、フランス語の子ども向け資料を購入し、それらの外国語資料リストを作成し、資料棚に設置して本が探しやすいように環境を整備しています。

年齢別登録者の状況では、40歳代が全体の約22%と一番多く、次いで30歳代が約21%となっています¹⁰。また、年齢別の実利用者の状況では、13～18歳のYA（ヤングアダルト）世代の利用が少なくなっています¹¹。

（2）課題

中学生・高校生を含む子ども向けサービスについては、読み聞かせ等読書に関心を寄せる各種集会事業や市内小・中・高校と連携した取組のさらなる強化が求められています。

大学生等や社会人向けのサービスについては、30歳代以上の実利用者数の中で、50歳代の男性の利用が比較的少ないことから、その促進策の一つとしてビジネスを支援する取組を強化することが必要と考えられます。また、高齢者数の増加に伴い、アクティブシニアも増加することが想定されることから、充実した余暇活動をおくることできるように図書館としても支援する取組が必要です。

図書館は「高齢者や障害者、困難を抱える人々等にも読書の機会を提供し、誰に対しても知的サービスを提供する施設」として、「社会的包摂の観点から地域のニーズに積極的・能動的に答えていくこと」が期待されていることから¹²、幅広いサービスの展開が必要と考えられます。そうした中で、外国人向けサービスも含め対象者のニーズに合わせたサービスを展開することが必要です。これらを踏まえ、基本施策Ⅱでは以下の5つの施策に取組みます。



音訳者要請講座の様子

施策1 乳幼児、小学生へのサービスの充実

施策2 中学生及び高校生へのサービスの充実

⁹超高齢社会における生涯学習の在り方に関する検討会「長寿社会における生涯学習の在り方について ～人生100年いくつになっても学ぶ幸せ「幸齢社会」～」(平成24年3月) p20

¹⁰資料編「居住地別登録者及び年齢別登録者」による

¹¹資料編「年齢別実利用者数(平成28年度)」による

¹²学びを通じた地域づくりに関する調査研究協力者会議『人々の暮らしと社会の発展に貢献する持続可能な社会教育システムの構築に向けて論点整理』(平成29年3月28日)

施策3 成人へのサービスの充実

施策4 障害者・高齢者等へのサービスの充実

施策5 外国人へのサービスの充実

基本施策Ⅲ 居心地の良い図書館へ

1 目指す姿

地域の情報拠点を目指し、図書館の安定的な運営を行い、質の高いサービスを提供する等、誰もが居心地が良いと感じる図書館機能を充実します。

2 現状及び課題

(1) 現状

朝霞市、志木市、新座市、戸田市、板橋区及び練馬区の近隣図書館とは相互利用を実施、また埼玉県内図書館とは資料の相互貸借を実施しています。

図書館（下新倉分館含む。）から遠い地域へのサービスとして、市内に3か所ある公民館図書室では、図書館資料の貸出・返却等のサービスを引き続き行っており、さらに市役所や市内コミュニティセンターに加え、和光市駅南口自転車駐車場においても返却用ポストを設置しました。また、自宅のパソコンからインターネットによる蔵書検索や予約等が行えるよう、引き続き図書館システムを導入し利便性の向上に努めています。

図書館まつり等の事業を実施する際には、地域・ボランティアとの連携を図るとともに、図書館内に地域情報の掲示板を設置しコミュニティ情報の収集・発信を行っています。

図書館施設の保全等については、平成26年にレイアウトの変更やキッズルームの設置を行い、障害者・高齢者・子ども等誰もが使いやすい施設の改修を行うとともに老朽化への対応を図っています。

窓口業務については、平成26年4月からカウンター業務の委託を解消し直営による運営となっています。一方、職員の資質の向上については、埼玉県図書館協会等が主催する研修への参加や、館内において職員向けの専門講座を実施する等、職員の資質の向上に努めています。

(2) 課題

図書館機能をさらに高めるためには、公民館等の公共施設や市内に立地する国の機関等と連携し、身近な場所での図書の提供等サービスの拡充が求められています。また、図書館が地域の情報拠点・生涯学習拠点となるよう、地域情報の収集や自治会を含む地域活動団体との連携、ボランティアの育成・支援が必要です。

また、計画的な施設改修や電子化による効率的・効果的な図書館サービスの提供を行い、誰もが安心・安全で便利な施設となることが必要です。職員の資質向上については、社会情勢の変化やライフスタイルが多様化する中、利用者のニーズを的確に把

握し対応できる職員となることが求められています。これらを踏まえ、基本施策Ⅲでは以下の6つの施策に取り組めます。

- 施策1 公共施設等と連携したサービスの提供
- 施策2 地域、ボランティアとの連携
- 施策3 コミュニティ情報等の収集・整理・保存・発信
- 施策4 図書館施設等の保全
- 施策5 電子図書館の推進
- 施策6 図書館の効率的・効果的運営及び職員の資質の向上



図書館サポーター企画「郷土の偉人童謡詩人清水かつらの世界を知ろう」



図書館サポーター企画「宮沢賢治生誕 120 年記念『影絵劇 銀河鉄道の夜』の上映と和光市の鉄道」

3 重点プラン

本計画は、これまでの図書館の取組やアンケート調査の結果等を踏まえ、現状及び課題を把握・検証し、上記のとおり各種施策を進めていくこととしています。しかし限りある予算の中で運営するため、一定の選択と集中が必要です。そのため、本計画では今後5年間で特に重点的に取り組むものとして、以下のとおり重点プランを掲げることとします。

(1) 学校における取組への支援（基本施策Ⅱ-施策1及び2）

■ 学校における取組への支援（小学校）

市内小学校での読書活動推進のため、団体貸出や授業や修学旅行の際に活用するテーマ別の本の貸出、読み聞かせ、ブックトークの出前、市内施設めぐりによる図書館の紹介等を行います。また、司書教諭、図書館アドバイザーとの連携を積極的に図り、小学校図書館活動への支援として本の選書に関するアドバイスや書誌データの登録、蔵書点検に関するサポート等を行います。



図書館職員による小学校での読み聞かせ
(写真は下新倉小学校)

■ 学校における取組への支援（中学校・高校）

学校図書館と連携し、調べ学習等学校教育を支援するための団体貸出を充実するとともに、職場体験や社会体験活動の受入れを積極的に行います。また、学校における宿題やレポート内容に関連する資料の提供をします。

(2) ヤングアダルトコーナー等の充実（基本施策Ⅱ-施策2）

■ ヤングアダルトコーナー等の充実

現在発行している「YA通信」¹³を継続し、館内において中高生が感じることを自由に書き込むことができるティーンズノート・伝言板の設置を引き続き検討します。また、職業・受験対策関連分野資料の収集強化、知的好奇心の刺激や学校生活に役立つ資料等文学以外の分野も充実します。さらには、ソーシャルネットワーキングサービスを活用し、図書館サービス等の情報提供に努めます。

■ 中高生向け講座の実施

学校等と連携し、図書への関心や興味を引き出すための講座、引き続き中高生参加型のビブリオバトルや図書館クラブ等を実施します。



中学生によるビブリオバトルの様子

¹³YA（ヤングアダルト）向けに発行している和光市図書館オリジナル広報紙。

(3) 障害者・高齢者等へのサービスの充実（基本施策Ⅱ-施策4）

■ 障害等に応じたサービスの実施

来館が困難な人へ郵送貸出サービスを引き続き実施していくとともに、読み書き困難な人へ筆談や対面朗読サービスも引き続き実施します。また、身体が不自由な人への介助や支援を行います。

■ アクティブシニア向けサービスの充実

現在行っている団塊の世代向けの講座、映画会等を引き続き実施し、アクティブシニアの活動を支援します。

(4) 市内の機関（国等）や企業、医療機関等との連携（基本施策Ⅲ-施策1）

■ 市内の機関（国等）や企業、医療機関等との連携

国立保健医療科学院をはじめ市内の機関や企業、医療機関と連携し、専門図書等の情報収集・提供や連携事業等を検討・実施します。

(5) 地域、ボランティアとの連携（基本施策Ⅲ-2）

■ 図書館ボランティアの育成・支援、連携

読み聞かせ等のボランティアを実施している団体への支援を行うとともに、団体で活動するボランティアを育成するための講座を開催します。また、図書資料のカバーかけ等の図書館事業に御協力いただける方や自主事業を企画する図書館サポーターを募集し、ボランティア・サポーターと連携し、一緒に図書館づくりを進めていきます。

第3章 各種施策

基本施策Ⅰ 和光市らしさを意識した図書館へ

施策1 図書資料等の収集・保存

【現状】

図書資料（図書・雑誌）の購入については、「和光市図書館資料収集方針」に基づき、利用者層（年齢・性別）や図書館に所蔵している蔵書の構成等を踏まえ、さらに利用者からのリクエストを参考としながら職員による選書会議において購入を決定しています。

新聞については、一般紙をはじめ、スポーツ紙、業界紙、政党紙等の専門紙も購入しており、主要な新聞については縮刷版も購入しています。

雑誌については、平成28年4月に「雑誌スポンサー制度」を導入し、企業や個人の方からスポンサーを募り、平成29年4月現在で、本館4件、下新倉分館4件の雑誌スポンサーによる支援があります。

図書資料の除籍（廃棄）についても、和光市図書館資料収集方針に基づき、図書館に所蔵している蔵書の構成等、貸出回数、破損や汚損状況等を踏まえて行い、除籍となった資料については、年4回程度リサイクル資料として図書館利用者へ提供しています（平成29年度からは下新倉分館でも実施）。

平成28年11月に開館した下新倉分館は、開館に先立ち実施した選書ワークショップ¹⁴の成果を参考にしながら蔵書の購入及び本館からの移管等を行いました。現在では本館と合わせた蔵書管理を行っています。

【課題】

平成28年11月に分館が開館し蔵書冊数が増えたところですが、人口一人当たりの蔵書冊数は県内63市町村中55位（平成28年度市町村図書館活動調査結果一覧）と県内平均に達することはできていません。

本館と分館で所蔵資料の分担を決め、それぞれの館に特色をもたせた選書及び蔵書管理を行う必要があります。

◆ 蔵書資料数（実績値）

	H24	H25	H26	H27	H28
一般書（冊）	96,604	97,486	97,570	98,955	108,327
児童書 ¹⁵ （冊）	72,815	73,121	73,366	74,232	79,334
雑誌（冊）	3,211	3,277	3,285	3,417	4,359
付属品他（冊）	297	305	329	341	411

¹⁴平成27年7月9日実施。

¹⁵児童書には、紙芝居を含む。

【5年後の目指す姿（定性的目標）】

本の収集を行い、収蔵量の範囲内で適切な蔵書管理を行うことで、市民が多くの情報に触れられる図書館となる。

<取組内容>

・適切な蔵書管理

限られた所蔵スペースを有効に活用するために、和光市図書館資料収集方針に沿って本市の特色や地域性を踏まえた和光市らしさと市民ニーズを意識した資料を所蔵します。そして、本館と分館で所蔵資料の分担を決め、それぞれの館に特色をもたせた選書を行い、一体的な蔵書管理を行います。また、収集の際は、購入に限らず寄贈・雑誌スポンサー制度の活用を進めます。

・利用者ニーズを把握するためのアンケートの実施

利用者のニーズを把握するためにアンケートを定期的の実施し、結果を考慮した選書を行います。また、併せて職員がレファレンスカウンターから出てフロアワークを行うことで、利用者のニーズを意識した選書を行います。

・除籍資料（リサイクル図書）の活用

年4回実施している利用者へのリサイクル図書の提供のほか、学校、保育施設、幼稚園等の公共施設や各種団体への無償提供を行い、除籍資料の有効活用を図ります。また、除籍資料のさらなる有効活用を図るため、リサイクルの方法や年間スケジュールの見直しを適宜行います。

・図書資料の保存場所等の検討・確保

学校の空き教室や公共施設等の空きスペースを書庫として有効活用するよう、市役所関係各課等と協議・検討を行います。

◆ 取組年度

	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
適切な蔵書管理	実施	→			
利用者ニーズを把握するためのアンケートの実施				実施	→
除籍資料（リサイクル図書）の活用	実施	→			
図書資料の保存場所等の検討・確保			協議 検討	→	

◆ 各年度の数値指標（定量的指標）

	現状値 (H29)	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
図書資料（一般書・児童書・雑誌・付属品）の蔵書数（冊）	192,431 (H28)	217,000	223,000	229,788	230,000	230,000
図書資料の満足度（質） [来館者アンケート]（%）	55.3% (H29)	-	-	-	-	60%

施策2 視聴覚資料の充実

【現状】

視聴覚資料（CD・DVD等）については、利用者からのリクエスト及び購入前に館内でアンケートを実施し、所蔵している資料の構成等を踏まえ、職員による選書会議において購入を決定しています。貸出数については、平成29年度からCD・DVDの貸出規則を改正し、CD・DVD併せて3枚までとしています。

下新倉分館は限られたスペースにより視聴覚資料の配置が難しいことから、平成28年11月からナクソス・ミュージック・ライブラリー¹⁶を導入しています。

また、現在視聴覚資料（DVD）を活用した上映会3回（大人向け2回、子供向け1回）を図書館シネマとして実施しています。

【課題】

平成29年6月に実施した「図書館来館者アンケート」では、約23%の利用者が視聴覚資料（CD・DVD）の量について「満足していない」、「あまり満足していない」といった結果が出ています¹⁷。また、同アンケートでは、今後充実させて欲しい資料として、視聴覚資料の割合がCDが21.6%、DVDが18.7%となっています。

現在所蔵しているCDの分類については、ポピュラー音楽が多く所蔵されており、所蔵構成に偏りが見られます。また、視聴覚資料の貸出点数は平成25年度以降減少し続けています¹⁸。

◆蔵書資料数（実績値）

	H24	H25	H26	H27	H28
視聴覚資料（点）	9,253	9,058	9,192	9,301	9,350

【5年後の目指す姿（定性的目標）】

視聴覚資料を充実・活用し、その満足度が高い図書館となる。

<取組内容>

・適切な蔵書管理

和光市図書館資料収集方針に基づき、教育的価値や地域性、話題性等を踏まえ、趣味、教養、文化活動に資する作品等多様なジャンルの作品を計画的に収集します。

・利用者のニーズを把握するためのアンケートの実施

利用者のニーズを把握するためアンケートを計画的に実施し、結果を考慮した収集を行います。

・視聴覚資料を活用した事業の充実

視聴覚資料を活用し、図書館シネマ等大人や子ども、家族連れにも楽しんでもらえるよう、事業を充実します。また、近年の上映会ではシニア世代や子ども向けを

¹⁶クラシック音楽を中心に、様々な曲を再生できる配信サービス。

¹⁷資料編「図書館内利用者アンケート調査」による。

¹⁸資料編「資料貸出冊（点）数の推移」による。

対象とした作品を多く上映していますが、今後は図書館から足が遠のいている若い世代を対象とした話題性のある作品上映を行い、足を運んでもらうことにより図書館利用を促していきます。さらに、テーマ展示等の機会に、視聴覚資料と本をパッケージした企画に取り組めます。

◆ 取組年度

	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
適切な蔵書管理	実施	→			
利用者のニーズを把握するためのアンケートの実施	実施	→			
視聴覚資料を活用した事業の充実	検討 実施	→			

◆ 各年度の数値指標（定量的指標）

	現状値	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
視聴覚資料の蔵書数（点）	9,350 (H28)	9,480	9,610	9,740	9,870	10,000
視聴覚資料を活用した事業の実施回数（回）	3 (H28)	3	3	3	3	3
視聴覚資料を活用した事業の参加者満足度（％）	-	75	80	85	90	90
視聴覚資料の満足度（質） [来館者アンケート]（％）	18.7 (H29)	-	-	-	-	40
ナクソス・ミュージックライブラリーの利用者ログイン数（回）	1,458※	4,000	4,100	4,200	4,300	4,400

※ナクソス・ミュージックライブラリーは平成28年11月から利用開始であるため、数値は平成28年11月から平成29年3月までのもの。



図書館シネマの様子

施策3 郷土・行政資料の収集・保存

【現状】

郷土資料については、「和光市図書館地域資料収集方針」に基づき、本市の歴史に関する資料等を収集・保存しています。

行政資料については、本市の予算・決算に関する資料、市議会資料や各種統計資料のほか埼玉県が発行する各種資料を保存しています。また、本市に関連する新聞記事等の収集・保存にも努めています。

また、図書館サポーターの協力により郷土関連の事業を実施しています。平成26年度に和光市ゆかりの絵本作家・凧研究家である新坂和男氏の著作物や資料（凧）の寄贈があり、関連書籍等の収集保存に努めました。また平成27年度から「小学生凧作り講座」を行っています。

下新倉分館では、展示ケースの活用により実物資料の展示を可能としています。

【課題】

郷土資料の収集・保存については、市内に郷土資料館・博物館がないため、図書館が歴史を後世に残すための施設として重要視されています。また、図書館は単に資料を収集・保存するだけでなく、資料の活用を含めた市の情報拠点としての役割を求められています。しかし、依然として資料数は少ない状況です¹⁹。また、大人だけではなく子どもでも郷土資料に親しむきっかけづくりの方法について今後検討が必要です。

◆蔵書資料数（実績値）

	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28
郷土行政資料（冊）	3,785	4,029	4,319	4,502	4,804

【5年後の目指す姿（定性的目標）】

郷土資料を活用することで、みんなが和光市の歴史や郷土の偉人を知り、和光市を身近に感じられる図書館となる。



下新倉分館展示ケース

¹⁹平成28年度の郷土行政資料数は全体の2.3%（資料編「所蔵資料数」による。）。

<取組内容>

・市民と連携・協力した郷土資料等の収集・保存

市民が所有している郷土資料等の情報を収集・保存し、デジタルアーカイブ化（電子化による保存）を行うとともに、所有者の協力を得て冊子にまとめ利用者に提供します。また、和光市デジタルミュージアムと連携し、情報の提供に努めます。

・本市ゆかりの文化人の資料の収集・保存

本市ゆかりの文化人、大石真、清水かつら及び新坂和男等の作品の資料を収集・保存し、冊子にまとめ利用者に提供します。

・子ども向け郷土資料の充実

市役所関係各課等と連携・協力し、「和光市の歴史・遺跡マップ」、「和光市の文化財・ゆかりの文化人」、「和光市の伝説と昔話」といったテーマごとに、子ども向けの小冊子を作成し、郷土の学習や自由研究の支援をします。

・郷土・行政資料を活用したイベントの開催

郷土・行政資料を身近に感じるきっかけをつくるため、これらの資料を活用した調べ学習・ウィキペディアタウン²⁰等のイベントの開催を検討します。

・地域の思い出を共有する企画

転入・転出の激しい和光市では、地域への関心が深くないものと思われれます。そこで、読み聞かせ等を通じて地域の歴史等の思い出を共有する企画を検討します。

◆ 取組年度

	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
市民と連携・協力した郷土資料等の収集・保存	実施	→			
本市ゆかりの文化人の資料の収集・保存	実施	→			
子ども向け郷土資料の充実	検討 実施	→			
郷土・行政資料を活用したイベントの開催	検討	実施	→		
地域の思い出を共有する企画		検討	実施	→	

◆ 各年度の数値指標（定量的指標）

	現状値	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
郷土・行政資料の蔵書数(冊)	4,804 (H 28)	4,850	4,900	4,950	5,000	5,050
郷土・行政資料等を活用した和光市を知る企画(回)	2 (H28)	2	2	2	2	2

²⁰ここでは、「その地域にある文化財や観光名所などの情報をインターネット上の百科事典「ウィキペディア」に掲載するイベント」をウィキペディアタウンと呼ぶ。

基本施策Ⅱ みんなが利用しやすい図書館へ

施策1 乳幼児、小学生へのサービスの充実

【現状】

乳幼児への取組については、良質な乳幼児向け絵本の収集・保存のほか、ボランティアの協力による読み聞かせ活動等を行っています。平成25年9月からブックスタート事業、平成26年7月からは市内3か所の子育て世代包括支援センターにて出張ブックスタート事業を開始、平成27年10月から「赤ちゃんタイム」を実施し乳幼児連れの親子が気軽に集える環境を整えました。

小学生への取組については、児童向け資料の収集・保存を行うとともに、図書館主催の読書会等各種事業を実施しています。

平成27年度は子どもの読書推進に関する講座、平成28年4月から読書通帳の配布、平成29年1月から「わこガチャ」を開始し、本に親しむ習慣や意欲を促進し、児童生徒の読書推進を図っています。

平成28年10月には特別なニーズがある子どもたちのためのコーナー「りんごの棚」を本館に、次いで11月には分館に設置しました。平成29年4月には「読み聞かせ手帳」の配布を開始しました。

平成28年11月に開館した下新倉分館においては、隣接する下新倉小学校児童の調べ学習や自由読書での利用や、学童クラブ児童の事業への参加、児童館サークル親子への読み聞かせ等連携を図っています。

【課題】

平成24年度に実施した小中学生を対象とした「市内小中高校生の読書アンケート」と平成29年度に実施した同様のアンケート結果の比較では、「小さいときに本を読んでもらった」と回答した割合は高くなっており、家庭での読み聞かせが浸透してきたといえます。その一方で、「読書習慣がない」と回答した児童の割合は5年前より増加している結果が出ています²¹。

子育て世代の利用については、ブックスタートや赤ちゃんタイムの参加者を見ると年々増加していることから、今後はさらなる子育て支援のための情報提供を行う必要があります。また、子どもたちが良い本に出会うことができるようにするため、保護者からの読書相談に応じる必要があります。乳幼児への読書の推進に当たっては、子育て支援の視点を持って地域全体で取り組むことについて、市役所関係各課に働きかけることが必要です。

平成29年6月に実施した「市内小中高校生の読書アンケート」の結果では、読書習慣がない児童の割合は小学3年生では13.5%となっていますが、年齢が上がるにつれ読書習慣がない割合が高くなるといった結果が出ています。

その他、ブックトークや読み聞かせといった学校訪問についても、さらに多くの学校で実施できるよう積極的に働きかけをしていく必要があります。また、図書館システムを活用し、学校図書館と図書館との物流、学校図書館間の物流を実施する等、児

²¹和光市「第3次子ども読書活動推進計画 資料編」(平成30年3月)。以下同様。

童の読書ニーズに応えることが求められています。

乳幼児向けサービスについては充実してきたところですが、今後は小学生の読書習慣の形成につながるサービスに力を入れる必要があります。

【5年後の目指す姿（定性的目標）】

多くの子どもたちが本に親しみ、本を読む習慣を身につけている状態となるようにサポートできる図書館となる。

<取組内容>

■ 乳幼児向けの取組み

・ 良質な乳幼児・児童向け図書等の収集、保存

「はじめてであう絵本コーナー」の充実を中心に、良質な乳幼児向け図書等を計画的に収集、保存、整備を実施します。また、児童向け図書も同様に、絵本、児童図書、紙芝居、雑誌等、良質で多様な資料の収集・保存に努めます。

・ 乳幼児向け事業等の充実

赤ちゃんと楽しむ絵本とわらべうた、絵本とおはなしの会等の事業を実施し、乳幼児の読書活動を推進します。また、保育施設・幼稚園の図書館見学の受入れ、親子が本を通して触れ合う機会として、ブックスタート事業を継続し充実します。

・ 保育施設・幼稚園における取組への支援

保育施設・幼稚園での読み聞かせ活動推進のため、図書館職員や図書館ボランティアによる読み聞かせの出前を実施するとともに、保育士や幼稚園教諭等が参加できる絵本に関する講座等を行います。また、保育施設等への団体貸出の充実を図ります。

・ 家庭・地域における取組への支援

家庭において本に親しむことができるよう、推薦図書等の紹介や子育て支援のための情報提供、乳幼児の保護者また妊産婦に対する啓発を行います。また、地域の身近な施設においても本に親しむことが出来るよう、児童センター（館）、子育て世代包括支援センター等の活用や連携を行います。さらには、地域での読書活動を推進するため読み聞かせボランティアの養成講座等も実施します。

■ 小学生向けの取組み

・ 子ども向け事業等の充実

読書会やおはなし会、科学講座、工作教室等幅広く取り組むとともに、調べ学習への支援や本の探し方を支援します。また子ども向けのホームページを充実し、読書活動を推進します。さらには、季節にあったテーマやお勧めの本の展示を計画的に行うとともにおすすめブックリストを作成します。

・ 障害のある子どもたちへのサービスの充実

小学校の特別支援学級への団体貸出、布の絵本の貸出、障害の状態に応じた選書を行います。また、和光特別支援学校、和光南特別支援学校と連携し、見学の受入

れや図書館職員、図書館ボランティアによる読み聞かせ訪問等を実施します。

・ **学校における取組への支援**

市内小学校での読書活動推進のため、団体貸出、授業や修学旅行の際に活用するテーマ別の本の貸出、読み聞かせ、ブックトークの出前、市内施設めぐりによる図書館の紹介等を行います。また、司書教諭と図書館アドバイザー²²との連携を積極的に図り、学校図書館活動への支援として本の選書に関する展示会の開催や統計及び蔵書点検に関するサポート等を行います。さらには、図書館アドバイザーと読み聞かせボランティア（学校応援団）との連携を進め、ボランティアの活動を把握し、図書館を会場に交流会や研修会等を開き、活動を支援します。

・ **市内各公共施設への団体貸出等の充実**

市内各公共施設（学童クラブ、児童センター（館））等への団体貸出等の充実を図ります。

◆ **取組年度**

	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
第3次和光市子ども読書活動推進計画に基づく事業の実施	実施	→			

◆ **各年度の数値指標（定量的指標）**

	現状値	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
乳幼児・小学生対象事業等参加人数 (人)	3,608 (H 28)	3,690	3,760	3,830	3,900	3,970
読書習慣がある児童の割合[小学3・5年生](%) ※「よく読む」・「たまに読む」と回答した児童	75.5 (H 29)	-	-	-	80)	
1箇月間に読んだ本の冊数が0冊の児童の割合[小学3・5年生](%) ※今年の5月中に何冊ぐらいの本を読みましたかに「0冊」と回答した割合	4.9 (H 29)				2	



団体貸出本

²²図書館アドバイザー：市内小中学校に1人配置されている非常勤職員。司書教諭を補佐する。



赤ちゃんを楽しむ絵本とわらべうたの様子



子どもの科学の様子

施策2 中学生及び高校生へのサービスの充実

【現状】

平成25年3月に策定した「第2次和光市子ども読書活動推進計画」に基づき、市内各中学校へ団体貸出を行っているほか、図書館内にヤングアダルト（YA）コーナーを設置し、中高生の読書活動の支援をしています。マンガについては平成26年4月から導入しています。

また、市内中学生や高校生の職場体験学習の受入れ、平成26年度からは、中学生参加のビブリオバトルの実施、「YA通信」の発行を行っています。さらに、平成27年度からは市民図書館講座にて、アニメやライトノベル等中高生向けの講座を実施しています。平成29年度に、新たに中高生の参加による「図書館クラブ」を実施し、中高生の自主的な工夫によりヤングアダルトコーナーの充実を行いました。

【課題】

平成27年度よりアニメーターの方を講師に招き、アニメの描き方を教えていただく等の中高生向けの講座を実施していますが、より中高生が興味を持つような講座を行うことや、市内の中学校や高校に広報する等、情報を発信していくことが必要です。

平成29年6月に実施した「市内小中高校生の読書アンケート」の結果では、高校生は小学生、中学生よりも読書習慣がない割合が高いといった結果が出ています。

また、和光市図書館協議会等においては、図書館が中高生の居場所づくりを進める必要があるといった意見があります²³。

ソーシャルネットワーキングサービスについては導入できていません。

【5年後の目指す姿（定性的目標）】

多くの中高生が本に親しみ、本を読む習慣を身につけている状態となるようにサポートできる図書館となる。

<取組内容>

・ヤングアダルトコーナー等の充実

ヤングアダルト本をはじめ、ティーンズ主体の新聞発行や館内において中高生が感じることを自由に書き込むことができるティーンズノート・伝言板の設置を検討します。また、職業・受験対策関連分野の強化、知的好奇心の刺激や学校生活に役立つ資料等文学以外の分野も充実します。

さらには、ソーシャルネットワーキングサービスを活用し、図書館サービス等の情報提供に努めます。

・中高生向け講座の実施

学校等と連携し、図書への関心や興味を引き出すための講座、ブックトークや中高生参加型のビブリオバトルや図書館クラブ等を実施します。

本館と和光国際高校、下新倉分館と和光高校の連携を強化し、講座を開催します。

²³平成26年度第3回和光市図書館協議会等

・学校における取組への支援

学校図書館と連携し、調べ学習等学校教育を支援するための団体貸出を充実します。また、職場体験や社会体験活動の受入れを積極的に行うとともに、職場体験時以外にも、図書館でのボランティアを希望する生徒の受入れを行います。保育園実習等へ行く高校生に対して、職員やボランティアを派遣して読み聞かせの実演・指導を行います。

◆ 取組年度

	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
第3次和光市子ども読書活動推進計画に基づく事業の実施	実施	→			

◆ 各年度の数値指標（定量的指標）

	現状値	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
読書習慣がある生徒の割合[中学2年生](%) ※「よく読む」・「たまに読む」と回答した生徒	74.3 (H 29)	-	-	-	80	
読書習慣がある生徒の割合[高校2年生](%) ※「よく読む」・「たまに読む」と回答した生徒	52.3 (H 29)	-	-	-	60	
1箇月間に読んだ本の冊数が0冊の生徒の割合[中学2年生](%) ※今年の5月中に何冊ぐらいの本を読みましたかに「0冊」と回答した割合	3.7 (H 29)	-	-	-	2	
1箇月間に読んだ本の冊数が0冊の生徒の割合[高校2年生](%) ※今年の5月中に何冊ぐらいの本を読みましたかに「0冊」と回答した割合	37.5 (H 29)	-	-	-	26	
中高生向けイベントの実施回数(回)	2 (H 28)	3	3	3	3	3



YA 向け講座の様子

施策3 成人へのサービスの充実

【現状】

大学生・専門学校生を含む成人へのサービスについては、起業や職業能力開発、各種法律に関する図書を充実するとともに、平成25年6月に館内閲覧用パソコンに第一法規法情報総合データベースを導入、平成26年1月にオンラインデータベースの印刷サービスを導入（1枚10円）しました。平成27年3月に国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを導入し、和光市図書館内でも国会図書館の資料を閲覧できるサービスを始めました²⁴。また、下新倉分館では平成28年11月にジャパンナレッジサービスを導入（本館でも導入）し、データベースサービスを充実しました。

子育て世代向けには、子育て支援コーナーを設置し充実を図ってきました。

また、毎月、時事問題や季節に合わせたテーマで図書を集めてテーマ展示を行うとともに、話題となっている事柄については適宜速やかに展示をし、利用促進を図っています。

【課題】

図書館実利用者数では、30歳代及び40歳代の女性の数が多くなっている半面、50歳代の男性の利用者数は少ない状況です²⁵。

社会人等へのサービスとしてビジネス関連資料の収集・保存、新聞記事等各種オンラインデータベース、放送大学再視聴施設等の更なる利用促進が必要です。

【5年後の目指す姿（定性的目標）】

現役世代が利用したくなるような図書館となる。

<取組内容>

・現役世代の利用率向上のための取組の実施

ビジネス支援コーナーや子育て支援コーナーの充実のほか、医療情報コーナーや身近な法律に関する資料を揃え、日常的な課題解決を支援します。また、市役所関係各課と連携し、現役世代向けの講座等を実施します。さらには、外部関係機関（和光市社会福祉協議会等）と連携し、ボランティア活動等の情報を提供します。

・館内閲覧用パソコンの充実

オンラインデータベース等の活用講座を開催します。

・放送大学再視聴施設の充実

利用者が求めるサービスを提供できるよう、ニーズを把握しながらサービスの充実を検討します。

・カフェの設置の検討

平成29年6月に行った市民アンケートやワークショップ²⁶等で図書館にカフェを

²⁴同年9月から複写サービスも開始している。

²⁵資料編「年齢別実利用者数（平成28年度）」による。

²⁶資料編「第2次和光市図書館サービス計画策定に伴う理想の図書館像を考えるワークショップの概要」等による。

求める声が多数寄せられていることから、常設のカフェにこだわることなくカフェの設置等について検討します。

◆ 取組年度

	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
現役世代の利用率向上のための取組の実施	実施	→			
館内閲覧用パソコンの充実	実施	→			
放送大学再視聴施設の充実	実施	→			
カフェの設置の検討	協議 検討	実施	→		

◆ 各年度の数値指標（定量的指標）

	現状値	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
館内閲覧用パソコン利用件数 (件)	1,213 (H28)	1,230	1,250	1,260	1,270	1,280
ビジネス支援関連講座の実施回数 (回)	1 (H28)	1	2	2	2	2
テーマ展示の実施回数 (回)	24 (H28)	24	24	24	24	24



平成 28 年度 初心者のための農業座談会の様子

施策 4 障害者・高齢者等へのサービスの充実

【現状】

障害者に対するサービスについては、点字資料や大活字本の収集・保存、郵送貸出サービス、布絵本の作成、対面朗読のための音訳者養成講座等を行ってきました。

また、市内にある小学校特別支援学級への団体貸出、特別支援学校への読み聞かせ活動も行ってきました。

高齢者に対するサービスについては、大活字本の収集・保存、また高齢者福祉施設への団体貸出を行っています。

平成 27 年 4 月には「和光市図書館利用困難者支援事業実施要綱」を施行し、郵送貸出サービスを改訂、対面朗読及びデイジー²⁷再生機の利用について追記しています。

平成 28 年から音訳者養成講座受講者の音訳サークル「なごみ」（平成 27 年 9 月結成）による対面朗読サービスを実施しています。また平成 28 年 10 月に特別なニーズがある子どものために「りんごの棚」を本館に設置（分館は 11 月に設置）、平成 29 年 4 月には拡大読書器（卓上型）を設置しています。

また、アクティブシニアをターゲットとした講座を毎年行っています。

【課題】

障害者や高齢者に配慮した機器類、資料のさらなる充実が求められています。また、障害者や高齢者用の資料の増加、対面朗読のための音訳者の養成等障害者や高齢者に配慮したサービスの充実が求められています。

図書館協議会においては、現役世代向けのサービスや定年退職されたアクティブシニア向けのサービスや活用が必要であるといった意見が出されています²⁸。

本市の人口推計（年齢別人口比）を見ると、65 歳以上の人口割合は平成 28 年 16.9% から平成 32 年には 18.1% に上昇することが予想されている²⁹ことから、高齢者へのサービスの充実は図書館としても取り組むべき課題と考えられます。

郵送貸出サービス・対面朗読サービスについては、利用者に偏りがあり、デイジー機器やデイジー図書の利用は少ないため、それぞれのサービスに関するさらなる周知が必要となっています。

◆ 蔵書資料数（実績値）

	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28
点字図書（冊） （雑誌含む）	-	142	152	114	174
大活字図書（冊）	-	1,315	1,402	1,698	1,800
録音図書（冊）	-	-	-	42	59

²⁷デイジー：障害者用の録音資料製作システムで、世界的に確定されたデジタル録音図書の記録方法

²⁸平成 23 年度第 2 回図書館協議会会議録他

²⁹和光市『第四次和光市総合振興計画基本構想（改訂版）（2011～2020）』（平成 28 年 3 月）第 2 章 4「人口推計」による。

【5年後の目指す姿（定性的目標）】

障害者や高齢者が利用しやすい図書館となる。また、図書館がアクティブシニアの活動の場の一つになる。

<取組内容>

・障害等に応じたサービスの実施

身体が不自由な人への介助や支援を行うとともに、読み書き困難な人へ筆談や対面朗読サービスを実施します。また、郵送貸出サービスやデジタイズ機器及びデジタイズ図書に関しても、さらなる周知を進めていきます。

さらに、カウンター業務や緊急時の対応に、ユニバーサルデザインの案内や意思表示ができるボードを作成し、いつでも活用できるようにします。

・市役所関係各課との連携によるニーズの把握及び事業の実施

市役所関係各課と連携し、図書館サービスに求めるニーズを把握するためのアンケートを実施するとともに、障害者や高齢者を対象とした事業を実施します。

・対面朗読のための音訳者支援

視覚障害者のみならず、高齢者等読書が困難な人に対面朗読を行います。また、図書館独自の録音資料の作成についても検討します。

・アクティブシニア向けサービスの充実

アクティブシニア向けの講座、読書会、映画会等を実施し、アクティブシニアの活動を支援します。

◆ 取組年度

	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
障害等に応じたサービスの実施	検討 実施	→			
市役所関係各課との連携によるニーズの把握 及び事業の実施		ニーズ 調査	→		
対面朗読のための音訳者支援	実施	→			
アクティブシニア向けサービスの充実	実施	→			

◆ 各年度の数値指標（定量的指標）

	現状値	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
点字・大活字・録音図書の 蔵書数（冊）	2,033 (H28)	2,083	2,133	2,183	2,233	2,250
障害者・高齢者サービス登 録者数（人）	14 (H28)	15	16	17	18	20
60歳以上の登録件数（件）	7,919 (H28)	8,069	8,219	8,369	8,519	8,669
音訳者養成講座実施回数 （回）	4 (H28)	6	6	6	6	6

施策5 外国人へのサービスの充実

【現状】

外国人に対するサービスについては、和光市国際化推進計画³⁰に基づき、英語の書籍や絵本、英字新聞、英字雑誌等の購入のほか、中国語及び韓国語の書籍も購入しています。また、利用案内については、英語版だけでなく、やさしい日本語版をホームページに掲載し、英語以外の言語を話す外国人にも対応できるよう整備しています。

市内に住む外国人の国籍を踏まえ、利用が見込まれるタガログ語、タイ語、マレー語、スペイン語、フランス語の子ども向け資料を購入し、それらの外国語資料リストを作成した上で、資料棚に設置して探しやすいように整備しています。その際、背表紙には国旗のマークを貼付し、一目で見つけられるように工夫しています。資料の購入に際しては、所蔵の少ない分野の資料（中高生向け図書、ボードブック、日本の古典文学、基本的な英米文学書等）を中心に購入しています。

また、和光市の姉妹都市であるロングビュー市コーナーを設置し、市の紹介や寄贈して頂いたグッズの展示を行っています。

【課題】

外国人の登録や利用が少ない状況から、外国人にもわかりやすい図書館ホームページ等による情報提供の充実が求められています。

実際に利用されている外国人の方々が不便に感じる事等、ニーズを把握することでより良いサービスを提供していきます。

◆ 蔵書資料数（実績値）

	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28
外国語資料（洋書） の蔵書数（冊）	905	961	993	998	1,129

【5年後の目指す姿（定性的目標）】

外国人が利用しやすい図書館となる。

<取組内容>

・市役所関係各課等との連携

市役所関係各課や市内の機関等と連携し、海外からの転入者に対し、翻訳した図書館利用案内の配付を行うとともに、外国人のニーズを把握しサービスの充実を図ります。

・外国人への情報提供と外国語資料の収集・保存

外国人に図書館へ足を運んでもらえるよう、ホームページ等による情報提供を充実します。また、本市在住の外国人の統計（人口、性別、年齢等）を調査の上、外国語資料を収集・保存します。

また乳幼児向け事業に参加する子育て世代の外国人利用者に意見を聞いたり、外

³⁰和光市「第二次和光市国際化推進計画（平成 23～32 年度）」（平成 28 年 2 月改定）

国人の来館者向けに館内にアンケート用紙を設置して要望を調査し、サービスの対応と改善に役立ってます。

◆ 取組年度

	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
市役所関係各課等との連携	実施	→			
外国人への情報提供と外国語資料の収集・保存	実施	→			

◆ 各年度の数値指標（定量的指標）

	現状値	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
外国語資料の蔵書数（冊）	1,129 (H 28)	1,300	1,310	1,320	1,330	1,340
外国語資料の貸出冊数（冊）	1,296	1,300	1,310	1,320	1,330	1,340
外国人向け事業の実施回数（回）	1回 (H 28)	1回	2回	2回	2回	2回



ロングビュー市の方々に対して
和光市図書館のロングビューコーナーを案内（平成 29 年）

基本施策Ⅲ 居心地の良い図書館へ

施策 1 公共施設等と連携したサービスの提供

【現状】

本市と朝霞市、志木市、新座市の4市は、図書館の相互利用の連携を引き続き図っています。また、図書等が利用者からリクエストされ、選書会議において購入しない等となった資料については、埼玉県立図書館及び県内公共図書館から相互貸借の制度や、国立国会図書館からの借受け等、利用者が希望する資料の提供に努めています。

公民館図書室については平成26年10月から公民館職員による貸出を開始し公民館開館時間は貸出可能となっています。また、予約資料受け取り時間も夜9時まで可能となっています。公民館をはじめ、市役所、コミュニティセンター等には、図書館資料の返却用ポストを設置しているほか、平成26年8月には和光市駅南口自転車駐車場に返却用ポストを設置しました。

市役所との連携においては、市役所の各課の業務を支援するため、業務に必要な書籍等の貸出しや購入、図書館会議室の貸出しによる連携事業の実施等庁内業務を支援するサービス（以下、「庁内業務支援サービス」という。）を行っています。

市内の小中学校においては、授業で使用する本を数十冊単位でテーマごとに2週間貸出を行っています。

下新倉分館においては、本館と同様の取組を行っている他、併設されている下新倉小学校、下新倉児童館、下新倉保育クラブと連携を図り、読み聞かせや本の紹介を行う等、相乗効果を生み出すための取組を行っています。

【課題】

本館は市内の機関（国等）や企業、医療機関等との連携、下新倉分館は併設されている下新倉小学校、下新倉児童館、下新倉保育クラブに加え、近隣の機関等とさらなる連携が必要と考えられます。また、本館や下新倉分館から遠い地域の方々が利用しやすいように、公民館図書室の充実が必要です。

【5年後の目指す姿（定性的目標）】

様々な機関と連携し、それぞれの強みを活かした事業を実施する図書館となる。

<取組内容>

・公民館図書室の利用方法の検討・実施

公民館図書室の利用に関するアンケート等を行い、利用者ニーズに基づいた図書資料の整備や読み聞かせ活動等の事業の実施を検討します。

・市内の機関（国等）や企業、医療機関等との連携

国立保健医療科学院をはじめ市内の機関や企業、医療機関と連携し、専門図書等の情報収集・提供や連携事業等を検討・実施します。

・県内公共図書館、近隣図書館との連携等

相互貸借等、県内公共図書館及び近隣図書館との情報交換を適宜行います。また、

国等で実施している取組についての情報を収集し、その対応を適宜検討します。

・ **市内各公共施設との連携によるサービスの充実**

市内小中学校、保育施設、幼稚園、子育て世代包括支援センター、保健福祉施設等市内公共施設における団体貸出を充実することで図書館から遠い立地に住む人が本に接しやすくする環境を整える他、返却用ポスト等の設置、その他連携事業を充実します。

・ **市役所関係各課等との連携による事業等の充実**

市役所関係各課等との連携による講座の開催等庁内業務支援サービスを充実します。

◆ **取組年度**

	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
公民館図書室の利用方法の検討・実施	実施	→			
市内の機関（国等）や企業、医療機関等との連携	実施	→			
県内公共図書館、近隣図書館との連携等	実施	→			
市内各公共施設との連携によるサービスの充実	実施	→			
市役所関係各課等との連携による事業等の充実	実施	→			

◆ **各年度の数値指標（定量的指標）**

	現状値	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
公民館図書室における資料貸出点数（点）	7,917 (H28)	7,950	7,960	7,970	7,980	8,000
庁内業務支援サービスの実施件数（件）	7 (H28)	10	11	12	13	14
市役所以外の機関と連携して行った事業の数（件）	3 (H28)	3	3	3	3	3

施策2 地域、ボランティアとの連携

【現状】

地域やボランティアとの連携については、図書館まつり、夏休みこどものつどいといった催し、読み聞かせ活動等の事業を通じて図っています。

平成26年11月に図書館サポーター制度を導入し、サポーター企画（講演会・映画会等）の実施、図書館事業（リサイクル・蔵書点検・団体貸出作業・カバーかけ等）のサポートをしていただいています。

【課題】

現在、図書館事業に関わるボランティア（以下、「図書館ボランティア」という。）³¹について、団体の構成人数が減少しているため³²、図書館ボランティアの養成やサポーターの育成が必要です。また、より良い事業を実施していくため、地域の様々な団体との更なる連携が必要です。

【5年後の目指す姿（定性的目標）】

地域やボランティアと連携し、市民・利用者にとって魅力的な図書館となる。

<取組内容>

・図書館ボランティアの育成・支援、連携

読み聞かせ等のボランティアを実施している団体への支援を行うとともに、団体で活動するボランティアを育成するための講座を開催します。また、図書資料のカバーかけ等の図書館事業に御協力いただける方や自主事業を企画する図書館サポーターを募集し、ボランティア・サポーターと連携し、一緒に図書館づくりを進めていきます。

・地域等との連携による図書館事業の充実

自治会や地域活動団体、ボランティア団体等と連携し、図書館まつり等をはじめとした図書館事業を活性化させます。また、地域活動団体と連携し、活動場所や活動に必要な資料の提供に努めます。また新たに他部署等と連携して展開を予定しているサービス分野（障害者サービス等）について、さらにボランティアを募っていきます。

・ひと八コ図書館³³の検討・実施

市民がおすすめする本を共有する企画として、「ひと八コ図書館」の設置を検討・実施します。

³¹図書館ボランティアは図書館で活動している団体や「図書館サポーター」の登録者をいう。

³²資料編「図書館ボランティア団体アンケート」等による。

³³市民や著名人に小さな図書館（ひと箱分）の館長になっていただき、おすすめの本等を展示する企画。



図書館ボランティアによる絵本の読み聞かせの様子

◆ 取組年度

	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
図書館ボランティアの育成・支援、連携	実施	→			
地域等との連携による図書館事業の充実	実施	→			
ひと八コ図書館の検討・実施	検討	実施	→		

◆ 各年度の数値指標（定量的指標）

	現状値	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
図書館ボランティア登録人数（人）	124 (H28)	125	130	135	140	145
図書館サポーターの図書館事業への参加人数（人）	137	140	145	150	155	160
ひと八コ図書館の設置数（箱）	-	-	1	1	1	1

施策3 コミュニティ情報等の収集・整理・保存・発信

【現状】

図書館1階入口及び3階フロア内に情報発信コーナーを設置している関係でチラシの配布やポスター掲示の依頼が増加しており、情報発信の場として活用されています。

下新倉分館では入口前やパンフレット棚等を活用して地域の情報発信に努めています。

【課題】

図書館が地域の情報拠点となるためには、市役所からのお知らせ等をはじめ、市内公共機関、地域活動団体等のコミュニティ情報を収集・整理・保存・発信することが必要です。

【5年後の目指す姿（定性的目標）】

市内のコミュニティ情報を知りたいときに、知ることができる図書館となる。

<取組内容>

・コミュニティ情報サービスの充実

地域情報コーナーを充実し、地域における生活上の課題解決のための情報提供を行うとともに、市内の公共機関や企業、地域団体等が発行しているパンフレットやチラシ、ミニコミ誌等を収集・整理・保存・提供します。

・市役所発行のチラシ等の配布

市役所で発行しているチラシやポスター等を収集し、利用者に配布します。

◆ 取組年度

	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
コミュニティ情報サービスの充実	実施	→			
市役所発行のチラシ等の配布	実施	→			

◆ 各年度の数値指標（定量的指標）

	現状値	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
当該年度発行の市内情報紙等の保管数 (点)	-	100	100	100	100	100

施策4 図書館施設等の保全

【現状】

和光市図書館では、平成26年2月にはキッズルームの設置及びレイアウト変更を行いました。

平成28年11月に開館した下新倉分館では、誰でも利用できる閲覧席・雑誌ブラウジングコーナー³⁴をはじめ、幼児や子育て世代が利用しやすいようにクッションマットを敷き詰めたキッズコーナー、併設の下新倉小学校学校図書室に隣接して児童コーナーを設けています。

【課題】

和光市図書館が開館してから30年が経過しており、施設が老朽化してきています。和光市図書館の老朽化に対して今後どう対応していくか検討する必要があります。

下新倉分館は各コーナーが壁で隔たれていないことに加え、音が響く構造となっているため、利用者の理解が必要となります。

【5年後の目指す姿（定性的目標）】

適切に施設を保全し、みんなが満足できる環境を提供できる図書館となる。

<取組内容>

・適切な施設の保全

和光市公共施設等総合管理計画³⁵等を念頭に、利用者が安全・安心に利用できるよう、修繕や工事箇所の優先順位を考慮し計画的に施設を保全します。

◆ 取組年度

	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
適切な施設の保全	実施				

◆ 各年度の数値指標（定量的指標）

	現状値	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
館内の環境の満足度（公民館含む） [来館者アンケート] (%)	69.8 (H29)	-	-	-	75	

³⁴ブラウジングコーナー：机を要しない程度のためし読みや、調査研究などのための長時間読書をしている利用者のための息抜きをするための部屋や場所。

³⁵和光市「和光市公共施設等総合管理計画」平成28年3月

施策5 電子図書館の推進

【現状】

館内利用者が、インターネットや端末（OPAC）を利用し、図書資料等が検索・予約できる図書館管理システムを導入し、その後システムを平成26年2月に更新し、より利用しやすいシステムを導入しました。また、市内小中学校図書館を同システムで支援し、各公民館とは同一システムネットワークで連携しています。そして館内利用者の利便性向上等のため、平成26年11月にはセルフ貸出サービス³⁶を実施しています。

利用者が行政情報や生活情報をはじめ、さまざまな情報を収集する際のサービスのひとつとして、利用者用インターネット端末を和光市図書館に2台、下新倉分館に1台設置しています。また、平成25年にSoftBank及びauのWi-Fiスポットを設置しています（総務課にて一括設置）。利用者用インターネット端末では、平成27年3月から国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料の閲覧（国立国会図書館デジタル送信化サービス）ができるようになり、平成28年9月から同サービスの複写が可能となりました。

【課題】

平成29年6月に実施した市民アンケートでは、希望する図書館サービスとして館内のIT環境（パソコン等）の充実について求める意見が17.1%（20選択肢中4番目）あり、インターネット環境の整備等が求められています³⁷。本館は現在、Wi-Fiの使用機種が限定されています。情報格差解消のため、本館、分館においてWi-Fiを導入し、館内のどこにいても、高速インターネット通信が行えるように整備が必要です。

また、インターネット等情報関連分野は日進月歩であることから、電子書籍市場等様々な動向を注視し、5年後、10年後を想定した取組が必要です。

【5年後の目指す姿（定性的目標）】

Wi-Fi等インターネット環境を整えることで、誰もが様々な情報へアクセスしやすい図書館となる。



和光市図書館ホームページ

³⁶ 図書館職員の手を経ずに、利用者自身が貸出手続きを行うことができるサービス。

³⁷ 資料編「市民無作為抽出アンケート」による。

<取組内容>

・ 図書館管理システムの充実

図書館管理システムの更新時期（平成 32 年 1 月予定）に合わせて、利用者、学校図書館の担当者等の意見を反映した利便性の高いシステムを検討・導入します。その際、タブレットを導入し、フロアレファレンスや講座に活用します。また、ソーシャルネットワーキングサービスを活用した図書館サービス等の導入を引き続き検討します。

・ 電子書籍の導入の検討

電子書籍については、著作権法上の問題等に留意し、他自治体等での動向をみながら引き続き導入を検討します。

・ 館内インターネット環境の整備

現在、本館で利用可能なWi-Fiは使用機種が限定されているため、分館も含め、高速インターネット通信行える環境について検討し、利用者が知りたい情報にアクセスしやすい環境を整えます。

・ 図書館ホームページの充実

図書館ホームページについては利用者が来館したくなるような情報提供を行います。

◆ 取組年度

	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
図書館管理システムの充実	検討	更新	→		
電子書籍の導入の検討	検討	→			
館内インターネット環境の整備	整備	→			
図書館ホームページの充実	実施	→			

◆ 各年度の数値指標（定量的指標）

	現状値	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
インターネット予約件数 (件)	27,885 (H 28)	28,000	28,500	29,000	29,500	30,000
図書館ホームページ閲覧 件数 (件)	-	48,000	49,000	51,000	52,000	53,000

施策6 図書館の効率的・効果的運営及び職員の資質の向上

【現状】

平成26年4月からカウンター業務の委託を解消し、直営による運営となっています。

職員の資質の向上については、日本図書館協会及び埼玉県図書館協会等が主催する研修に積極的に参加するとともに、館内におけるレファレンス研修や全図書館職員を対象に職員研修を兼ねた講座を行う等、日頃から職員の資質の向上に努めています。

【課題】

平成29年6月に実施した市民無作為抽出アンケートでは、約5.5割の市民が「この1年間に市内の図書館を利用したことがない」といった結果が出ています。また、同アンケートでは「丁寧で気持ちのよい職員対応（接客）」を求める意見が19.7%と最も高くなっていることから、接客能力の更なる向上が必要です。平成29年7月に実施したワークショップにおいても、「スタッフの質の向上」や、図書館からの適切な情報公開をしてほしいといった旨の意見がありました³⁸。

【5年後の目指す姿（定性的目標）】

職員の質や意欲を向上させ、気持ちの良い対応ができる図書館となる。また、図書館運営については和光市図書館協議会により外部評価を受けながら、より良く改善していく図書館となる。

<取組内容>

・効率的・効果的運営の検討・実施

図書館協議会を活用しながら、現行の図書館サービス等を検証し対応する等、より効率的・効果的な図書館運営に努めます。また、定期的実施する利用者アンケート、県内公共図書館や近隣三市（朝霞・新座・志木）等のサービスの状況を見ながら、より充実したサービスの提供や業務の改善を検討・実施していきます。

・職員の資質の向上

利用者の多種多様なニーズに応えるため、国や県、関係団体等の主催する研修に積極的に参加し、職員のさらなる資質や意欲、創造性の向上に努めるとともにレファレンスサービスを充実します。

・テーマ展示の定期的な開催

日頃から本に接している図書館職員の強みを活かし、特定のテーマに合わせたテーマ展示を定期的開催し、市民に有益な情報を提供するとともに、職員自ら本に関する理解を深めます。

・図書館協議会による審議

図書館運営上の重要事項については図書館協議会に諮問し、その答申結果を運営に活かします。

・図書館の運営状況等の情報提供

図書館サービス計画の進捗状況等について図書館協議会による評価を受けながら、

³⁸資料編「第2次和光市図書館サービス計画策定に伴う理想の図書館像を考えるワークショップ」の概要より。

適宜改善に努めていきます。また、図書館協議会の会議録等をホームページで公開する等、図書館の運営等に関する情報を提供し、開かれた図書館づくりを進めます。

・第3次図書館サービス計画の検討・策定

第2次図書館サービス計画中の課題等を踏まえ、第3次図書館サービス計画の検討・策定を行います。

◆ 取組年度

	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
効率的効果的運営の検討・実施	実施	→			
職員の資質の向上	実施	→			
テーマ展示の定期的な開催	実施	→			
図書館協議会による審議	実施	→			
図書館の運営状況等の情報提供	実施	→			
第3次図書館サービス計画の検討・策定				検討	策定

◆ 各年度の数値指標（定量的指標）

	現状値	H 30 (2018)	H 31 (2019)	H 32 (2020)	H 33 (2021)	H 34 (2022)
貸出点数（点）	371,986 (H28)	380,000	381,000	382,000	383,000	384,000
レファレンス件数 （件）	5,670 (H28)	5,700	5,725	5,750	5,775	5,800
入館者数（人）	272,546 (H28)	285,000	286,000	287,000	288,000	289,000
図書館職員の研修参 加延べ人数（人）	102人 (H28)	104人	106人	108人	110人	110人

資料編

1 計画策定の経過

平成 29 年

5月13日(土)～6月27日(火)	市民無作為抽出アンケート (配付 1,000 人・回収 346 件・回収率 34.6%)
5月26日(金)～6月26日(月)	図書館内における利用者アンケート調査 (回答者数 139 人)
6月5日(月)～6月13日(火)	図書館ボランティア団体へのアンケート調査(7 団体)
7月15日(土)	第 2 次和光市図書館サービス計画策定に伴う理想の図書館像を 考えるワークショップ (参加者 18 人)
7月19日(水)～7月31日(月)	ワークショップの成果について、和光市図書館及び下新倉分館 内において来館者による「いいねシール」による投票 (のべ 123 人投票)
8月31日(木)	第 1 回 和光市図書館協議会
9月1日(金)～10月30日(月)	図書館協議会委員 電子メール及び対面ヒアリング等による意 見提出・意見交換(1 回目)
11月17日(金)～11月24日(金)	市役所内関係課(社会援護課、長寿あんしん課、総務人権課) による内容確認
11月28日(火)～12月5日(火)	図書館協議会委員 電子メール及び対面ヒアリング等による意 見提出・意見交換(2 回目)
12月8日(金)	第 2 回 和光市図書館協議会
12月21日(木)	定例教育委員会

平成 30 年

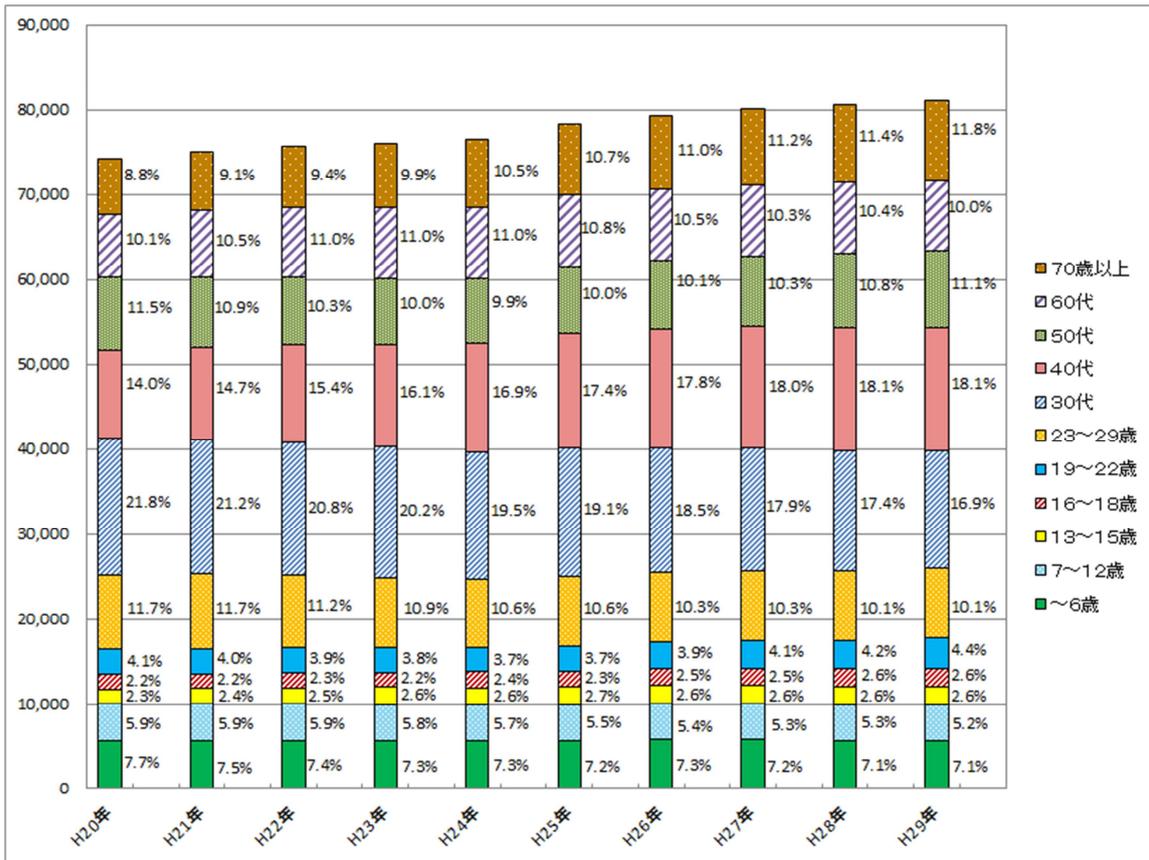
1月9日(火)～1月28日(日)	パブリック・コメント募集期間 <説明会> 1月12日(金)【本館】 参加者数：3人 1月13日(土)【分館】 参加者数：3人 <結果> 意見提出者数 1人 意見提出件数 11件
2月14日(水)	第 3 回 和光市図書館協議会
2月22日(木)	定例教育委員会

2 和光市図書館協議会委員名簿

(平成 29 年 8 月 1 日～平成 31 年 7 月 31 日)

	氏 名	性別	選出母体等	備考
1	はしづめ ひさし 橋爪 永	男	和光市小・中学校校長会	
2	いとう まさし 伊藤 正志	男	和光市内の県立学校	
3	ささき まゆこ 佐々木 麻由子	女	和光市社会教育委員	
4	いがらし やすよ 五十嵐 康世	女	和光市公民館運営審議会	
5	やぎ くに 八木 久仁	女	ひまわり倶楽部	
6	おくま ひろこ 小熊 尋子	女	NPO 法人わこう子育てネットワーク	
7	せきぐち やすのり 関口 泰典	男	公募	
8	やぎした のぼる 柳下 昇	男	公募	副委員長
9	いしかわ たかし 石川 敬史	男	十文字学園女子大学	
10	いずみ みねこ 泉 峰子	女	国立保健医療科学院	委員長

3 和光市の年齢区分別人口推移（「統計わこう」の数値を基に作成）



	～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19～22歳	23～29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上
H20年	5,723	4,374	1,697	1,664	3,009	8,695	16,144	10,369	8,528	7,474	6,527
	7.7%	5.9%	2.3%	2.2%	4.1%	11.7%	21.8%	14.0%	11.5%	10.1%	8.8%
H21年	5,646	4,391	1,836	1,641	3,007	8,732	15,877	10,990	8,158	7,843	6,829
	7.5%	5.9%	2.4%	2.2%	4.0%	11.7%	21.2%	14.7%	10.9%	10.5%	9.1%
H22年	5,597	4,473	1,859	1,705	2,959	8,501	15,701	11,620	7,796	8,286	7,145
	7.4%	5.9%	2.5%	2.3%	3.9%	11.2%	20.8%	15.4%	10.3%	11.0%	9.4%
H23年	5,576	4,418	1,996	1,686	2,918	8,307	15,319	12,215	7,614	8,394	7,559
	7.3%	5.8%	2.6%	2.2%	3.8%	10.9%	20.2%	16.1%	10.0%	11.0%	9.9%
H24年	5,581	4,375	2,002	1,821	2,809	8,130	14,917	12,891	7,548	8,399	8,008
	7.3%	5.7%	2.6%	2.4%	3.7%	10.6%	19.5%	16.9%	9.9%	11.0%	10.5%
H25年	5,614	4,334	2,094	1,839	2,871	8,313	14,954	13,608	7,795	8,449	8,389
	7.2%	5.5%	2.7%	2.3%	3.7%	10.6%	19.1%	17.4%	10.0%	10.8%	10.7%
H26年	5,784	4,306	2,094	1,991	3,107	8,210	14,645	14,107	8,016	8,338	8,740
	7.3%	5.4%	2.6%	2.5%	3.9%	10.3%	18.5%	17.8%	10.1%	10.5%	11.0%
H27年	5,750	4,280	2,108	2,028	3,316	8,254	14,352	14,433	8,270	8,289	9,009
	7.2%	5.3%	2.6%	2.5%	4.1%	10.3%	17.9%	18.0%	10.3%	10.3%	11.2%
H28年	5,726	4,234	2,107	2,109	3,343	8,145	14,045	14,591	8,690	8,356	9,200
	7.1%	5.3%	2.6%	2.6%	4.2%	10.1%	17.4%	18.1%	10.8%	10.4%	11.4%
H29年	5,722	4,240	2,112	2,093	3,563	8,231	13,736	14,707	9,042	8,097	9,608
	7.1%	5.2%	2.6%	2.6%	4.4%	10.1%	16.9%	18.1%	11.1%	10.0%	11.8%

4 図書館の概要

当市には、和光市図書館、平成 28 年 11 月に開館した下新倉分館のほか、市内 3 か所の公民館（中央公民館・坂下公民館・南公民館）に図書室を配置し、図書館資料の貸出等のサービスを行っています。

（1）図書館施設の概要

【和光市図書館】

所在地：和光市本町 31-1

開館年月日：昭和 58 年 8 月 2 日

面積：1694.87 m²（建物延べ「床」）

941.51 m²（土地共有持分）

利用時間：月～金曜日 午前 9 時 30 分から午後 8 時まで

土・日曜日・祝日 午前 9 時 30 分から午後 6 時まで

休館日：毎月第 2・4 木曜日（1 月第 2 木曜日・12 月第 4 木曜日を除く。）

休館日が祝日の場合は開館し、その翌日が休館日となる）

所蔵数：186,135 冊（平成 28 年度）

【和光市図書館下新倉分館】

所在地：和光市下新倉 5-21-1

開館年月日：平成 28 年 11 月 3 日

延べ面積：604.87 m²

利用時間：火～日曜日 午前 9 時 30 分から午後 6 時まで

休館日：月曜日・毎月第 4 木曜日（12 月を除く。休館日が祝日の場合は開館し、その翌日が休館日となる）

所蔵数：21,638 冊（平成 28 年度）

【公民館図書室】

<中央公民館図書室>

所在地：和光市中央 1-7-27

開館年月日：昭和 46 年 6 月 2 日（平成 8 年 3 月 15 日新築）

面積：約 76.0 m²

利用時間：平日 午前 9 時から午後 5 時まで

土曜 午後 1 時から午後 5 時まで

（予約資料の受け取りは毎日午前 9 時から午後 9 時まで）

所蔵数：5,668 冊（平成 28 年度）

<坂下公民館図書室>

所 在 地：和光市新倉 3-4-18

開館年月日：昭和 49 年 9 月 17 日（平成 9 年 1 月図書室改修）

面 積：約 38.0 m²

利 用 時 間：平日 午前 9 時から午後 5 時まで

土曜 午後 1 時から午後 5 時まで

（予約資料の受け取りは毎日午前 9 時から午後 9 時まで）

所 蔵 数：5,392 冊（平成 28 年度）

<南公民館図書室>

所 在 地：和光市南 2-3-1

開館年月日：昭和 58 年 5 月 1 日

面 積：約 46.8 m²

利 用 時 間：平日 午前 9 時から午後 5 時まで

土曜 午後 1 時から午後 5 時まで

（予約資料の受け取りは毎日午前 9 時から午後 9 時まで）

所 蔵 数：5,569 冊（平成 28 年度）

(2) これまでの主な取組み（沿革）

主 な 取 組 内 容	
昭和37年 8月	大和町中央公民館図書室開室
昭和45年	県立移動図書館巡回開始
昭和45年10月	和光市市制施行
昭和46年 6月	和光市中央公民館図書室開室
昭和48年12月	移動図書館「やまびこ号」巡回開始
昭和49年 9月	坂下公民館図書室開室
昭和56年10月	新「やまびこ号」巡回開始
昭和58年 3月	図書館新築工事竣工
昭和58年 5月	南公民館図書室開室
昭和58年 8月	和光市図書館開館
昭和59年	視聴覚資料貸出開始
平成 3年 6月	移動図書館日曜巡回開始
平成 4年 9月	図書館電算化稼働
平成 5年11月	移動図書館「やまびこ号」更新、巡回開始
平成 8年 1月	坂下公民館図書室館内での場所の移動と室内改修
平成10年 6月	中央公民館図書室開室
平成12年11月	第1回図書館まつり（文化の日）
平成14年 4月	祝日開館及び開館時間延長
平成15年 3月	移動図書館やまびこ号廃止
平成15年 5月	郵送貸出サービス開始
平成16年 3月	学校図書館とオンライン化し、学校との連携開始
平成17年 4月	インターネット予約開始
平成18年 1月	子育て支援コーナー設置
平成18年 3月	和光市図書館ホームページ開設
平成18年 9月	利用者用インターネット端末2台設置・多目的トイレ改修工事 （オストメイト設置）
平成19年 1月	ビジネス支援コーナー設置
平成21年10月	坂下公民館図書室内改装
平成21年11月	埼玉・教育ふれあい賞受賞
平成23年 3月	ブックポスト増設（コミュニティセンター、駅北口土地区画整理事業事務所）
平成23年 4月	月曜開館本格実施
平成23年 5月	公民館職員による公民館図書室資料の貸出し（月・水～金曜日）
平成23年11月	電話及びインターネットによる貸出延長

平成24年 4月	文部科学大臣表彰受賞（子どもの読書活動優秀実践図書館）
平成24年 6月	各公民館図書室の図書の入替え（特徴を持たせた蔵書構成）
平成24年 9月	ブックポスト増設（総合福祉会館）
平成25年 3月	和光市図書館サービス計画及び第2次和光市子ども読書推進計画策定
平成25年 4月	朝の開館時間の変更（10時から9時30分へ）
平成25年 9月	ブックスタート開始
平成26年 2月	キッズルーム設置及び館内レイアウトの変更
平成26年 4月	カウンター業務を委託から直営による運営に変更 マンガコーナー設置
平成26年 7月	出張ブックスタート開始
平成26年 8月	ブックポスト増設（和光市駅南口自転車駐車場）
平成26年10月	公民館図書室の貸出時間及び予約資料の受け取り時間の拡大
平成26年11月	セルフ貸出サービス開始 和光市図書館サポーター制度開始
平成27年 3月	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス開始
平成27年 4月	対面朗読サービス、デジ再生機等利用サービス開始
平成27年10月	赤ちゃんタイム開始
平成28年 4月	和光市図書館雑誌スポンサー事業開始 読書通帳開始
平成28年10月	りんごの棚設置
平成28年11月	和光市図書館下新倉分館開館 ナクソス・ミュージックライブラリー及びジャパンナレッジサービス開始
平成29年 1月	わごガチャ開始（小・中学生）
平成29年 4月	和光市図書館管理運営規則の一部改正 （休館日、図書利用券の有効期限、視聴覚資料の貸出点数） 読み聞かせ手帳開始
平成29年 5月	拡大読書機設置
平成29年10月	大人の読書通帳開始
平成30年 1月	わごガチャ利用対象を拡大（3歳～6歳）

(3) 所蔵資料の状況

図書館の蔵書数については過去 10 年間、19 万点前後を推移してきました。しかし、平成 28 年 11 月に下新倉分館が開館したことにより、平成 28 年度の蔵書数は 20 万点を超えています。下新倉分館は、約 4 万点の蔵書を確保できるため、今後約 23 万点までは、徐々に蔵書数の増加が見込まれます。

洋書の所蔵については、5 年前と比べ約 200 点増えています。これは近年、和光市に在住する外国人が増えていることも踏まえ、外国人の方々にも図書館を利用しやすいように努めている成果の一つです。

図書の分類別内訳に着目すると、一般書については日本文学などの文学が約 40%を占め、次いで政治、法律などの社会科学が多くなっています。また、児童書については、文学と絵本を合わせると約 70% 近くを占めています。

人口一人当たりの蔵書冊数は、平成 25 年度から約 2.4 冊程度を推移し、平成 28 年度は約 2.6 冊に上がっていますが、県内平均は下回っており、朝霞市、志木市、新座市の近隣図書館と比較しても低い数値となっています。しかし、人口一人当たり図書購入費については、下新倉分館が開館したことにより県内平均や近隣図書館を上回っています。

■ 所蔵資料数

単位：冊（点）

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	
	本館	本館	本館	本館	本館	分館
一般書	96,604	97,486	97,570	98,955	94,336	13,991
児童書 ※ 紙芝居含む	72,815	73,121	73,366	74,232	73,020	6,314
雑誌	3,211	3,277	3,285	3,417	3,445	914
郷土行政資料	3,785	4,029	4,319	4,502	4,561	243
視聴覚資料	9,253	9,058	9,192	9,301	9,350	0
洋書	905	961	993	998	1,013	116
付属品他	297	305	329	341	355	56
録音図書				42	55	4
館別合計					186,135	21,638
総合計	186,870	188,237	189,054	191,788	207,773	

※参考資料：平成 29 年度和光の教育

■ 図書館分類別内訳

分類			冊数	割合	
一 般 書	0	総記	図書館、書誌学、百科事典など	3,805	4%
	1	哲学	哲学、心理学、宗教など	2,626	3%
	2	歴史	歴史、伝記、地理、紀行	9,288	8%
	3	社会科学	政治、法律、経済、統計、社会、教育など	12,499	12%
	4	自然科学	数学、理学、医学など	3,657	4%
	5	技術	工学、工業、家政学など	7,331	7%
	6	産業	農林業、水産業、商業、交通	2,585	2%
	7	芸術	美術、音楽、演劇、体育など	8,391	8%
	8	言語	言語（日本語、中国語、英語）	1,949	2%
	9	文学	文学（日本文学など）	41,283	39%
			点字	9	1%
			大活字	1,760	2%
			ビジネス支援	1,860	2%
			子育て支援	2,293	2%
			情報	677	1%
			医療	3,529	3%
合計			103,542	100%	

分類			冊数	割合	
児 童 書	0	総記	図書館、書誌学、百科事典など	815	1%
	1	哲学	哲学、心理学、宗教など	381	1%
	2	歴史	歴史、伝記、地理、紀行	3,324	4%
	3	社会科学	政治、法律、経済、統計、社会、教育など	3,608	5%
	4	自然科学	数学、理学、医学など	7,293	9%
	5	技術	工学、工業、家政学など	2,576	3%
	6	産業	農林業、水産業、商業、交通	1,869	2%
	7	芸術	美術、音楽、演劇、体育など	2,856	4%
	8	言語	言語（日本語、中国語、英語）	920	1%
	9	文学	文学（日本文学など）	25,109	32%
			絵本	26,729	34%
			点字	44	1%
			大活字	40	1%
			子育て支援	19	1%
			医療	4	1%
	合計			78,457	100%

分類	冊数
<u>ヤングアダルト (YA)</u>	7,644
合計	7,644

■ 人口一人当たり資料数等

単位：冊（点）

平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
2.37	2.36	2.38	2.56

※参考資料：平成 29 年度和光の教育

■ 蔵書（県内（近隣市）ランキング） 63 市町村中の順位

蔵書冊数		
順位	近隣 4 市	冊数
13	朝霞市	521,511
19	新座市	413,155
県内平均		365,566
26	志木市	313,159
41	和光市	193,653

人口 1 人あたりの蔵書冊数		
順位	近隣 4 市	冊数
24	志木市	4.21
28	朝霞市	3.78
県内平均		3.16
52	新座市	2.53
55	和光市	2.38

■ 図書購入費（県内（近隣市）ランキング） 63 市町村中の順位

図書購入費		
順位	近隣 4 市	千円
5	新座市	31,343
8	和光市	28,359
15	朝霞市	23,999
16	志木市	23,756
県内平均		17,768

人口 1 人あたりの図書購入費		
順位	近隣 4 市	円
3	和光市	349
8	志木市	319
25	新座市	192
32	朝霞市	174
県内平均		153

※参考資料：平成 29 年度埼玉の公立図書館「平成 28 年度市町村図書館活動調査結果一覧」

（人口一人当たりの蔵書冊数：[一般書と児童書の合計]÷[人口]）

※平成 28 年度は下新倉分館開館に伴う図書購入費が含まれている。

(4) 図書館の利用状況

①登録者の状況

居住地別の登録者については、当市に次いで、朝霞市が多く、その次に東京都練馬区、新座市の順になっています。また、当市の年齢別登録者数は、40歳代が一番多く、次いで、30歳代、50歳代の順になっています。

登録者延べ人数の推移については、平成24年度から毎年約2,000人ずつ増加しています。また、登録率については、市民の半数以上が登録しており、毎年度徐々にですが増加しています。

■ 居住地別登録者及び年齢別登録者

単位：人

年齢別	和光市	朝霞市	志木市	新座市	戸田市	その他の埼玉県	板橋区	練馬区	その他
6歳以下	713	15	1	1	0	0	1	6	0
7-9歳	967	37	2	6	0	0	2	20	2
10-12歳	1,601	53	3	12	0	2	4	31	1
13-15歳	1,729	73	5	16	0	1	9	29	4
16-18歳	1,803	106	7	14	3	14	11	35	3
19-22歳	2,876	234	21	42	1	56	20	53	8
23-29歳	6,122	580	65	125	10	166	47	138	29
30-39歳	11,297	1,088	134	266	13	342	127	304	148
40-49歳	11,907	1,256	134	317	8	245	182	366	219
50-59歳	6,367	980	96	255	1	163	145	260	138
60-69歳	3,761	549	77	184	2	158	91	124	108
70歳以上	4,158	462	93	118	2	69	52	106	45
合計	53,301	5,433	638	1,356	40	1,216	691	1,472	705

※参考資料：平成29年度 和光の教育

■ 登録者延べ人数の推移

単位：人

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
47,091	49,015	51,001	53,308

※登録年月日は平成4年6月1日から平成29年3月31日

■ 登録率（市内）の推移

単位：%

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
59.35	61.20	63.32	65.69

※参考資料：平成29年度和光の教育

②利用者の状況（実人数）

利用者の状況（実人数）については、40歳代が一番多く、次いで30歳代、60歳代の順になっています。性別で見ると、40歳代女性が一番多く、次いで、30歳代の女性、40歳代の男性の順になっています。その反面、16～18歳の高校生世代の利用が少なく、その中でも男性が少ない状況となっています。

■ 年齢別実利用者数（平成28年度） 単位：人

年齢別	男	女	合計
6歳以下	229	252	481
7-9歳	378	450	828
10-12歳	293	431	724
13-15歳	170	221	391
16-18歳	106	212	318
19-21歳	169	323	492
22-29歳	270	487	757
30-39歳	535	1,481	2,016
40-49歳	732	1,528	2,261
50-59歳	460	626	1,086
60-69歳	561	622	1,183
70歳以上	498	468	967
合計	4,401	7,101	11,502

③資料貸出冊（点）数の状況

図書館、下新倉分館及び公民館を合わせた資料貸出冊（点）数は、371,986冊（点）となっており、分類別では、一般書が一番多く、次いで児童書、雑誌、CDの順となっています。

公民館における貸出状況は、南公民館、坂下公民館、中央公民館の順に多くなっており、特に坂下公民館の児童書の貸出数が多いことや中央公民館の利用が少ないことが特徴となっています。資料貸出冊（点）数の推移は、平成26年度から毎年度減少傾向となっており、インターネットやスマートフォンなどの電子書籍の普及により、貸出資料数が減少していると考えられます。

人口一人当たりの資料貸出数についても、平成26年度から毎年度減少傾向となっています。また、県内平均も下回っており、朝霞市、志木市、新座市の近隣図書館と比較しても、5年前と変わらず低い数値となっています。

■ 資料貸出（点）数

単位：点

		図書館	下新倉分館	中央 公民館	坂下 公民館	南 公民館	合計
一般書		157,011	6,056	420	877	2,311	166,675
児童書		145,359	6,035	451	1,566	835	154,246
紙芝居		2,044	139	7	14	26	2,230
郷土資料		204	27	0	6	4	241
雑誌		20,578	691	22	556	530	22,377
視聴覚 資料	CD	15,778	59	4	30	22	15,893
	カセット	12	0	0	2	0	14
	VTR	12	0	0	0	0	12
	DVD	4,880	23	3	7	1	4,914
デージー		21	0	0	0	0	21
洋書		1,241	54	0	0	1	1,296
付属品他		718	21	1	2	6	748
相互貸借		3,076	30	8	24	181	3,319
合計		350,934	13,135	916	3,084	3,917	371,986

※参考資料：平成 29 年度和光の教育

※下新倉分館の数値は、平成 28 年 11 月 3 日開館から平成 29 年 3 月 31 日まで。

■ 資料貸出冊（点）数の推移

単位：点

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
合計	376,772	378,277	372,997	371,986
うち、視聴覚資料	27,484	25,430	23,099	20,833

※参考資料：平成 26・27・28・29 年度和光の教育

■ 人口一人当たりの資料貸出数等の推移

単位：回

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
人口一人当たりの貸出数	3.68	3.75	3.62	3.53
登録者一人当たりの貸出数	6.59	6.35	6.01	5.74
資料の回転率	2.00	2.00	1.94	1.79

※参考資料：平成 29 年度和光の教育

■ 貸出冊数（県内（近隣市）ランキング）※63市町村中

貸出冊数			人口1人あたりの貸出冊数		
順位	近隣4市	冊数	順位	近隣4市	冊数
10	朝霞市	898,177	12	朝霞市	6.51
13	新座市	803,212	20	志木市	5.64
県内平均		629,864	県内平均		5.44
29	志木市	419,912	31	新座市	4.91
35	和光市	297,942	49	和光市	3.67

※ 参考資料：平成29年度埼玉の公立図書館

④入館者数の状況

入館者数の状況については、平成26年度、平成27年度と約26万人程度を推移しています。平成28年度は下新倉分館が開館したこともあり、両館を合計すると直近5年間で最多の入館者数となりました。

■ 入館者数の推移

単位：人

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
本館	245,270	238,898	259,893	260,658	256,831
分館					15,715
合計	245,270	238,898	259,893	260,658	272,546

※参考資料：平成29年度和光の教育

※下新倉分館の数値は、平成28年11月3日開館から平成29年3月31日まで。

5 アンケート調査等の結果

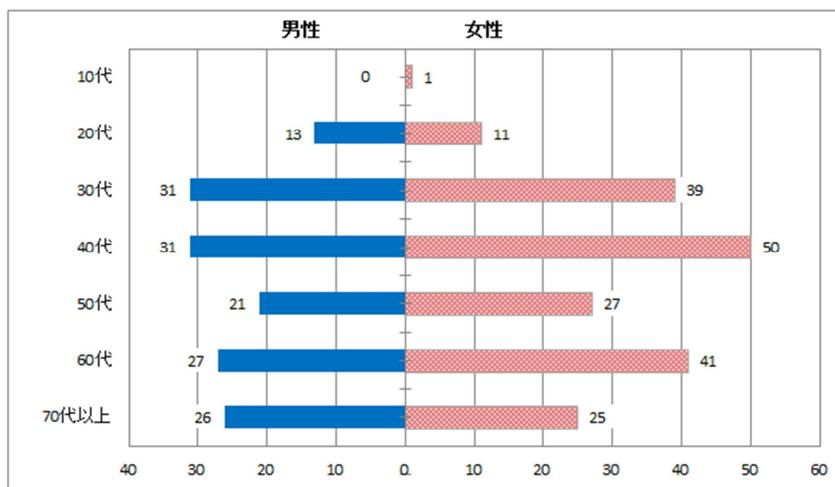
(1) 市民無作為抽出アンケート

- 調査対象 市内に住む 18 歳以上の市民 1,000 人(住民基本台帳から無作為抽出)
- 調査時期 平成 29 年 6 月 13 日～平成 29 年 6 月 27 日 (15 日間)
- 調査方法 郵送配布・郵送回収
- 回収状況 346 枚 (回収率 34.6%)

<回答者の男女別・性別 (問1、問2 集計結果) >

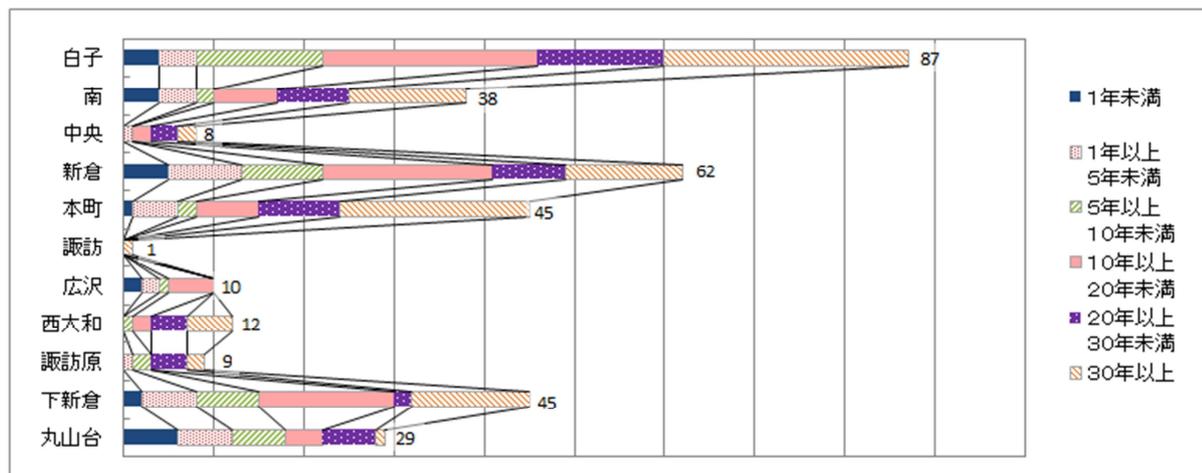
回答数 346

	男性	女性	無回答
10代	0	1	0
20代	13	11	0
30代	31	39	0
40代	31	50	0
50代	21	27	1
60代	27	41	0
70代以上	26	25	0
無回答	0	0	2



<回答者のお住まい状況 (問3、問4 集計結果) >

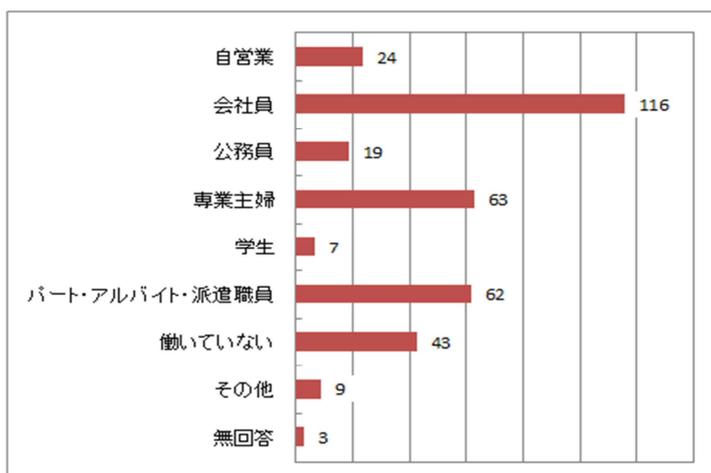
	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上	回答数
白子	4	4	14	24	14	27	87
南	4	4	2	7	8	13	38
中央	0	1	0	2	3	2	8
新倉	5	8	9	19	8	13	62
本町	1	5	2	7	9	21	45
諏訪	0	0	0	0	0	1	1
広沢	2	2	1	5	0	0	10
西大和	0	0	1	2	4	5	12
諏訪原	0	1	2	0	4	2	9
下新倉	2	6	7	15	2	13	45
丸山台	6	6	6	4	6	1	29
計	24	37	44	85	58	98	346



<回答者の職業 (問5 集計結果) >

回答数 346

自営業	24
会社員	116
公務員	19
専業主婦	63
学生	7
パート・アルバイト・派遣職員	62
働いていない	43
その他	9
無回答	3



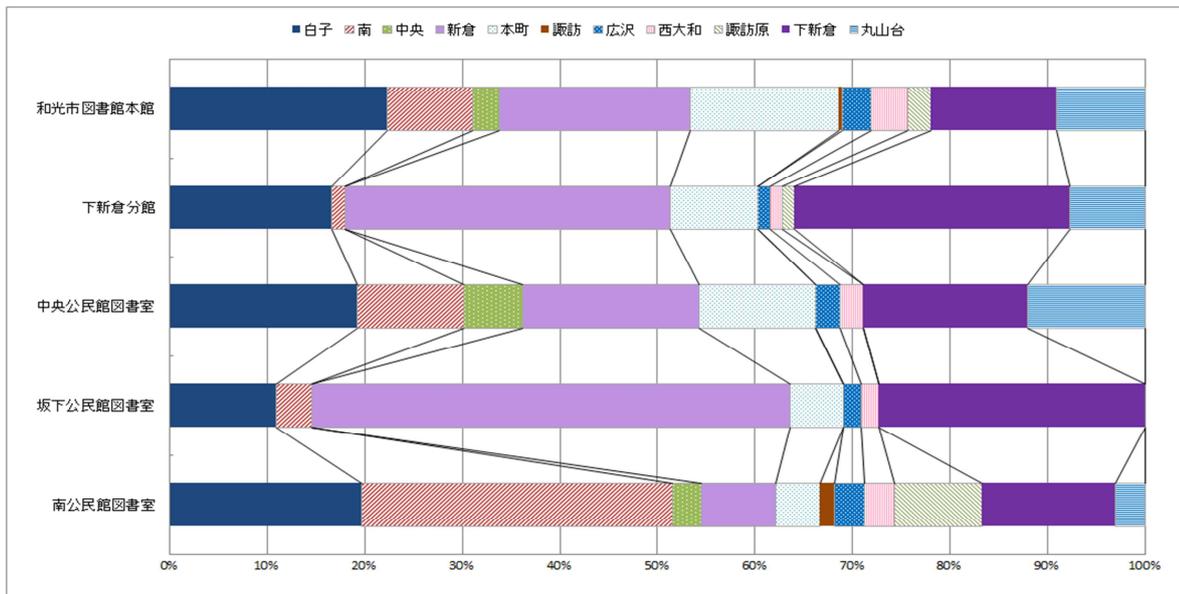
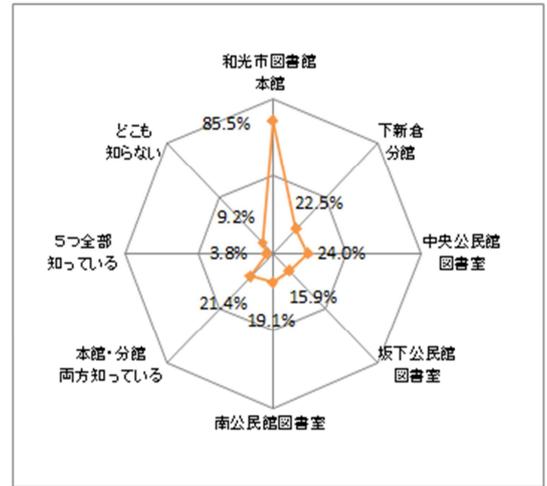
※問5「その他」の自由記述欄回答

- ・在宅仕事少々
- ・講師、年金
- ・美容師
- ・自由業

①市内の図書館の認知度 (問6 集計結果)

設問 市内の図書館(室)で知っているところを教えてください。(○はいくつでも)

	回答数 346 (複数回答)							
	和光市図書館 本館	下新倉 分館	中央公民館 図書室	坂下公民館 図書室	南公民館 図書室	本館・分館 両方知っている	5つ全部 知っている	どこも 知らない
白子	66 22.3%	13 16.7%	16 19.3%	6 10.9%	13 19.7%	13 17.6%	3 23.1%	18 54.5%
南	26 8.8%	1 1.3%	9 10.8%	2 3.6%	21 31.8%	1 1.4%	1 7.7%	6 18.2%
中央	8 2.7%	0 0.0%	5 6.0%	0 0.0%	2 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
新倉	58 19.6%	26 33.3%	15 18.1%	27 49.1%	5 7.6%	25 33.8%	3 23.1%	2 6.1%
本町	45 15.2%	7 9.0%	10 12.0%	3 5.5%	3 4.5%	7 9.5%	1 7.7%	0 0.0%
諏訪	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
広沢	9 3.0%	1 1.3%	2 2.4%	1 1.8%	2 3.0%	1 1.4%	1 7.7%	1 3.0%
西大和	11 3.7%	1 1.3%	2 2.4%	1 1.8%	2 3.0%	1 1.4%	0 0.0%	1 3.0%
諏訪原	7 2.4%	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	6 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.0%
下新倉	38 12.8%	22 28.2%	14 16.9%	15 27.3%	9 13.6%	20 27.0%	4 30.8%	2 6.1%
丸山台	27 9.1%	6 7.7%	10 12.0%	0 0.0%	2 3.0%	6 8.1%	0 0.0%	2 6.1%
計/ 周知率	296 85.5%	78 22.5%	83 24.0%	55 15.9%	66 19.1%	74 21.4%	13 3.8%	33 9.2%



- 和光市図書館(本館)を知っている人は、85.5%と認知度は高いが、平成28年11月に開館した下新倉分館は、22.5%となっている。
- 和光市図書館(本館)及び下新倉分館の両方を知っている人は21.4%おり、市内の図書館すべて知っている人は、3.8%となっている。
- 各館別の認知度を居住地区別に見ると、下新倉分館を知っていると回答したうちの半数以上が「新倉」と「下新倉」居住であり、坂下公民館図書室においては、知っていると回答したうちの約8割が「新倉」と「下新倉」である。また「南」では、南公民館図書室を知っていると回答した人は31.8%いるのに対し、下新倉分館の認知度は1.3%である。全体的に、居住地区に近い図書館の認知度は高く、離れると認知度は低くなる傾向がある。

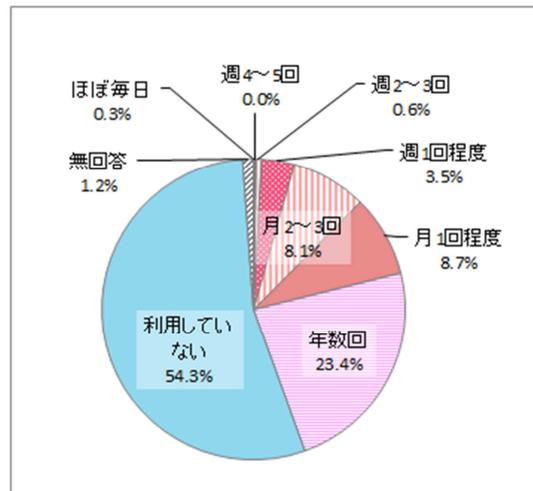
②図書館の利用状況（問7集計結果）

設問 この1年間に市の図書館を利用しましたか。また、利用された方はどの程度利用しましたか。

（○は1つ）

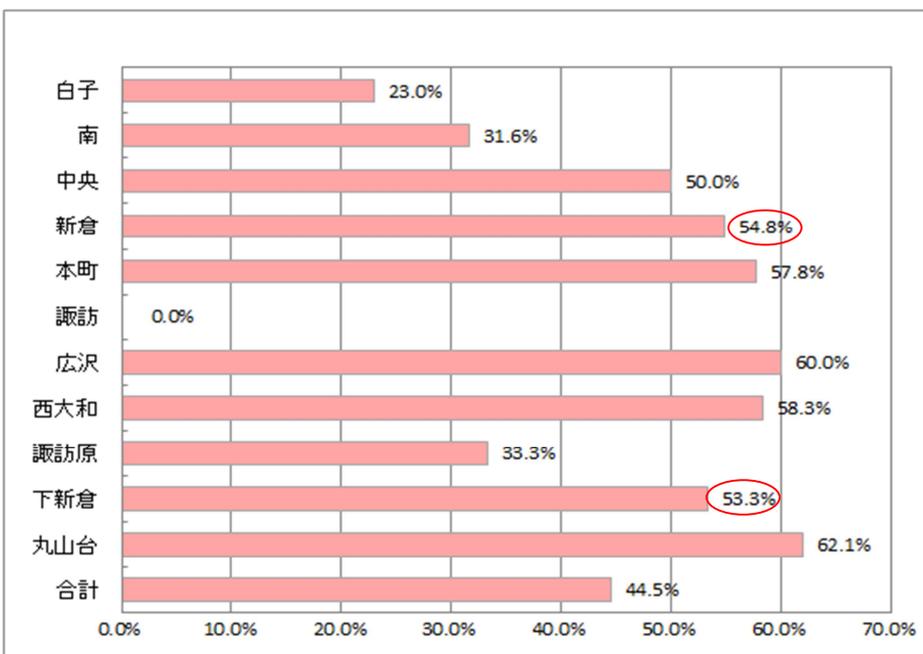
a) 利用した人の頻度

回答数 346	
利用した	154
ほぼ毎日	1
週4～5	0
週2～3	2
週1程度	12
月2～3	28
月1程度	30
年数回	81
利用していない	188
無回答	4



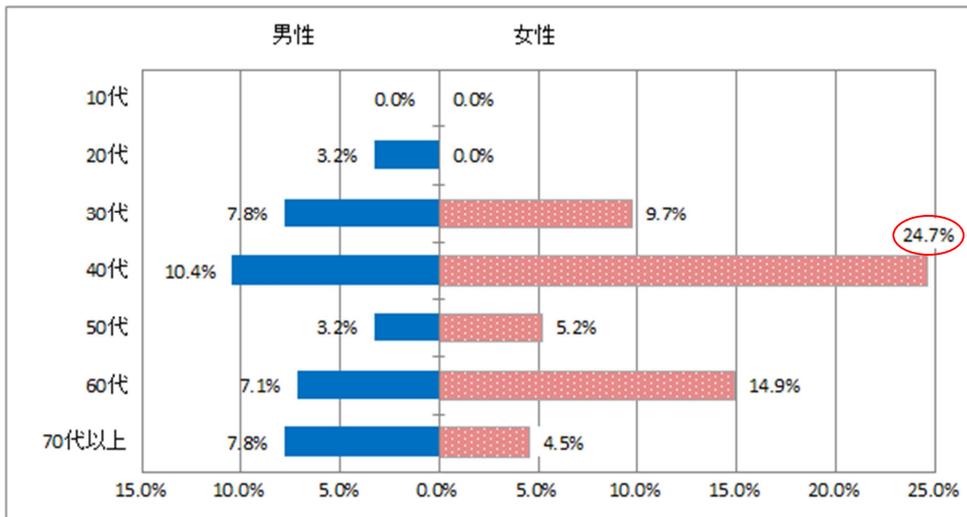
b) 利用した人・していない人の居住別回答状況

	利用した	利用していない	居住地区別 利用者率
白子	20	64	23.0%
南	12	26	31.6%
中央	4	3	50.0%
新倉	34	28	54.8%
本町	26	19	57.8%
諏訪	0	1	0.0%
広沢	6	4	60.0%
西大和	7	5	58.3%
諏訪原	3	6	33.3%
下新倉	24	21	53.3%
丸山台	18	11	62.1%
計	154	188	44.5%



c) 利用した人の年代別回答状況

	男子	女性	無回答	総数
10代	0	0	0	0
20代	5	0	0	5
30代	12	15	0	27
40代	16	38	0	54
50代	5	8	0	13
60代	11	23	0	34
70代以上	12	7	0	19
無回答	0	0	2	2
計	61	91	2	154



- 市民の44.6%が、この1年間に市の図書館を利用したことがあり、前回の市民意識調査（平成24年8月実施）の38.8%を少し上回っている。
- 利用者の性別・年代別では、女性・40代が利用者全体の24.7%と最も高く、前回の市民意識調査と同じ結果となっている。
- 居住地区別の利用者率を見ると、「丸山台」「広沢」「西大和団地」「本町」「新倉」「下新倉」が高い。「本町」「広沢」「西大和団地」「丸山台」は前回の市民意識調査と比べてほぼ横ばいだが、「新倉」「下新倉」の比率は20ポイント近く上がっていることから、下新倉分館開館による影響が大きいと思われる。
- 居住地区別を駅より北の北部、駅から市役所までの中央部、市役所より南側の南部と3つに分けて比較すると、南部地域は図書館の利用が少ない傾向がみられる。

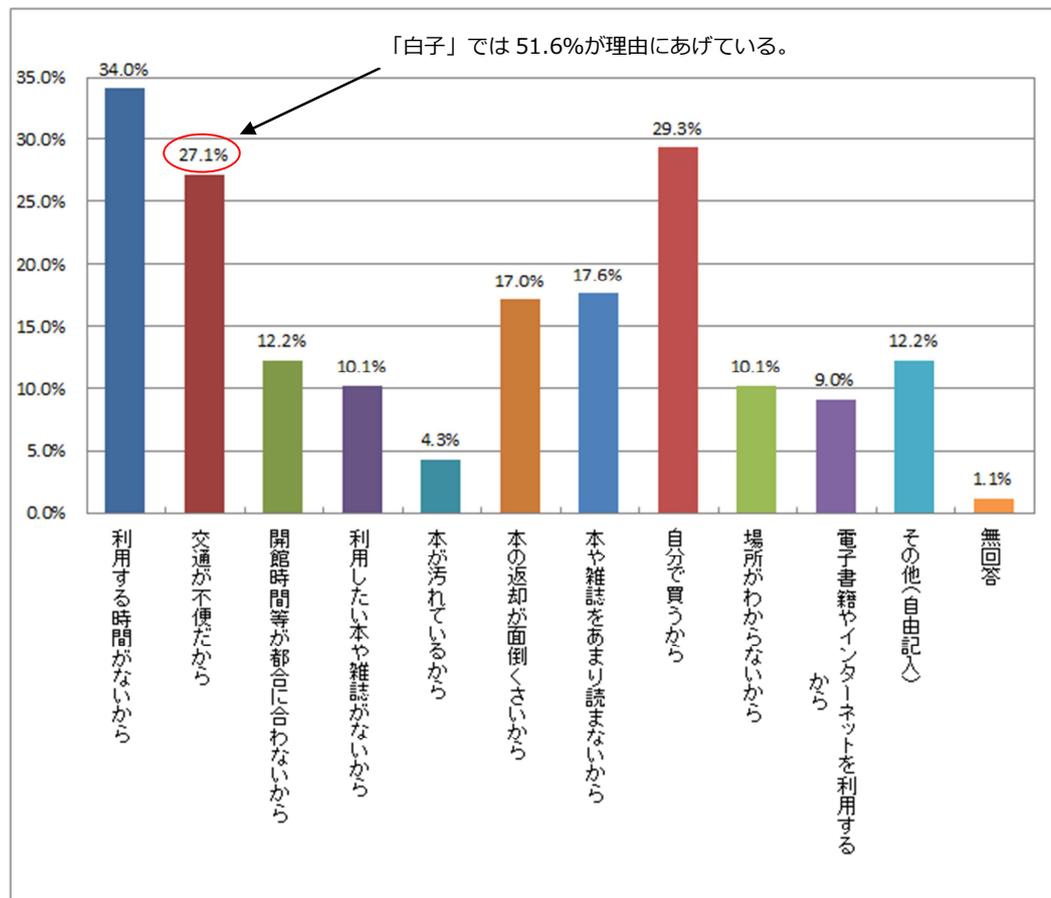
③図書館を利用しない理由 (問 7-1 集計結果)

設問 図書館を利用しない理由は何ですか？ (○はいくつでも)

利用する時間がないから	64
交通が不便だから	51
開館時間等が都合に合わないから	23
利用したい本や雑誌がないから	19
本が汚れているから	8
本の返却が面倒くさいから	32
本や雑誌をあまり読まないから	33
自分で買うから	55
場所がわからないから	19
電子書籍やインターネットを利用するから	17
その他(自由記入)	23
無回答	2

居住地ごとの利用しない理由

	利用なし	時間がない	交通が不便	都合に合わない	本・雑誌がない	本が汚れている	返却が面倒	本・雑誌を読まない	自分で買う	場所がわからない	電子書籍・インターネット	その他
白子	64	17	33	6	4	2	10	11	15	11	5	7
南	26	10	5	1	2	1	4	5	5	4	1	4
中央	3	0	0	0	1	1	0	2	3	0	1	0
新倉	28	10	4	4	3	1	4	2	9	1	5	2
本町	19	8	0	0	4	0	4	3	9	0	2	3
諏訪	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
広沢	4	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
西大和団地	5	2	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1
諏訪原団地	6	3	1	3	1	0	3	2	4	0	2	0
下新倉	21	9	5	6	1	1	5	3	6	1	1	3
丸山台	11	3	2	2	2	2	1	4	2	1	0	2
	188	64	51	23	19	8	32	33	55	19	17	23



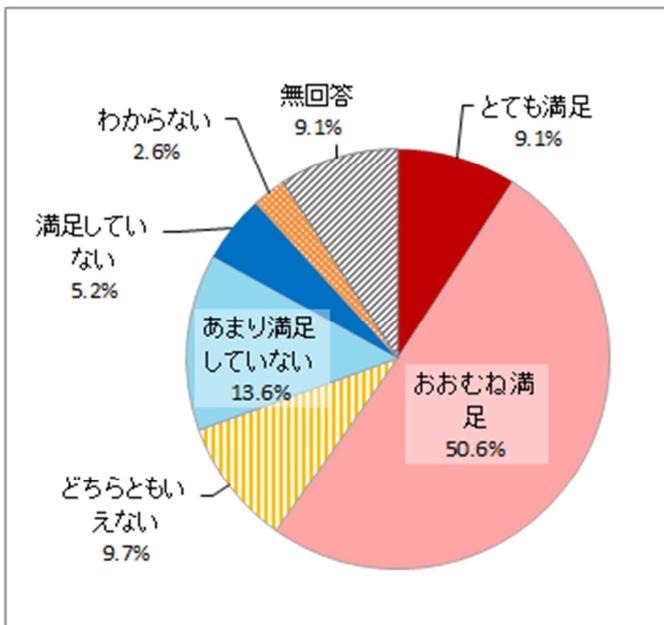
- 図書館を利用しない理由は、前回の市民意識調査と比べ「本や雑誌は自分で買うから」の割合が高くなり、その代わりに「図書館までの交通が不便だから」の割合が減少している。
- 居住地区別にみると、「白子」では「図書館までの交通が不便だから」をあげる人の割合が 51.6% と前回の市民意識調査と変わらず高かった。

※問 7-1 「その他」の自由記述欄回答

- ・ 遠いから。
- ・ 特に理由なし。
- ・ 子どもが日昼に本に興味を持たないので行けない。
- ・ 光が丘図書館を利用している。
- ・ 成増の方が近いから。
- ・ 館内の気圧差が激しい。息苦しい。
- ・ 0歳の子どもがいてなかなか出歩けないから。
- ・ 買い物ついでに光が丘図書館に行ので。
- ・ 光が丘の方が近いし量が多いから。
- ・ 親族、友人にたくさん借りて読んでいる。
- ・ 本の数が少ない。
- ・ 朝霞の方が蔵書が豊富だから。
- ・ 職場近くの図書館を利用しているので。
- ・ 成増図書館の居心地がよい。
- ・ 他の地域（成増・池袋）を利用しています。
- ・ 引っ越してきたばかりの為。
- ・ 混雑している。
- ・ 大学の図書館を利用。
- ・ 引っ越してきたばかり。
- ・ 不衛生な気がする。
- ・ 成増図書館を利用。
- ・ 見たいものを他人が見ている。
- ・ 家族が利用しているから。
- ・ 利用カードを作っていないから。
- ・ 行きたいと思う楽しみが発信されていない。
- ・ 子どもや孫にもらう。

④図書館の満足度 (問 7-2 集計結果)

設問 図書館を利用して、どのように思いますか。(○は1つ) また、不満に思うところがあれば○を付けてください。(○はいくつでも)



とても満足	14
おおむね満足	78
どちらともいえない	15
あまり満足していない	21
満足していない	8
わからない	4
無回答	14
計	154

性別・年代別の利用者満足度

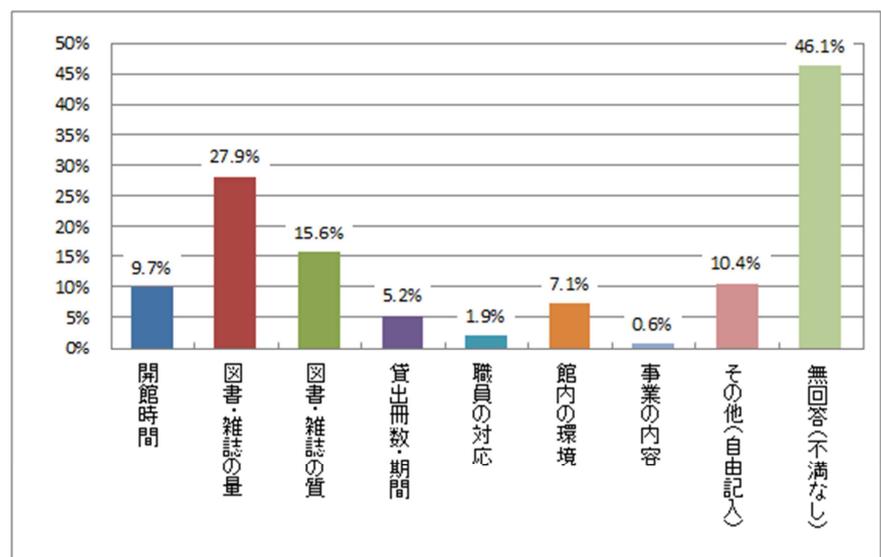
回答数154(うち性別・年代未回答2)

	男性 利用者数								女性 利用者数							
	とても満足	おおむね満足	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	わからない	未回答	とても満足	おおむね満足	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	わからない	未回答		
10代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
20代	5	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
30代	12	1	9	1	0	0	1	15	1	8	2	1	1	0		
40代	16	2	8	1	2	1	2	38	8	17	4	3	3	0		
50代	5	0	2	1	1	1	0	8	0	6	0	2	0	0		
60代	11	1	4	2	4	0	0	23	0	11	2	4	0	1		
70歳以上	12	0	7	2	1	0	2	7	0	2	0	2	1	0		

利用者に聞いた利用していて不満に思うところ

回答数154(複数回答)

開館時間	15
図書・雑誌の量	43
図書・雑誌の質	24
貸出冊数・期間	8
職員の対応	3
館内の環境	11
事業の内容	1
その他(自由記入)	16
無回答(不満なし)	71



「あまり満足していない」「満足していない」と回答した人が不満に思うところ

回答者数	29	100.0%
開館時間	3	10.3%
図書・雑誌の量	19	65.5%
図書・雑誌の質	15	51.7%
貸出冊数・期間	1	3.4%
職員の対応	2	6.9%
館内の環境	5	17.2%
事業の内容	1	3.4%
その他(自由記入)	4	13.8%

■ 図書館を利用する人の約6割（59.7%）が、「とても満足している（9.1%）」もしくは「おおむね満足している（50.6%）」と回答している。

■ 性別・年代別でみると、この1年間に利用したことのある「男性・20代」の全員が「とても満足している」「おおむね満足している」と回答している。また、男性・30代も8割が「満足」と回答していて、男性・40代、女性・30代、女性・40代でも6割以上が「満足」と回答している。ただし、年代が上がると「あまり満足していない」「満足していない」が増える傾向にある。

■ 「あまり満足していない」もしくは「満足していない」と回答した人が不満に思うと回答した65.5%が「図書・雑誌の量」、51.7%が「図書・雑誌の質」となっている。

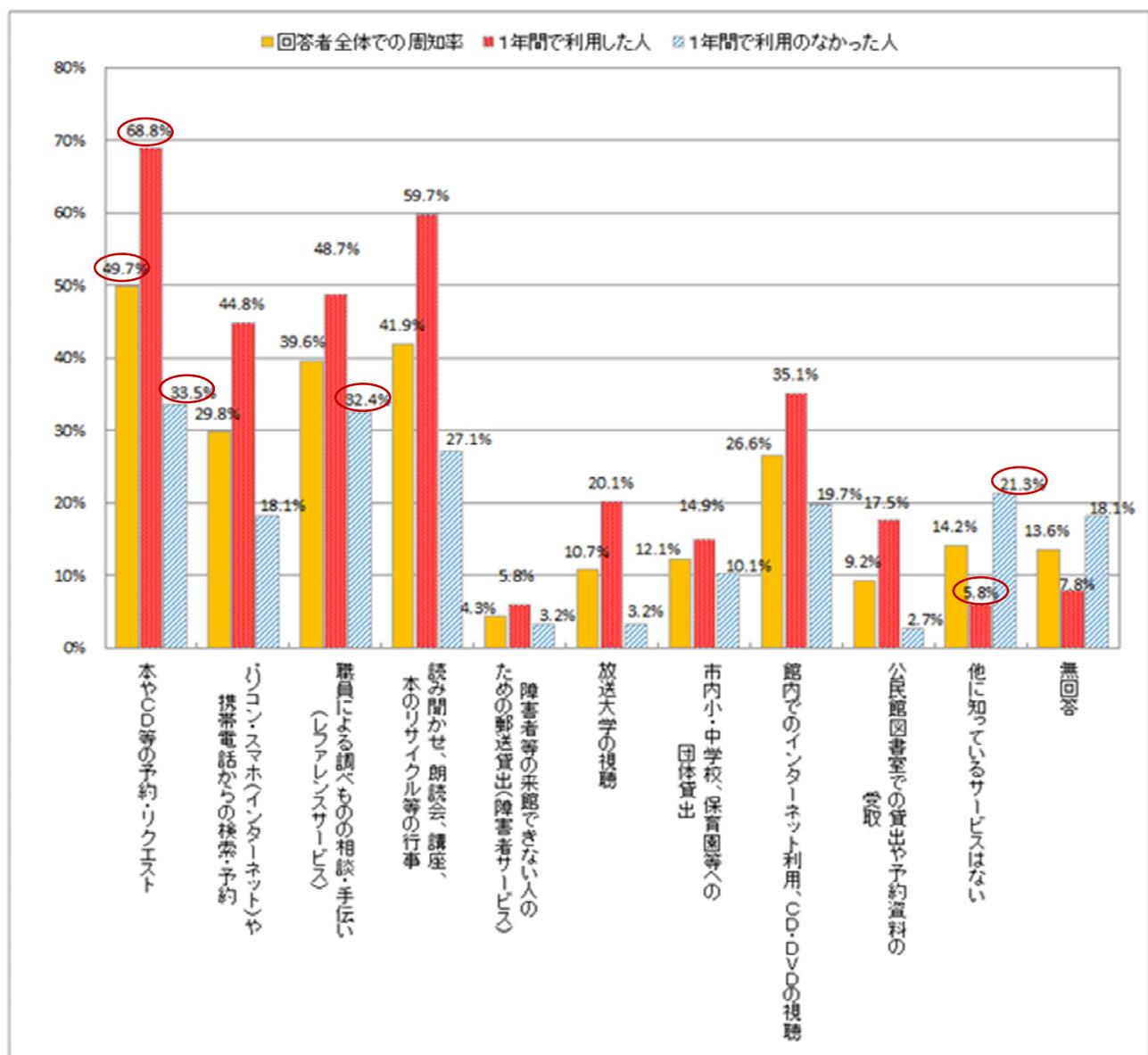
※問7-2「その他」の自由記述欄回答

- ・児童書の並べ方。
- ・新聞・雑誌を読む椅子が老朽化している。
- ・家から遠い。
- ・古い本の置き場。
- ・読みたい本がいつも貸し出し中だったりする。
- ・座席数が少ない。
- ・新しいレシピー本が板橋の図書館と比べ少ないような気がするから。
- ・温度設定が高い。
- ・遠い。
- ・場所、システム。
- ・立地。
- ・本館は自宅より遠いところにあるため。
- ・CDの種類。
- ・立地。
- ・本がきたない。
- ・駅から遠い。
- ・CDの量。
- ・CD, DVDの量。
- ・場所。

⑤図書館サービスの認知度 (問8 集計結果)

設問 図書館では本やCD・DVDの貸出しのほか次のようなサービスを行っています。ご存知のものを選んで○を付けてください。(○はいくつでも)

	全回答者		この1年間で利用した(154回答)		利用しなかった(188回答)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本やCD等の予約・リクエスト	172	49.7%	106	68.8%	63	33.5%
パソコン・スマホ(インターネット)や携帯電話からの検索・予約	103	29.8%	69	44.8%	34	18.1%
職員による調べものの相談・手伝い(レファレンスサービス)	137	39.6%	75	48.7%	61	32.4%
読み聞かせ、朗読会、講座、本のリサイクル等の行事	145	41.9%	92	59.7%	51	27.1%
障害者等の来館できない人のための郵送貸出(障害者サービス)	15	4.3%	9	5.8%	6	3.2%
放送大学の視聴	37	10.7%	31	20.1%	6	3.2%
市内小・中学校、保育園等への団体貸出	42	12.1%	23	14.9%	19	10.1%
館内でのインターネット利用、CD・DVDの視聴	92	26.6%	54	35.1%	37	19.7%
公民館図書室での貸出や予約資料の受取	32	9.2%	27	17.5%	5	2.7%
他に知っているサービスはない	49	14.2%	9	5.8%	40	21.3%
無回答	47	13.6%	12	7.8%	34	18.1%



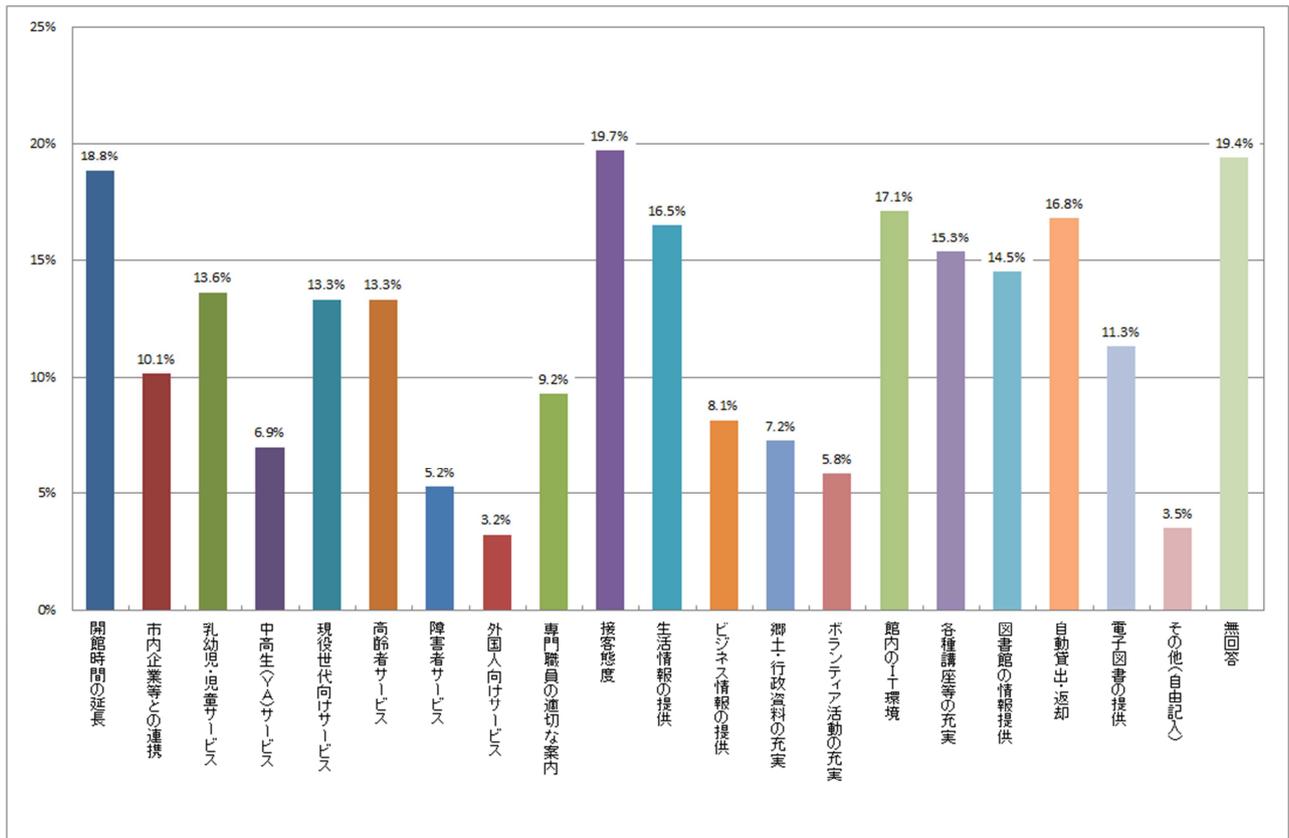
- 「探している本が貸出中の場合は予約・リクエストができ、返却されると連絡してもらえる」サービスを知っている人は49.7%と前回の市民意識調査と比べて高くなったが、図書館の利用者だけでみると、68.8%と前回の市民意識調査と比べて低くなっている。
- 図書館を利用していない人のうち、「探している本が貸出中の場合は予約・リクエストができ、返却されると連絡してもらえる」「調べたいことがあるときは、職員に相談し、手伝ってもらえる」ことを知っている人の割合は、約30%と前回の市民意識調査と比べて高くなっている。
- 「知っているサービスがない」と回答した人は前回の市民意識調査と比べて、図書館利用者、未利用者共に低くなっている。

⑥希望する図書館サービス (問9 集計結果)

設問 あなたは、図書館のサービスに、どのようなものがあるとよいと思いますか。(〇はいくつでも)

回答数346(複数回答)

開館時間の延長	65
市内の機関(国等)や企業等の図書館との連携	35
乳幼児・児童への充実したサービス	47
中高生(ヤングアダルト)への充実したサービス	24
現在働いている世代への充実したサービス	46
高齢者への充実したサービス	46
障害のある方への充実したサービス	18
在日外国人への充実したサービス(多文化サービス)	11
専門知識を持った職員による適切な資料案内	32
丁寧で気持ちのよい職員対応(接客態度)	68
生活に関する情報提供(法律・医療等)の充実	57
ビジネスに役立つ情報提供(データベース)の充実	28
郷土資料や行政資料の充実	25
読み聞かせなどボランティア活動の充実	20
館内のIT環境(パソコン・インターネット等)の充実	59
各種講座や映画会等の充実	53
図書館からの積極的な情報提供	50
窓口サービスの自動化(貸出・返却)	58
電子図書の提供サービス	39
その他(自由記入)	12
無回答	67



図書館にあると思うサービス(性別・年代別)

回答数346(複数回答)

	男性									女性						
	回答数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	回答数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
開館時間の延長	33	0	4	6	11	5	6	1	31	0	3	8	9	7	4	
市内の機関(国等)や企業等の図書館との連携	17	0	4	5	2	1	1	4	18	0	2	4	4	2	5	1
乳幼児・児童への充実したサービス	20	0	1	10	5	1	2	1	27	0	1	13	7	3	2	1
中高生(ヤングアダルト)への充実したサービス	7	0	1	2	3	0	0	1	17	0	3	2	6	4	1	1
現在働いている世代への充実したサービス	28	0	1	9	8	3	5	2	20	0	3	4	8	3	1	1
高齢者への充実したサービス	18	0	0	1	1	3	7	6	28	0	2	1	2	4	8	11
障害のある方への充実したサービス	10	0	1	3	2	2	2	0	9	0	1	1	1	1	4	1
在日外国人への充実したサービス(多文化サービス)	4	0	0	2	1	1	0	0	7	0	0	2	0	2	3	0
専門知識を持った職員による適切な資料案内	12	0	1	3	2	3	3	0	20	0	1	3	6	4	6	0
丁寧で気持ちのよい職員対応(接客態度)	20	0	1	5	4	4	3	4	46	0	5	6	14	8	11	2
生活に関する情報提供(法律・医療等)の充実	21	0	0	8	3	1	5	4	36	0	2	3	9	6	8	8
ビジネスに役立つ情報提供(データベース)の充実	18	0	5	4	4	4	1	0	9	0	3	1	2	1	2	0
郷土資料や行政資料の充実	14	0	1	3	1	3	6	0	10	0	2	2	1	0	3	2
読み聞かせなどボランティア活動の充実	4	0	0	3	0	0	1	0	16	0	1	6	5	2	2	0
館内のIT環境(パソコン・インターネット等)の充実	33	0	4	12	3	8	5	1	25	1	1	5	9	3	6	0
各種講座や映画会等の充実	18	0	0	7	2	2	4	3	35	0	3	7	10	3	8	4
図書館からの積極的な情報提供	22	0	1	3	4	3	7	4	28	0	2	5	8	6	5	2
窓口サービスの自動化(貸出・返却)	24	0	5	7	5	4	2	1	33	0	3	10	9	4	7	0
電子図書館の提供サービス	24	0	4	10	3	4	3	0	15	0	4	3	2	1	5	0
その他(自由記入)	3	0	0	1	0	0	2	0	9	0	1	3	1	1	2	1

■ 図書館のサービスにあるとよいと思うものとしては、すべての項目で2割以下となっており、前回の市民意識調査と比べてほぼ横ばいとなっている。

■ 「丁寧で気持ちのよい職員対応(接客)」を希望する人の割合は、男性で13.4%女性では23.7%となっており、前回の市民意識調査と同様に、女性の希望がより高くなっている。

※問9「その他」の自由記述欄回答

- ・分からない。
- ・午房コミセン本棚。
- ・乳幼児がいて来館しにくい人への郵送貸出もしくはコミュニティセンターでの予約資料受取。
- ・特になし。
- ・勉強スペースの拡張。
- ・自治会ごとで子ども向けの読み聞かせ。
- ・返却日の連絡メールサービス。
- ・返却ポストを駅に設置。
- ・全部あったらいい。
- ・特になし。
- ・児童と別々。
- ・cafeのようなきれいな空間。

⑦図書館に対する要望(問10集計結果)

設問 図書館についてご意見・ご要望がございましたらご記入ください。

- ・DVDを見やすくしてほしい。子どものものをふやしてほしい。新書を増やしてほしい。
- ・成増の駅前の図書館が近いので月2~3回借りている。白子にできるといい。
- ・以前に図書館で和光市長とお話できることがあったと思うが、年に何回かそういう機会を作ってほしい。図書館を大きくできないとか本雑誌を増やせないのであれば、近隣の市や区から取り寄せることができればいいと思います。
- ・自宅・PC・スマートフォンで簡単に蔵書検索・予約ができるようにシステムを整備してほしい。
- ・仕事柄なかなか利用することができず残念に思うことが多々ある。しかし、いざという時、図書館の本から知識を得ている。今回のアンケートで知らないサービス(事業)があることを知り、ますます力強い。
- ・(本人でなく家族の意見)数年前、仕事に使用するため、週1回は利用していたが、貸出用紙を受け取った時、確認しなかった自分にも責任はあるが、借りていない物まで入力されていて、本を返すときにとても嫌な思いをした。誰にもミスはあるが気を付けてほしい。
- ・平日は共働きのため基本利用しません。土日に行きたくなるような魅力的な図書館を希望する。たとえばTSUTAYA書店のような最新でオシャレでカフェも併設されているような複合施設で、駐車場もあれば尚良し。図書館があるから和光市に引っ越してきたみたいなの図書館があるといい。
- ・テラス席(ハンモック)。飲み食い・おしゃべりスペース
- ・新刊が仕入れるまで時間がかかる。
- ・現役のため(地域との密着なし)すべてわからない。
- ・クラシックCDの充実。指揮者別に検索が可能ならうれしい。

- ・図書館は、本を読むところであって、勉強（仕事）をするところではないという認識でいいのでしょうか？静かでゆっくりと勉強（仕事）をする場所が他にないので、そういう場所であってほしい。
- ・駐車場について、サミットの駐車場を利用するしかなく行きにくい。となりの市の朝霞図書館の方が利用しやすいので和光市も改善してほしい。
- ・一度も使用したことのない人が申し上げるのは適切かわかりませんが、普段あまり来ない世代に対してニーズに応えられるようになれば、来館者増につながると思います。
- ・本館を利用したことがあるが、とても暗いイメージでした。車での利用もしやすく明るいスペースを希望します。
- ・時々利用させていただきありがとうございます。貸出期間をもう少し長くしていただくとゆっくり読むことができます。
- ・中小規模ながら、色々なイベント・サービスをされていて、いい図書館だなと思う。いつもありがとうございます。図書館は読書が趣味の人が行くところと思っている人が多いので（私の周囲の友人に貴館のことを勝手に宣伝してますが）図書館を利用すると便利だよともう少しアピールされるといいのではと思います。分館も開館しましたし、図書の種類が増加していくことを期待しています。受験シーズンのときだけでも、会議室を開放されてはいかがでしょう？（自習用に）
- ・今まで浦安、成増、和光と3つの図書館で図書の貸出利用をしましたが、返却時中の点検を終了するまで立会いを求められるのは和光だけです。初回渡して立ち去ろうとしたときの引き止めた対応の印象が悪く、融通の利かない図書館だな・・・と感じ、仕方なく近いから行っているという状況です。本も古いものが多く、和光市は図書館には税金を使わないのだなと考えています。残念。
- ・学童向けの本が汚れているものが散見され、子どもが借りるのを嫌がります。状態のいい本を増やしてもらえれば幸いです
- ・重要記録を保存、活用するための記録、保管場所について検討する必要があるのではと思います。
- ・座るスペースを増やしてほしいです。
- ・ゴルフ関係の資料（本、DVD）が少ない。もう少し検討してほしい。道徳関連の資料（子供向け、大人向け）を増やして。
- ・特にありません。知らないことがたくさんありました。今度子どもと一緒に足を運んでみたいと思います。
- ・白子の場所から、図書館は成増の方を利用します。成増以上の和光市にしかないものがあれば利用します。
- ・板橋区の図書館と提携した貸出サービスを行っていただきたいです。
- ・交通アクセスが悪いので、利用できない。
- ・休憩できるスペース
- ・下新倉分館本が少なすぎる
- ・少ない予算でサービスに努めていると思います。職員の方々これからも頑張ってください。
- ・電子書籍化を行い、インターネットで本を読めるようにしてほしい（ID、パスワードなどは市民限定にして）
- ・市の図書館は坂などがあり不便です。白子地区（練馬よりなので）にもあると便利です。
- ・シャトルバスコース沿線で白子地区にあると良い。
- ・着席スペースと自習スペースが非常に少ないと子どもから聞いています。共同学習などができるスペース（予約制でも）増えるといいと思います。
- ・ここ2,3年体調を崩し、あまり行けなくなった。図書館は静かなところなので、せきが出たりすると周りに気を使い足が遠のいてしまふ。元気ならもっとたくさん利用したい。
- ・以前は図書館によく行っていました時期がありましたが、（子どもが学校にあがり自身もまだパートなど働きに行っておらず、時間があつた時期）図書館へ行くものの借りたい本がなかなか見つからずに帰ることもしばしばありました。新刊で読んでみたい本は多々ありましたが、図書館では借りられずに、話題になってから1~2年（3年）おちくらの本がたくさんあるといいなと思うことが多かったようです。和光市図書館の印象としては、古い本が多いなというところでしょうか。そういった本ももちろん大切ですが、新しい本をたくさんそろえて欲しいです。子ども向けの図鑑なども。
- ・利用したいけど、本館、分館共に遠く利用しにくいので、隣接した練馬区側に行くことが多いです。
- ・もう少し明るい感じにして欲しいです。静かというか暗い感じがします。入りづらい。
- ・学生のときは、図書館を使用していましたが、今は利用していません。
- ・今度ブックスタートを利用してみようと思っています。子育て支援センターとも連携していいと思います。
- ・和光市図書館本館の本は（特に絵本）新刊が少ない。学校に読み聞かせをする本を借りるのに、古いものが多いので、成増図書館に行っています。小説だけではなく新しい本を入れてほしいです。
- ・古い本が多いイメージで新刊などが少ないイメージがあり、行く気になれない。読書スペースも中学生ぐらいの方が、お友達と自宅リビングの様に使用されているのを見て、落ち着けないと思った。アートやファッション、建築インテリアの写真集を増やして欲しいと思った。大人と学生（高校生以下）のスペースを分けてもらいたい。時代的に話題になり、評価されているワンピースなどのマンガは置いていただきたい。自分で買うほどではないが、おさえておきたい為。
- ・たくさんの方が利用できるように、そして認知度を高めるため、図書館でのイベント等増やすといいと思います。イベントの告知もいろいろな人が目に付く場所（たとえばヨーカ堂）に掲示するとういことだと思います。
- ・駅そば（又は駅改札出てすぐ）に図書館があるとうれしいです。
- ・閲覧机が中高生の受験勉強などで何時も占拠されている。図書館利用者が優先的に使えるようにしてほしい。
- ・「新平家物語」などもう一度読み返して見たいと思うが、手垢で汚れて読む気がしない。汚れた本を処分して、きれいな本と入れ替えた方がよい。
- ・小学校で読み聞かせをしているのですが、いつも読む本に迷うので、学年別や年齢別で読み聞かせにおすすめの本のコーナーなどをつくっていただけたらいいなと、と思います。
- ・状態の良いハードカバーの本、海外の絵本等提供を申し出たところ、新刊書以外は不可と言われ、BOOK-OFFで売るほどでもない為結局処分した事があります。CD・DVD含め少し古くても状態の良い本は再利用してもらえるシステムが出来ると良いと思いました。
- ・和光市図書館が市役所内もしくは隣接する場所に移設していただけるとより便利でありがたく思います。
- ・意見でも要望でもありませんが…資料があまり充実していない&立地的に不便なため、もっぱら板橋区の図書館を利用している。週

2ぐらい。できれば、自分の住んでいる市の施設を使いたい。

・蔵書が少ないので練馬（光が丘）、成増図書館を利用している。又、南地区からの交通の便が悪い。東武バスの和光市行きがあるとよい。

・古典、新刊の両面から量を増やして下さい。

・赤ちゃんへの読みきかせ、わらべ歌に行きたかったが、時間が10時半～etcと、午前中が多く、子どものご飯やおでかけ準備をしていて、家から歩いていくと…とても間に合わない…。行きたいと思いながら（上の子が赤ちゃんの頃から）行くことができず、下の子は2才になってしまった。下の子が生まれ、上の子もつれて行くと更に行くことが難しい（間に合わない）ので、午後にもやっていただける日があったらな…と、思いました。（ボランティアの方のご都合もあるのでしょうか…）

・不便である。（近くにない為）

・オレンジページも置いてほしい。雑誌や本の無料配布に行ったことがあるが、多くの人が並んでいたのに、最初のほうに並んだ人がイッキに10冊持ち帰り、半数以上の人を持ち帰る本がなくて帰って行ったのを見た。一人でも多くの人を持ち帰れるように制限冊数を減らしてもいいと思った。現状では行く気にならない。

・仕事を続けている限り、和光市図書館を利用することはないと思います。

・駐車場が広いと行きやすいです。車でないと行けない。

・図書館が下新倉に新設されたのは知っていますが時間が有れば行ってみたいと思っています。（近くて便利ですので…）調べたい事や不明な事は殆どパソコンで解決できるのでなかなか出掛ける事はありません。

・返却の際、図書館によるのが少しめんどろなので、返却ポストが和光市駅の中にあると良いです。

・欲をいうなら、和光市駅の中（すぐ近く）に貸し出し、返却だけでも可能なサテライトがあると良いです。

・小さい子供連れでも楽しめるイベントが沢山あればいいなと思います。

・昔と比べて和光市の人口が増え、都内に通勤するサラリーマン層などを見ると、教育水準が上がっているように感じることもある。教育水準の高い層の読者としてはもう少し専門的な書籍が充実してくると便利に思う。大人も子供も英語が必要とされる機会が増えていますが、英文書籍は十分な量が揃っていないように思う。学習中の子供も読める薄手の英文書籍を充実させてみてはどうでしょうか。

・館の場所がかたよっていて、丸山台からはとても遠く、公民館は蔵書が少ないです。もし今後、移転・増設がありましたら、市民の一番通る駅に作ってほしいです。せめて、本の返却ポストを駅につくってほしいです。

・積極的なアピールが必要だと思う。和光市の図書館の場所や利用時間をコンビニや駅などにポスターなどをはれば利用率向上になるのでは

・蔵書の充実を願います。

・白子地区に住んでいると和光市の図書館の利用は大変不便だなと感じます。返却を近くのコンビニとか成増駅周辺とかでもできたら、かなりやすいです。吹上コミセンでも返却できますが、わざわざ本を返しに行くのがめんどろです。買い物や出勤のついでに返却できたら気軽にかりることができると思います。

・これまでの図書館の機能だけでなく、公的・民間問わず連携したもの。また市民なら受けられるサービス、図書館で電子書籍などの独自のものがあると、これまで以上に利用したいと思えるかもしれません。

・図書館で勉強するとき携帯を使用することが多々あるのでwifiがあると嬉しいです。

・文庫本など状態の悪いものでまだ購入できるものは再購入してほしい。あまりに状態が古いものは閉架にして保存してほしい。焼けが気になります。

・必要の際、利用させてもらっています。有難うございます。あえていうと、新しく発売された本を努めて、早く貸出していただけると助かります。でも直ぐに、図書館で貸出せると市販の本が売れなくなるかな？

・和光図書館（本館）の移転を検討いただけないものか。現在地の図書館は開設から相当年経過しており、老朽化が進行していると思われる。既存のままでは、新しいサービスや試みを実行するにも制限が生じる可能性が有るのではないのだろうか。実際問題として係る費用云々、乗り越えるべき課題が数多く有るとは思うが、是非とも検討いただきたい。よりよい公共サービスを提供していくのが自治体に課せられたノルマだと思う。今おかれている現状を把握して「それに対する見通し」が適宜行われるべきで有って、まずはこの様なアンケートを取るというアクションは評価したい。そしてこの結果が形骸化せず、市民の声としてきちんと市政に反映願いたい

・特にありません。

・利用したのが分室だった為、問7-2の量については仕方ない面もあるかと思えます。継続的に取組んでいって頂ければと思います。

・十分な駐車場があれば利用してみても良いかな。成増駅を利用しているので、あまり和光市駅には行かないです。

・特にありません。

・本を読んだり、勉強するスペースを増やしてほしい。

・特になし

・蔵書量の充実

・大きな図書館が駅近くの1つしかないのが少し行くのが面倒になってしまいなかなか足を運んでいません。もっとたくさんエリアにあるとうれしいです。

・公共機関は午前9時開館が多いと思いますが、和光市はどうして9時に開館できないのですか。時間の延長より9時に開けてほしいです。昔は10時からでしたから少しは早くなったのでしょうか。

・以前、発売されてから1年以内できれいに使った本を何冊か持っていったが、受け取り後には、結局使われなかったようだった。ガッカリした。ここ数年は、朝霞までわざわざでも、そっちの図書館を利用している（週1～2回）

・時間をもてあます人々がヒマつぶしにずーっと居座って、雑誌をながめている…これが図書館の現状だと思う。自分も老後図書館に通うのかな…と思うと「無料のスペース」としてありがたい反面、難しい専門的な書籍の貸出（利用）は少ないでしょうから本来の図書館の意味は無いような気がします。

・土日18:00までは短いと思う。

・学生時代は、調べものがあると図書館を利用していましたが、インターネットが普及してからは、やはり機会は減ってきましたね。

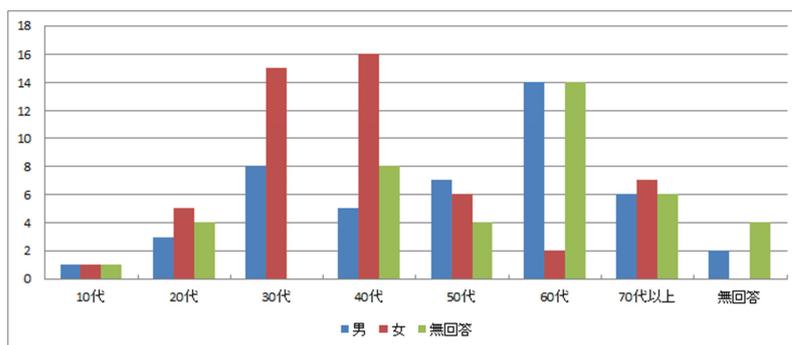
- ・学習（読書）スペースを増やしていただけるとうれしいです。
- ・本の数が少ない
- ・新聞、雑誌、週刊誌等人気のあるものは、複数あっても良いのでは？
- ・土、日曜日、祭日等の移動図書館があれば利用したい。
- ・専門書を拡充して欲しい
- ・シリーズ物が揃っているときが、一度もない。存在状況を調べて欲しい。
- ・CDとか借りれるのは知っていますが、新しいのを入れた方が色々な人が使用すると思う。
- ・朝霞図書館の方が大きくて本も多くてなんとなく使用しやすい。
- ・探している本について、職員の方がとても丁寧に対応してくれた。お茶のサービスがあるのがとてもうれしい。
- ・開館日についても検討してください。
- ・図書館は静かな環境なので、小さい子（とくに乳児）連れだと利用しづらい
- ・さわぐ子どもを注意して欲しい。図書館内で子どもに本を声を出して読んでいる親がいるが、うるさいのでやめて欲しい。
- ・新しい本の数を増やして欲しい。昔から伝わる絵本を増やして欲しい
- ・和光市駅に近い(隣) 場所に本館があると利用する側は非常にありがたい。現在の場所では、北口を利用する住民にとっては足を運びにくい。
- ・返却が遅れてしまうと申し訳ないので、借りに行くのをためらってしまう。簡単に返却できる方法はないでしょうか。駅に返却ポストがあるとか。
- ・開館したころに比べると、いろいろ良い方向に変化してきています。図書館の方々の意欲に感じて、何年か前にもアンケートに一生懸命お答えしましたが、あれは何かお役に立ったのでしょうか。集計や分析、その結果をどう生かすかという事後報告のようなものは目にしなかったのですが。前のアンケートのときにも書きましたが、閉架の図書リストが見られるとうれしいです。
- ・大活字の本がとても読みやすいです。在庫を増やして欲しい。
- ・時折、マナーのよくない人がいる。長いすに荷物等をたくさん置き、独り占めしているような。スタッフの方が見回るなどの対応をして欲しい。奥の方の勉強机のほうも同様（寝ている人もおり、図書館の本来の目的になっていない（学生さんが多い気がします））空いているときはいいのですが、混んでいるときは迷惑。周りを見ていないのか、気づかないのか、言わないとわからないのでは?と思う。
- ・図書館を利用するという発想が忘れていました。アンケートを頂いて図書館の存在を思い出しました。
- ・自分が今まで借りた本がわかるといい（パソコンなどで見れるといい）。
- ・テラスにハンモックなどをおいて、ゆっくり本を読みたい（リクライニングチェアなど）。涙活イベント（泣ける本の紹介）
- ・雑誌の最新刊も借りられてるとうれしいです。
- ・返却が郵送でできるとよい。カフェを併設して欲しい。

(2) 図書館利用者アンケート調査

- 調査対象 和光市図書館、和光市図書館下新倉分館及び各公民館図書室の来館者
- 調査時期 平成 29 年 5 月 26 日から平成 29 年 6 月 26 日まで (32 日間)
- 調査方法 和光市図書館、和光市図書館下新倉分館及び各公民館図書室において、アンケート用紙を設置
- 回答者数 139 人
(図書館 97 人、下新倉分館 33 人、中央公民館 0 人、坂下公民館 8 人、南公民館 1 人)

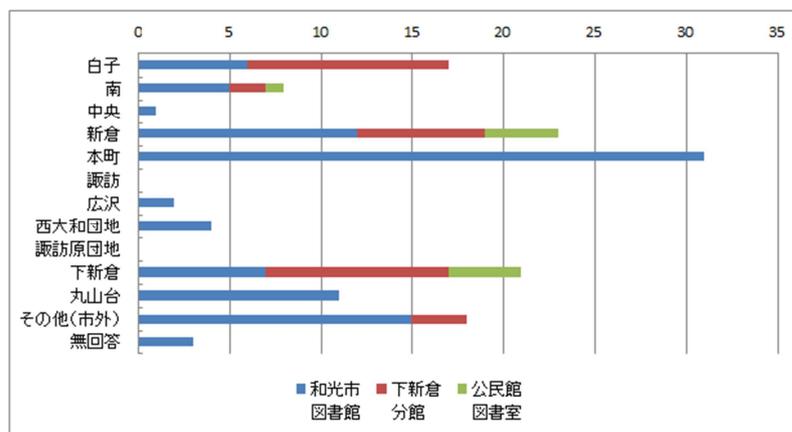
<回答者の状況 (問 1 集計結果) >

	男	女	無回答	合計
10代	1	1	1	3
20代	3	5	4	12
30代	8	15	0	23
40代	5	16	8	29
50代	7	6	4	17
60代	14	2	14	30
70代以上	6	7	6	19
無回答	2	0	4	6
合計	46	52	41	139



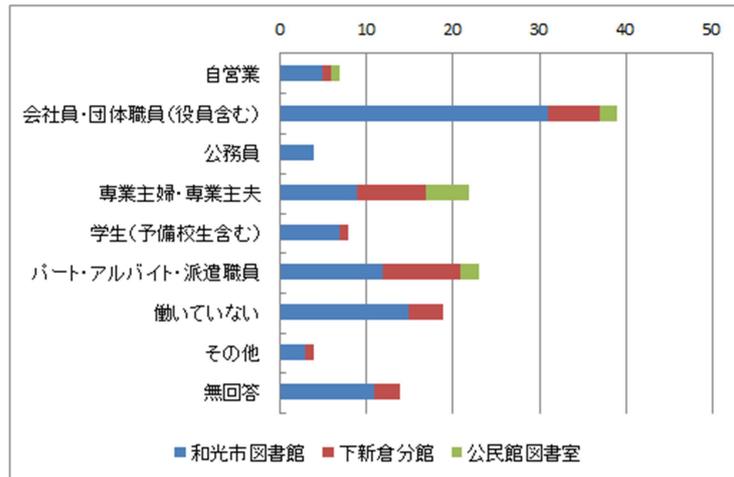
<回答者の居住地 (問 1 集計結果) >

	和光市 図書館	下新倉 分館	公民館 図書室
白子	6	11	0
南	5	2	1
中央	1	0	0
新倉	12	7	4
本町	31	0	0
諏訪	0	0	0
広沢	2	0	0
西大和団地	4	0	0
諏訪原団地	0	0	0
下新倉	7	10	4
丸山台	11	0	0
その他(市外)	15	3	0
無回答	3	0	0



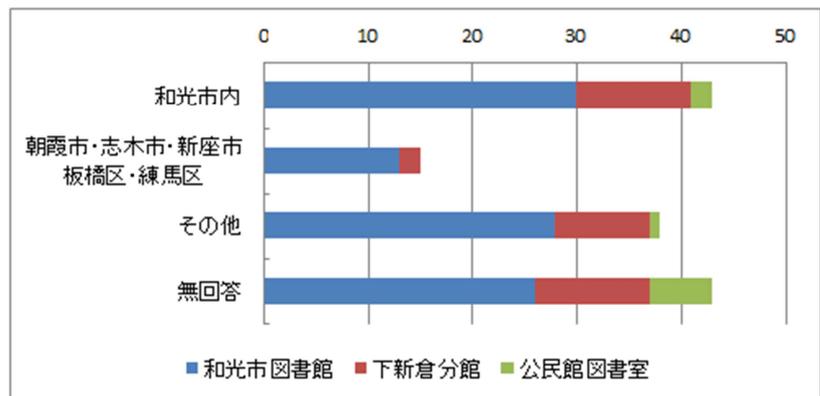
<回答者の職業（問1集計結果）>

	和光市図書館	下新倉分館	公民館図書室
自営業	5	1	1
会社員・団体職員（役員含む）	31	6	2
公務員	4	0	0
専業主婦・専業主夫	9	8	5
学生（予備校生含む）	7	1	0
パート・アルバイト・派遣職員	12	9	2
働いていない	15	4	0
その他	3	1	0
無回答	11	3	0

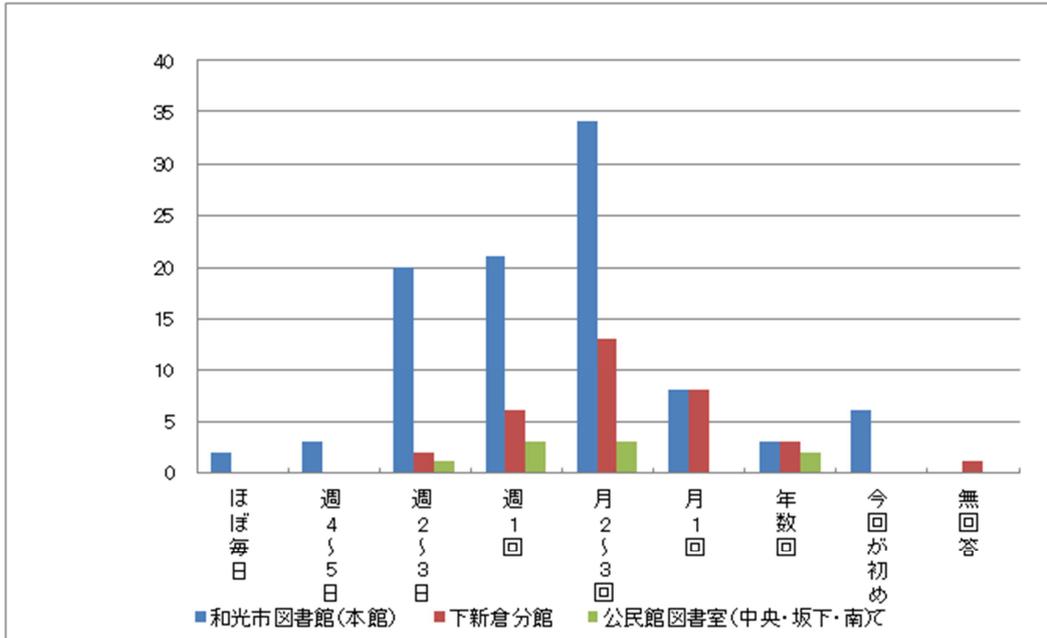


<回答者の勤め先・学校等の場所（市外在住者のみ回答）（問1集計結果）>

	和光市図書館	下新倉分館	公民館図書室
和光市内	30	11	2
朝霞市・志木市・新座市 板橋区・練馬区	13	2	0
その他	28	9	1
無回答	26	11	6

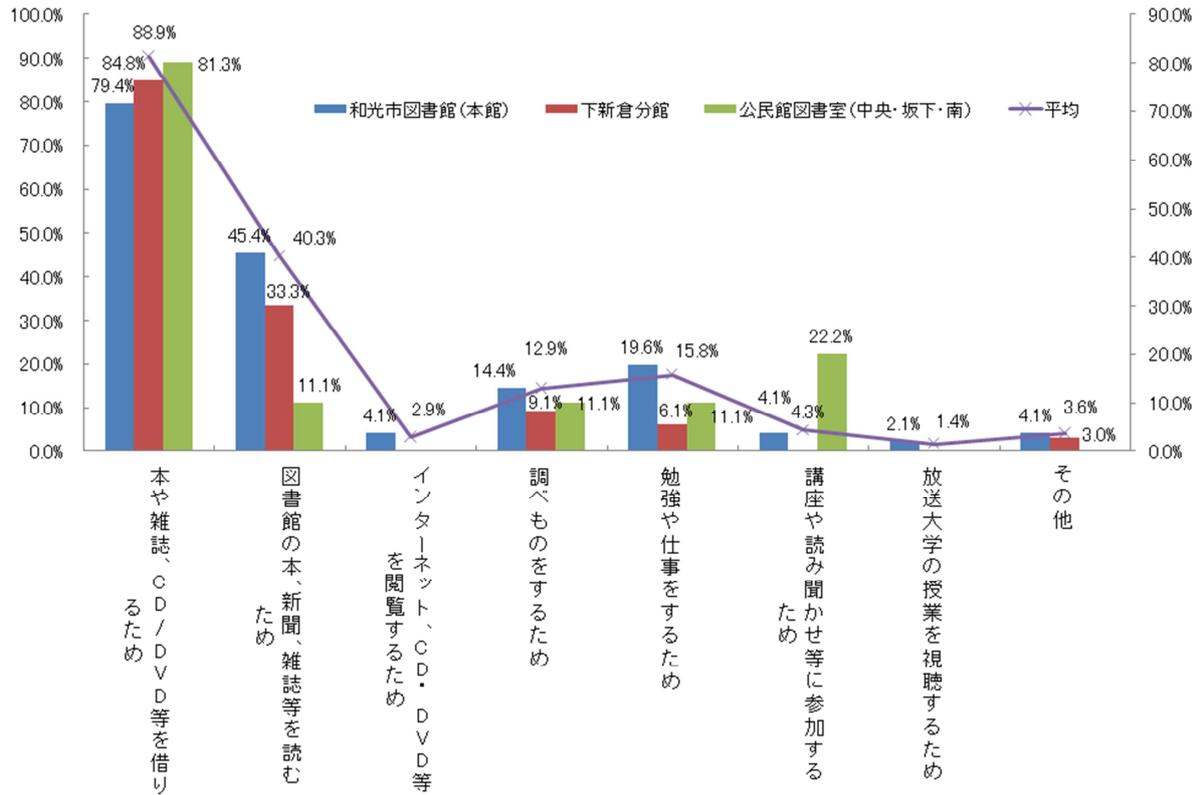


①図書館の利用頻度 (問 2-(1)集計結果)



	ほぼ毎日	週4～5回	週2～3回	週1回	月2～3回	月1回	年数回	今回が初めて	未回答	合計
図書館(本館)	2	3	20	21	34	8	3	6	0	97
下新倉分館	0	0	2	6	13	8	3	0	1	33
公民館 (中央・坂下・南)	0	0	1	3	3	0	2	0	0	9
合計	2	3	23	30	50	16	8	6	1	140
全体の割合	1.4%	2.2%	16.5%	21.6%	36.0%	11.5%	5.8%	4.3%	0.7%	100.0%

②図書館を利用する主な目的 (問 2-(2)集計結果)



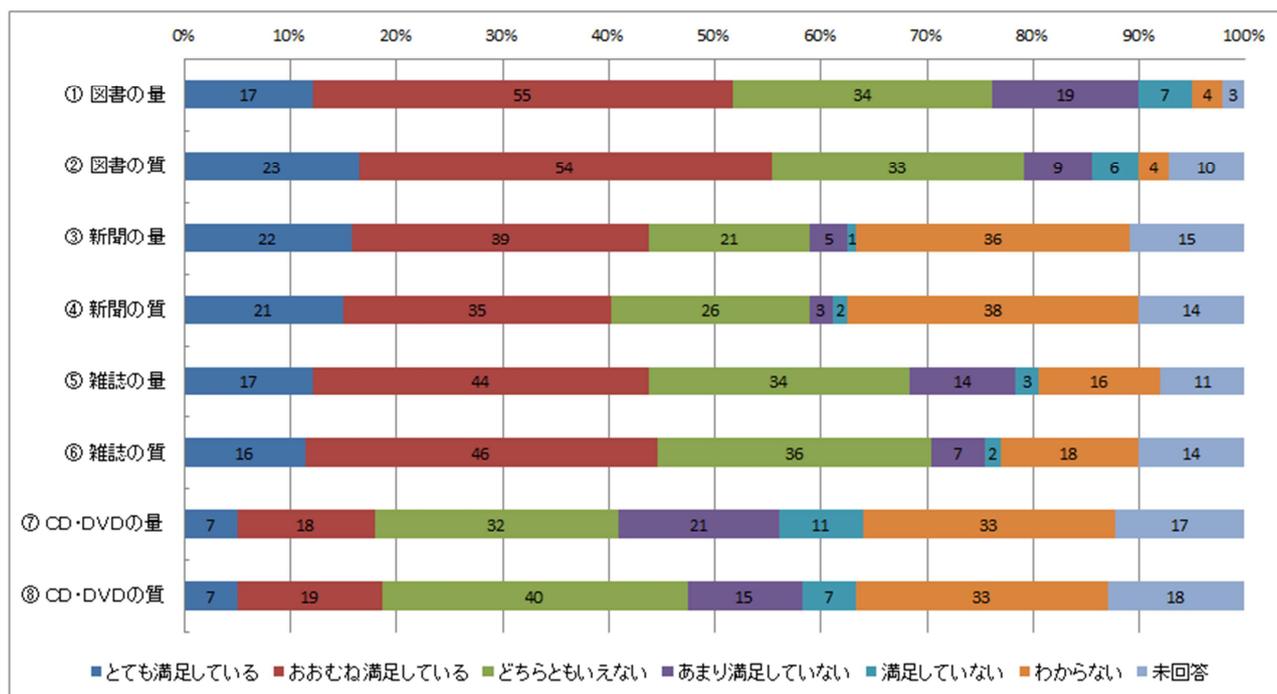
	本や雑誌、CD/DVD等を借りるため	図書館の本、新聞、雑誌等を読むため	インターネット、CD・DVD等を閲覧するため	調べものをするため	勉強や仕事をするため	講座や読み聞かせ等に参加するため	放送大学の授業を視聴するため	その他
和光市図書館(本館)	77	44	4	14	19	4	2	4
	79.4%	45.4%	4.1%	14.4%	19.6%	4.1%	2.1%	4.1%
下新倉分館	28	11	0	3	2	0	0	1
	84.8%	33.3%	0.0%	9.1%	6.1%	0.0%	0.0%	3.0%
公民館図書室(中央・坂下・南)	8	1	0	1	1	2	0	0
	88.9%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%
合計	113	56	4	18	22	6	2	5
全体の割合	81.3%	40.3%	2.9%	12.9%	15.8%	4.3%	1.4%	3.6%

※問 2-(2)「その他」の自由記述欄回答

- ・英字新聞のコピー
- ・孫3才、本の読み聞かせ
- ・お昼を食べる
- ・老人会にており紙を折ってもらうため
- ・主目的は、子どもが本を借りるのに、ついてきているだけです。時々、自分の分も借りています。

③図書館の事業内容やサービスに対する満足度

③-1-1 図書館の資料の所蔵状況への満足（グラフ）



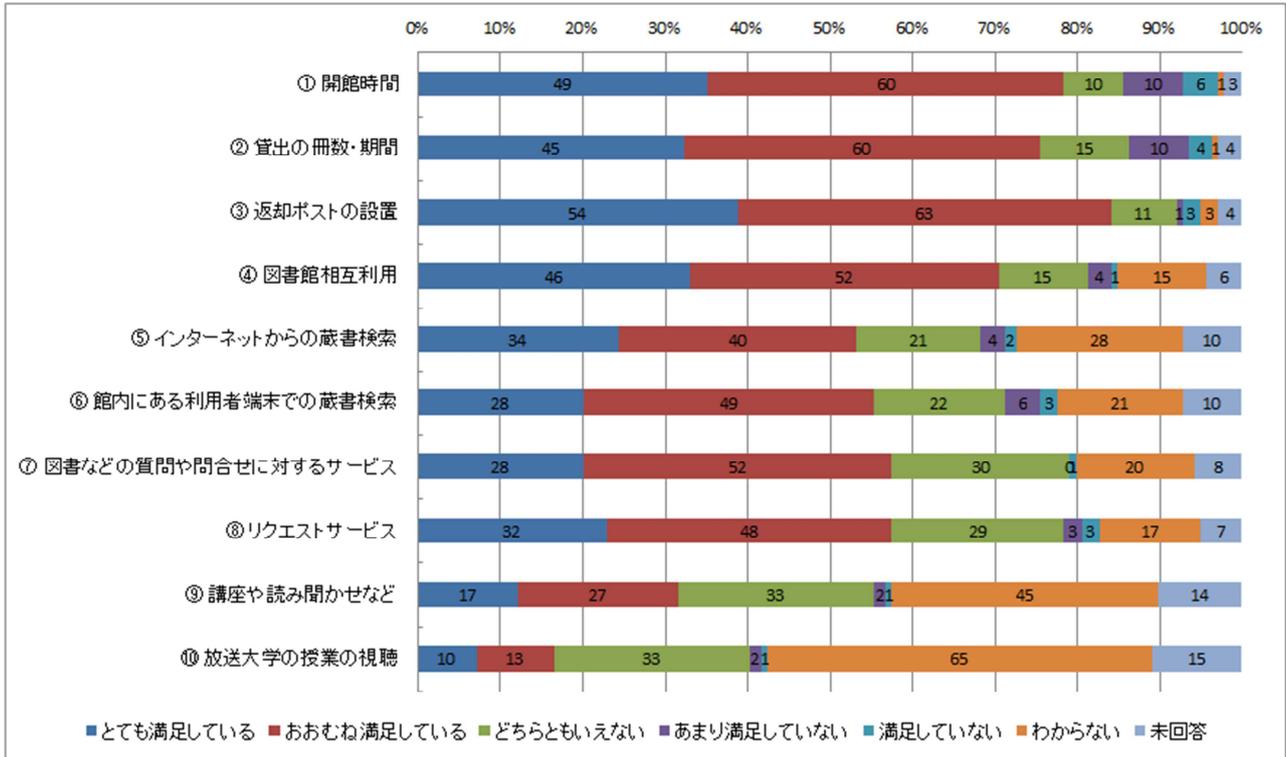
③-1-2 図書館の資料の所蔵状況への満足度（合計）

	とても満足している	おおむね満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	わからない	未回答
① 図書の量	17	55	34	19	7	4	3
	12.2%	39.6%	24.5%	13.7%	5.0%	2.9%	2.2%
② 図書の質	23	54	33	9	7	4	9
	16.5%	38.8%	23.7%	6.5%	5.0%	2.9%	6.5%
③ 新聞の量	22	39	21	5	1	36	15
	15.8%	28.1%	15.1%	3.6%	0.7%	25.9%	10.8%
④ 新聞の質	21	35	26	3	2	38	14
	15.1%	25.2%	18.7%	2.2%	1.4%	27.3%	10.1%
⑤ 雑誌の量	17	44	34	14	3	16	11
	12.2%	31.7%	24.5%	10.1%	2.2%	11.5%	7.9%
⑥ 雑誌の質	16	46	36	7	2	18	14
	11.5%	33.1%	25.9%	5.0%	1.4%	12.9%	10.1%
⑦ CD・DVDの量	7	18	32	21	11	33	17
	5.0%	12.9%	23.0%	15.1%	7.9%	23.7%	12.2%
⑧ CD・DVDの質	7	19	40	15	7	33	18
	5.0%	13.7%	28.8%	10.8%	5.0%	23.7%	12.9%

③-1-3 図書館の資料の所蔵状況への満足度（館別）

	とても満足 している	おおむね満 足している	どちらとも いえない	あまり満足 していない	満足してい ない	わからない	未回答
① 図書の量	17	55	34	19	7	4	3
図書館（本館）	16	34	26	13	4	2	2
下新倉分館	0	18	6	5	2	1	1
公民館3館	1	3	2	1	1	1	0
② 図書の質	23	54	33	9	7	4	9
図書館（本館）	15	35	26	6	6	2	6
下新倉分館	6	15	5	3	1	1	3
公民館3館	2	4	2	0	0	1	0
③ 新聞の量	22	39	21	5	1	36	14
図書館（本館）	17	30	15	2	1	22	9
下新倉分館	5	7	5	2	0	9	5
公民館3館	0	2	1	1	0	5	0
④ 新聞の質	21	35	26	3	2	38	13
図書館（本館）	15	27	19	1	2	23	9
下新倉分館	6	6	6	2	0	9	4
公民館3館	0	2	1	0	0	6	0
⑤ 雑誌の量	17	44	34	14	3	16	10
図書館（本館）	13	32	22	7	3	12	7
下新倉分館	4	9	9	6	0	2	3
公民館3館	0	3	3	1	0	2	0
⑥ 雑誌の質	16	46	36	7	2	18	13
図書館（本館）	11	33	24	4	2	12	10
下新倉分館	5	10	8	3	0	4	3
公民館3館	0	3	4	0	0	2	0
⑦ CD・DVDの量	7	18	32	21	11	33	17
図書館（本館）	6	12	24	15	9	19	12
下新倉分館	1	5	6	5	2	9	5
公民館3館	0	1	2	1	0	5	0
⑧ CD・DVDの質	7	19	40	15	7	33	17
図書館（本館）	6	14	28	12	5	19	12
下新倉分館	1	4	9	3	2	9	5
公民館3館	0	1	3	0	0	5	0

③-2-1 サービスへの満足度（グラフ）



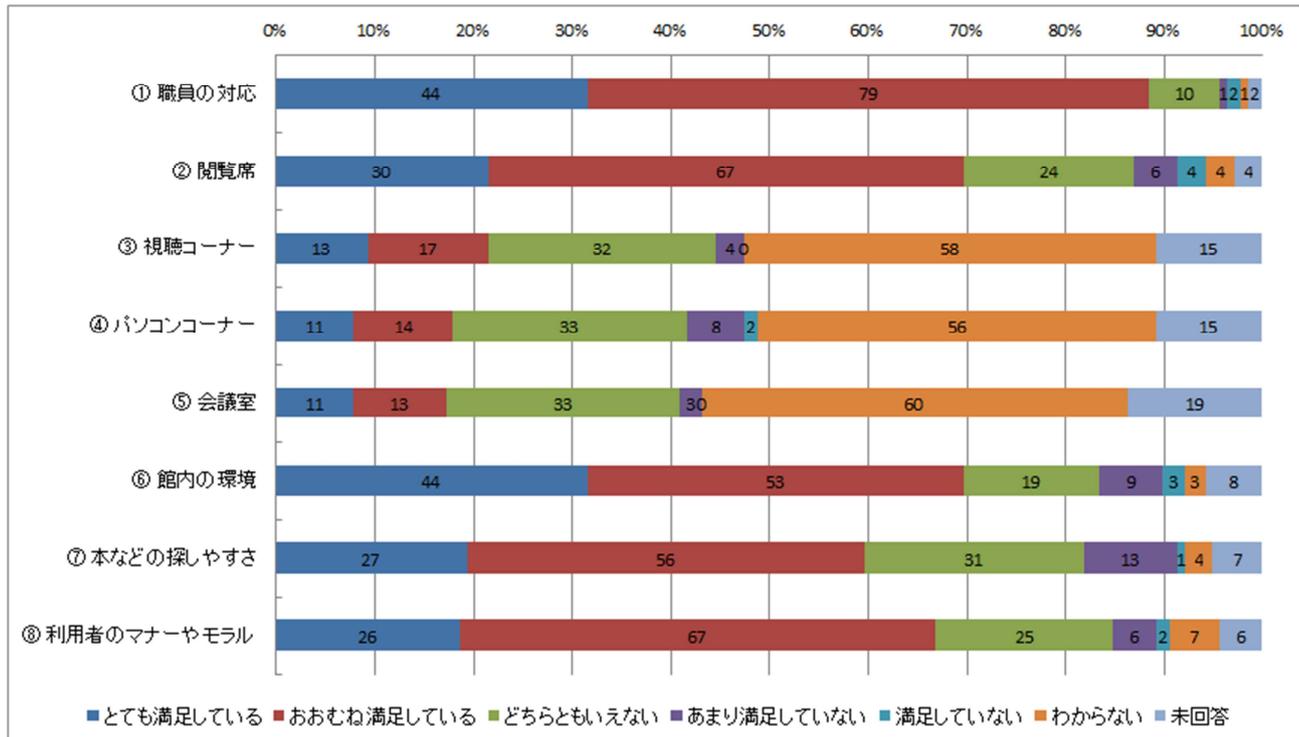
③-2-2 サービスへの満足度（合計）

	とても満足している	おおむね満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	わからない	未回答
① 開館時間	49	60	10	10	6	1	3
	35.3%	43.2%	7.2%	7.2%	4.3%	0.7%	2.2%
② 貸出の冊数・期間	45	60	15	10	4	1	4
	32.4%	43.2%	10.8%	7.2%	2.9%	0.7%	2.9%
③ 返却ポストの設置	54	63	11	1	3	3	4
	38.8%	45.3%	7.9%	0.7%	2.2%	2.2%	2.9%
④ 図書館相互利用	46	52	15	4	1	15	6
	33.1%	37.4%	10.8%	2.9%	0.7%	10.8%	4.3%
⑤ インターネットからの蔵書検索	34	40	21	4	2	28	10
	24.5%	28.8%	15.1%	2.9%	1.4%	20.1%	7.2%
⑥ 館内にある利用者端末での蔵書検索	28	49	22	6	3	21	10
	20.1%	35.3%	15.8%	4.3%	2.2%	15.1%	7.2%
⑦ 図書などの質問や問合せに対するサービス	28	52	30	0	1	20	8
	20.1%	37.4%	21.6%	0.0%	0.7%	14.4%	5.8%
⑧ リクエストサービス	32	48	29	3	3	17	7
	23.0%	34.5%	20.9%	2.2%	2.2%	12.2%	5.0%
⑨ 講座や読み聞かせなど	17	27	33	2	1	45	14
	12.2%	19.4%	23.7%	1.4%	0.7%	32.4%	10.1%
⑩ 放送大学の授業の視聴	10	13	33	2	1	65	15
	7.2%	9.4%	23.7%	1.4%	0.7%	46.8%	10.8%

③-2-3 サービスへの満足度（館別）

	とても満足 している	おおむね満 足している	どちらとも いえない	あまり満足 していない	満足してい ない	わからない	未回答
① 開館時間	49	60	10	10	6	1	3
図書館（本館）	37	41	8	6	4	0	1
下新倉分館	9	17	1	4	1	0	1
公民館3館	3	2	1	0	1	1	1
② 貸出の冊数・期間	45	60	15	10	4	1	4
図書館（本館）	32	43	10	7	2	1	2
下新倉分館	10	11	5	3	2	0	2
公民館3館	3	6	0	0	0	0	0
③ 返却ポストの設置	54	63	11	1	3	3	4
図書館（本館）	40	43	7	0	2	2	3
下新倉分館	10	18	2	0	1	1	1
公民館3館	4	2	2	1	0	0	0
④ 図書館相互利用	46	52	15	4	1	15	6
図書館（本館）	35	35	11	3	1	8	4
下新倉分館	10	14	3	0	0	4	2
公民館3館	1	3	1	1	0	3	0
⑤ インターネットからの 蔵書検索	34	40	21	4	2	28	10
図書館（本館）	23	28	18	2	1	18	7
下新倉分館	9	9	3	0	1	8	3
公民館3館	2	3	0	2	0	2	0
⑥ 館内にある利用者端末 での蔵書検索	28	49	22	6	3	21	10
図書館（本館）	21	33	18	4	2	12	7
下新倉分館	5	13	3	1	1	7	3
公民館3館	2	3	1	1	0	2	0
⑦ 図書などの質問や問合 せに対するサービス	28	52	30	0	1	20	8
図書館（本館）	19	37	23	0	0	13	5
下新倉分館	6	10	7	0	0	7	3
公民館3館	3	5	0	0	1	0	0
⑧ リクエストサービス	32	48	29	3	3	17	7
図書館（本館）	24	32	23	2	1	10	5
下新倉分館	5	11	6	1	1	7	2
公民館3館	3	5	0	0	1	0	0
⑨ 講座や読み聞かせなど	17	27	33	2	1	45	14
図書館（本館）	11	20	23	1	1	32	9
下新倉分館	4	6	8	0	0	10	5
公民館3館	2	1	2	1	0	3	0
⑩ 放送大学の授業の視聴	10	13	33	2	1	65	15
図書館（本館）	7	12	26	2	1	39	10
下新倉分館	3	1	6	0	0	18	5
公民館3館	0	0	1	0	0	8	0

③-3-1 利用環境への満足度（グラフ）



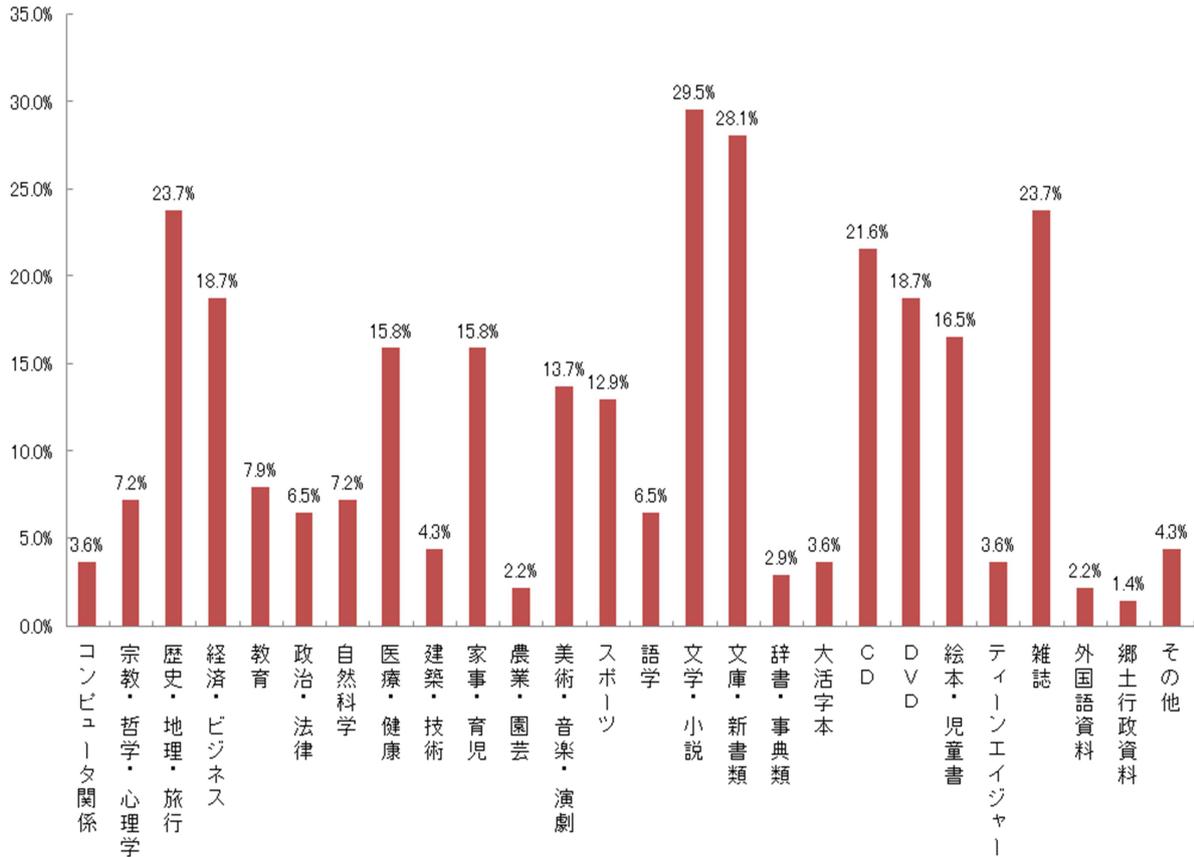
③-3-2 利用環境への満足度（全体）

	とても満足している	おおむね満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	わからない	未回答
① 職員の対応	44	79	10	1	2	1	2
	31.7%	56.8%	7.2%	0.7%	1.4%	0.7%	1.4%
② 閲覧席	30	67	24	6	4	4	4
	21.6%	48.2%	17.3%	4.3%	2.9%	2.9%	2.9%
③ 視聴コーナー	13	17	32	4	0	58	15
	9.4%	12.2%	23.0%	2.9%	0.0%	41.7%	10.8%
④ パソコンコーナー	11	14	33	8	2	56	15
	7.9%	10.1%	23.7%	5.8%	1.4%	40.3%	10.8%
⑤ 会議室	11	13	33	3	0	60	19
	7.9%	9.4%	23.7%	2.2%	0.0%	43.2%	13.7%
⑥ 館内の環境	44	53	19	9	3	3	8
	31.7%	38.1%	13.7%	6.5%	2.2%	2.2%	5.8%
⑦ 本などの探しやすさ	27	56	31	13	1	4	7
	19.4%	40.3%	22.3%	9.4%	0.7%	2.9%	5.0%
⑧ 利用者のマナーやモラル	26	67	25	6	2	7	6
	18.7%	48.2%	18.0%	4.3%	1.4%	5.0%	4.3%

③-3-3 利用環境への満足度（館別）

	とても満足 している	おおむね満 足している	どちらとも いえない	あまり満足 していない	満足してい ない	わからない	未回答
① 職員の対応	44	79	10	1	2	1	2
図書館（本館）	32	55	8	0	0	1	1
下新倉分館	9	19	2	1	1	0	1
公民館3館	3	5	0	0	1	0	0
② 閲覧席	30	67	24	6	4	4	4
図書館（本館）	20	44	20	5	3	3	2
下新倉分館	8	17	4	1	0	1	2
公民館3館	2	6	0	0	1	0	0
③ 視聴コーナー	13	17	32	4	0	58	15
図書館（本館）	11	14	24	3	0	35	10
下新倉分館	2	2	8	1	0	15	5
公民館3館	0	1	0	0	0	8	0
④ パソコンコーナー	11	14	33	8	2	56	15
図書館（本館）	9	7	25	6	2	38	10
下新倉分館	2	6	8	1	0	11	5
公民館3館	0	1	0	1	0	7	0
⑤ 会議室	11	13	33	3	0	60	19
図書館（本館）	9	8	26	2	0	38	14
下新倉分館	2	4	7	1	0	14	5
公民館3館	0	1	0	0	0	8	0
⑥ 館内の環境	44	53	19	9	3	3	8
図書館（本館）	28	37	15	8	2	2	5
下新倉分館	12	14	3	1	0	0	3
公民館3館	4	2	1	0	1	1	0
⑦ 本などの探しやすさ	27	56	31	13	1	4	7
図書館（本館）	18	37	22	11	1	4	4
下新倉分館	7	15	7	1	0	0	3
公民館3館	2	4	2	1	0	0	0
⑧ 利用者のマナーやモラル	26	67	25	6	2	7	6
図書館（本館）	16	48	20	5	1	4	3
下新倉分館	7	16	4	1	1	1	3
公民館3館	3	3	1	0	0	2	0

③-4-1 今後、充実してほしい資料（グラフ）



③-4-2 今後、充実してほしい資料（全体）

選択肢	回答数 (複数回答)	割合
コンピュータ関係	5	3.6%
宗教・哲学・心理学	10	7.2%
歴史・地理・旅行	33	23.7%
経済・ビジネス	26	18.7%
教育	11	7.9%
政治・法律	9	6.5%
自然科学	10	7.2%
医療・健康	22	15.8%
建築・技術	6	4.3%
家事・育児	22	15.8%
農業・園芸	3	2.2%
美術・音楽・演劇	19	13.7%
スポーツ	18	12.9%
語学	9	6.5%

選択肢	回答数 (複数回答)	割合
文学・小説	41	29.5%
文庫・新書類	39	28.1%
辞書・事典類	4	2.9%
大活字本	5	3.6%
CD	30	21.6%
DVD	26	18.7%
絵本・児童書	23	16.5%
ティーンエイジャー	5	3.6%
雑誌	33	23.7%
外国語資料	3	2.2%
郷土行政資料	2	1.4%
その他	6	4.3%

(福祉・文化・生活、英書新書、マンガ・コミック類、性格学)

④各公民館図書室のサービスについての提案（問5集計結果）

- ・常時利用できないですね
- ・開館時間が短く、本も少ない。利用しやすいとは言えない。
- ・特にありません
- ・志木の図書館を利用した時も相互利用ができてとても便利だと感じた。
- ・特になし
- ・キボが小さすぎて利用しても読みたい本が探せない。図書館がとても遠いので公民館を充実させてほしいと強く希望。
- ・中央公民館もフルの利用時間にしてほしい。
- ・特にありません。
- ・特に思いつかないです。すみません
- ・特にありません
- ・本館のみ利用しているので他の施設について了解していません。
- ・中央公民館に日曜日行ったら、職員がいなくて貸出しできないとのことでした。本館と合わせられたら出来る範囲で貸出した方が良くと思います。
- ・他の図書館の良い所を見つけてください。
- ・白子地区の住民が本をかりたり読んだりするのにほぼ半日以上が必要。図書館利用が地区で出来るといいと思います。
- ・選別した何種かの月刊誌を各公民館図書室に置くことを提案する。週刊誌に比べて、月刊誌は一月に1回の入れ替えで済むため、補充の負担が少ない。月刊誌閲覧ついでに、公民館へも行きやすい。その分くつろぐ軽めの椅子を多くすることとなる。但し、テーブルは不要です。ちなみに、私としては、経済、歴史、野球類の月刊誌が設置してあれば充分そこで楽しめるだろう。
- ・利用したことがないので、分かりません。
- ・よく知らないのでわかりません。
- ・2～3年前に中央公図書室に行きました。電気もついてなく本の棚もわかりにくく捜しにくい室でした。
- ・坂下公民館しか利用した事はありませんが、夏には蚊が入ってきて居心地がよくない。冷房も利用者が入った時に付けるので、長居するのも申し訳なく思ってしまうし、逆に付けなくてとても暑苦しい。(利用者が少ないので仕方ないとは思いますが)もう少し入りやすい雰囲気なら利用者も増えると思う。
- ・坂下公民館について、家の近くなので何度か行きましたがうす暗くて本の種類も少ないように思います。公民館、コミセンに本は必要でしょうか。パソコンを置いたほうがよいのではないかと思います。
- ・文庫を置いて欲しい。お水やお茶があれば嬉しい。

⑤和光市図書館・下新倉分館のサービスについての提案（問6集計結果）

- ・一所懸命にご対応いただきありがたいと思っています
- ・もう少し絵本の量を増やしてほしい。シリーズで借りようとするとなることが多いため。今は、リクエストで取り寄せて頂いているが、やはり他の図書館からだすと手元に届くのに時間がかかってしまうため。
- ・古くて茶色くなった文庫が、新しいものに替わっていると、嬉しくなり、また借りたくなります。借りる方のマナーに問題があるとは思いますが、以前、単行本が広範囲に何かで濡れた跡が残っていて、読む気が失せました。利用者ももっと図書館の本を大切に思う気持ちが必要かなと思います。
- ・社会環境のせいなのか？モラルが問われます。本は新しい物をどんどん入れて。古いものはリサイクルするなど充実させて欲しい。和光市は図書館のせつび内容がおくれていると思う。他県に住んでいたが、子供の環境がととのっている県は、本も充実して、子供もおちついていると思う。

- ・本来であれば、借りた本の履歴は残っていて欲しいが、政府が何を考えているか分からない為消したほうが良いかもしれない。
- ・インターネットからの利用はとても便利で使いやすいです。ただ、予約の本がきてから受け取るまでの期間と、本の貸出し期間が短くて、間に合わないことが多いのが不便です。貸出し期間が短いから、予約の順番が周ってきやすいという利点もあるのですが、なかなかむずかしいですね。土日しか図書館に来れないので、日曜日に返却されて、月よう日に順番がまわってきた時など、翌週末に何かの用で図書館にこれなければ、キャンセルになってしまうのが辛いので、ネットでとりおき延長もできればうれしいです。
- ・特にありません
- ・駅出張所で予約本を受け取れるようにしてほしい。
- ・新書や文庫系の本を充実して欲しい。
- ・全体的に蔵書数が少ないと思う。
- ・検索サイトの動作が他の図書館と比べておそい。
- ・携帯サイトが使いづらい。
- ・法学や PC 関連で基本書や人気の本で他の図書館にはあるのに和光はおさえてないことが多い。
- ・図書館相互利用はできるが本をとりよせるために他館が何の本を所属しているか端末で調べられるようにしてほしいです。又、夕方～夜になると窓側の席で本を読もうとすると照明が背中側にあるため、手が暗くて不便です。
- ・新聞などのデータベースなども利用しやすくしてほしいです（東京版の記事が読めないこともあるので）
- ・パソコンをたまにおかりするのですが、動作が遅くて時間がかかってしまいます。できればもっと早くなるように…とは思いますが、よろしくをお願いします。
- ・トイレがきれいになってくれたらうれしい。
- ・本館、分館共に wi-fi 利用の無料サービスを充実させて欲しい。朝霞図書館に比べて wi-fi のパソコンの利用が劣っていると思います。
- ・英字新聞 (JPN TIMES)を毎週コピーしています。日曜にコピーすると、先週の月～土の5日分のコピーで(日)分は倉庫に入ってます。できれば(日)分もラックに入っていると助かるのですが…(無理ならば結構です)
- ・開館時間を朝は 10:30 からでも良い。そのかわり、夜を 20 時まで空けて欲しい。
- ・放送大学の学生ですが、授業の視聴コーナーがあることにはとても驚きました。嬉しい反面、科目数が少ないと学生にとっては使いづらく、結果的にまだ 1 度も使う機会がありません。更に科目が増えると嬉しく思います。今後ともよろしくをお願いします。
- ・土日開館時間のばしてほしい。
- ・人気のある本をもう少し多く置いていただきたい。その他はとても良いと思います
- ・古い本が多く、消毒器つけてほしい。
- ・雑誌や新しい本が貸し出し中で、または予約中でなかなか読めない。予約すればいいのですが、中身をみてから借りたいときもあるのです。わがままですみません。
- ・本棚の下段は探しづらい、時々位置をズラすとか、下はなしにするとか
- ・本を駅で返却させてもらいたい。
- ・リサイクル本の時期を明示して貰いたい。雑誌バックナンバーの保存期間一年は、短すぎます。新刊書の購入は必要ない。少なくとも 1 年後にすべきです。
- ・本館遠い。分館知らない。
- ・本館が遠い。分館がわかりづらい。
- ・お昼に利用しているので食べる場所がもっとリラックスできる場所がよい
- ・特にありません。皆様親切にして下さいます。
- ・分館がわかりづらい
- ・分館知らない
- ・時々空調が弱いときがあります。対応をお願いします。

- ・お茶のサービス、また調べ物や勉強用の机、イスの数の多さに大変満足しております。継続していただきたいと思います。
- ・この図書館は学生（高校・中学）の利用が多いように思う。社会人の利用もあるが、学生の試験時期になると席が一杯になって利用し難い時も多々ある。朝霞図書館はその点“いい”気に入っている（社会人専用席があり、学生は利用出来ず、時間制限はあるものの落ちついて利用出来ます）この為、和光本町に住んでいるがもっぱら朝霞中央図書館へ通っている。こんな人もけっこう多いと思う。
- ・自習スペースと閲覧エリアを拡充してもらいたい。
- ・特にありません。
- ・こちらの和光市図書館は認知度も高く多く利用していますが、下新倉分館の方は自分は知らなかったもので、分館の方のお知らせや多く人に知ってもらうことをなさった方がより多くの方に来てもらえると思います。（自分が新倉なので、ここまで来るのが遠いことから）
- ・蔵書スペースがあまりに狭すぎる。朝霞や板橋図書館などに行くとその豊富さに是非和光も少し広げることを希望します。たとえば美術のコーナーは朝霞図書に比べてもあまりに少なく全集などはほとんど見られずこと足りない。市民全体の文化・美術のレベルをあげるのに図書館はそのスペースを倍にする位でもよいと思う。
- ・特にありません。以前と比較して開館時間は長く、休み減ったので大変利用しやすくなりました
- ・手芸の本とか古いのでたまに新しいのをに入れてほしいです
- ・経済・ビジネスの新書をもっと入れてほしい。新書検索がもっとわかりやすくしてほしい。
- ・予約したい本がある時、朝霞だとタッチパネルで出来て、その後 TEL をもらえるのですが、和光だと電話の場合、紙を書かないといけないのが少しめんどろかなあと思ったりします。でも、貸出期間が短いので、朝霞より予約期間が短く、回転がはやいのがうれしいです。
- ・館内利用者端末のタッチパネル使いにくい
- ・以前「ピアノの森」というコミックをリクエストしたら、マンガは他館貸出不可とのことで、埼玉県内の別の図書館にあったのに借りられませんでした。その後、光ヶ丘図書館で見つけたので、カードを作って借りに行きました。マンガでも内容の良い物がたくさんあるので、取寄せて借りられたら便利だと思います。
- ・他の図書館の良い所を見つけてください。
- ・下新倉分館、遠くて利用できていません。展示など積極的にやっているときいていて行ってみたい所の一つです。
- ・子供の声の大きいときが多い。
- ・窓側の席で小・中学生が飲食していても注意しない。
- ・ベストセラーは半年くらいは置くべきではないと思う。
- ・クラシックのCD 充実させてほしい。
- ・昼食を食べる場所（おやつなど）がほしい。ベランダに雨や太陽をさける様なものがあつたらと思います。現在トイレのわきにテーブルとイスが壁に向かって食べられるが大変むづかしい。
- ・返却本がある場合のポストの在所、もっと知らしめてもよいのではないかと。
- ・「車」関連の雑誌の充実（例えば「ベストカー」「カートップ」等）
- ・wi-fi サービスに近い席をもう少し増やしてほしい。
- ・内容充実度の高い週刊現代を当図書館に設置していただきたい。成増図書館では、遥か昔から設置済。「不随セクシー系グラビア写真も文化芸術のうち」とする当図書館関係者の見解。このあたりは、区から委託された民間業者との発想の違いかもしれないが、和光市がこの件に問題があると主張するならば、当雑誌を成人指定として、希望利用者のみに閲覧なし、貸出可能とすればよい。ここは早急に前向きな検討をしていただきたい。
- ・三か月に一度、近郊のイトーヨーカドー 3 階本屋に希望市民 10 名を集合させ、陳列してあるどの書籍を読みたいかの感想をその場で参加者から意見を採聴する。状況によっては、当館長の即決判断により、その場で数冊の決済をしてもよい。むろん、当館関係者の後日審議により、購入の判断をしてもよい。ベストセラーものに固執することはないが、本屋という現場の熱気から判断するのもありだろう。その際も当然に、**店員**から売れ筋の書籍をつかむのもよい。

・図書館流通センターからの配布のみに頼るのではなく、都内公共図書館のように、Amazon のネットからも、当図書館で購入貸出できるように、システムの再構築をしていただきたい。自費出版でも質の高い書籍は Amazon でしか購入できない場合も多いので、ここは大いに考慮していただきたい。これが実現すれば、市民からのリクエスト希望の幅も広がる。市民と当図書館によって、埋もれている面白い書籍の掘り起こしをしていくことも、当図書館の責務と考える。

・市内北廻りバスの回数が増えるとありがたいのですが、今日は 2 : 15 に降車、次は 3 : 50 までバスなし。歩くと家まで 20 分です。分館、素晴らしい図書館で、雰囲気もよいのですが、利用者が少なく、もったいない。

・本館、読書室がいつも一杯、とてもいい雰囲気ですね。

・資格系の資料の充実をさせてほしい

・分館の閲覧席（ソファなど）をもう少し分けさせてもらえると、周囲を気にせずじっくり読書できるように感じます。ご家族連れはあまり多くなく、1 人での来館が多いと思うので、他の人にきがねせずに利用できるとありがたいです。

・夏休み子どもや、本を読まない人にオススメの本の提案や、お気に入りの傾向を聞いて、その人に合う本を紹介してくれるとウレシイです。

・子供コーナーに置いてあるかごをもう少し大きいものに変えていただけると、本がすべて入るので良いと思います。

・分館を利用していますが、時々スタッフ同士の私語が聞こえて気になる。仕事の内容は OK ですが、他はやめて欲しい

・少しずつ本が増えてきているので、来るたびに楽しみがあります。子どもは「わごガチャ」がやりたくて本を借りています。読み聞かせをする機会が増えたので、親子のコミュニケーションが増えました。これからもわごガチャを続けて欲しいです。

・落語会。

・本館を利用したいが、駐車場がなく不便。白子 1 丁目なのでどちらの図書館も遠いので。マーケットの駐車場と連携して欲しい。

・“和楽”という雑誌をけんさくするのがめんどろだった。入れてないものはないとわかるようにしてほしい。ジャンルもわからずさがさないといけないので。

・コーヒーとかがのめるスペースがほしい。cafe スペース

・けんさくで、本のビジュアルでさがせるようにしてほしい。

・小学生からのわごガチャがあるようですが…幼児向けの何かサービス・イベントがあれば参加したいです。

・以前、CD と図書を同時に返却する際、(当日雨だったのでぬれないように) 図書を CD のビニールケースに入れて返却したら係りの女子職員から CD ビニール袋を不正利用しないようボロクソに言われて立腹した。職員の質と利用者対応に大いなる問題あり。

・とてもきれいで利用しやすいです

・ポストを 24 時間使用できる様にして欲しい

・いつも親切に対応して頂き、ディスプレイなどもキレイにしてあり快適に利用しております。主に児童書籍を利用しますが、特定の何かを探しているわけではないのですが、探し方が難しく、適した年齢別やメジャーなキャラクターが出てくる絵本等（ノンタン、アンパンマン、トーマス等）わかりやすい場所があるとありがたいと感じます。

・本が古くて汚れている本があり、もう少しキレイな本にしてほしい。

・貸し出し期間を長くしてほしい。

・小説類を充実して欲しいと思います。

・9 時開館にしてほしい！

・職員が、もっと話しかけやすい雰囲気であってほしい！

・下新倉分館は、当初に比べたら本の数もだいぶ増えて子供も喜んでます。渡りろうかの飾りつけも毎回キレイで、いいアイデアだと思います。先日、中村橋（練馬）の図書館に行ってきましたが、建物自体は古かったのですが、絵本の多さ、そして質の良さに驚きました。どれを手にとっても面白く、初めて目にかかる本ばかりで新鮮でした。本の位置を頻繁に変えられては困りますが、その他のレイアウトや飾りつけ、新しい本の入荷など、いつ行っても新鮮さを感じられる図書館であってほしいです。

・和光市図書館について、何年前かにリニューアルしたが本が汚すぎる。受付の方々がものすごく高ピーで怖い。数日遅れただけで「二

度とかりれなくなる」とかひどい事を多くの人の前で言われた。PC 使用不可も困ります。

- ・下新倉分館について、BGM についてですが、いらないと思います。エアコンが弱くひじょうに暑い。受付けの方が親切です。時代小説コーナーを作ってほしい。

- ・両図書館の返却について、駅前のコンビニ（北口、南口）に返却 BOX を置いてほしい。駅地下の BOX は遠いです。またコミセンで返すと回収が遅く、返却扱いになっていない事がありました。以上、よろしくお願いします。

- ・分館の休みをへらしてもらいたい。分館の開館時間を本館と同じくしてもらいたい。

- ・（まだ訪問してないのですが）朗読など、企画（大人向けのもの）を多く取り上げて欲しい。

- ・提案ではありませんが、4 月から雑誌がかなり減って、新しく入る雑誌が少なかったのが残念です。特に「ひよこクラブ」が今一番読みたい雑誌だったのでなくなってとても困りました。職員の方は「予約すればいい」といわれますが、予約して、1 週間以内に取りに行くのは大きな手間です。

- ・おはなし会が、今は読み聞かせだけですが、折り紙などちょっとした工作をとり入れてほしいです。

- ・分館にも CD や DVD を置いてほしいです。

(3) 「第2次和光市図書館サービス計画策定に伴う理想の図書館像を考えるワークショップ」の概要

- 日 時：平成 29 年 7 月 15 日（土） 13：30～15：30
- 場 所：和光市図書館下新倉分館会議室 2
- 参加者：18 名
- テーマ：『理想の図書館像を考える』



①当日のプログラム概要

今回のワークショップは、第2次和光市図書館サービス計画策定に伴い、図書館の課題や目指すべき理想の図書館像等について市民とともに考え、市民の意見等を計画に活かすために開催したものである。当日のプログラムは以下のとおりである。

1.概要説明

2.自己紹介兼アイスブレイク

3.グループワーク

グループワークは、付箋を用いたブレインストーミングと、各人から出された意見の分類作業をグループ内で繰り返して行いながら、グループとしての理想の図書館像及びそれに近づくためのアイデアをまとめていくものとした。

【課題①】 みんなが行きたくなる図書館、理想の図書館を考える

ピンク色の付箋を使用し、「行きたくなる図書館」「理想の図書館」という意見を出し合い、それを分類する作業を行った。分類作業を終えた後、グループ内で投票を行い、一番票を多く集めたものをそのグループの「理想の図書館像」とした。

【課題②】 理想の図書館像に近づくためのアイデアを考える

課題①で決めたグループの「理想の図書館像」に近づくためのアイデアを、黄色の付箋を用いて再度意見を出し合い、それを分類する作業を行った。分類作業を終えた後、グループ内で一番票を多く集めたものから順に並べ、それを「理想の図書館像に近づくためのレシピ」とした。

課題①でまとめた理想の図書館像を模造紙の左側に貼り、模造紙の右側に課題②でまとめたアイデア集を貼り付けた。模造紙の余白部分に、そのまとめあげた模造紙のタイトルを考え書き込んだ。

各グループの成果物は、p 78～80 のとおりである。



4.グループ発表

最後に、まとめあげた各グループの意見発表を行い、終了した。

②成果物の公表

各グループで作成した成果物（模造紙）は、和光市図書館（本館・下新倉分館）内に掲示（7月19～31日まで）し、来館者がシール（いいね!シール）による投票をすることができるようにし、当日参加できなかった人も意見を共有することができるように配慮した。

③主な意見 ※詳細と「いいね！シール」の投票結果は p78～80 のとおり。

ア みんなが行きたくなる図書館、理想の図書館とは

Aグループ	Bグループ	Cグループ
<ul style="list-style-type: none"> ・リラクゼーション図書館 (リラックスできる、個人空間がある、明るく広々している所等) ・サードプレイス図書館 (ランチができるレストランがある、オシャレなカフェがある等) ・ジェネレーションフリー図書館 (親子連れ(小さい子)の多い所、老人に優しい気配りのある図書館等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料が豊富 (蔵書が豊か、新しい本が早く入る、希少な本もおいてある等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイント配布型 (借りる本のノルマを決め、もし目標の本の数を達成したら2冊、3冊と本を借りられる等) ・イベントが多い図書館 ・本の展示がある (読んだことのない人にもわかるように、ちょっとした本の紹介文を書いて展示する等)

イ 理想の図書館像に近づくためのレシビ

Aグループ	Bグループ	Cグループ
<ul style="list-style-type: none"> ・パーソナルスペースを充実させる (少し照明を落としたスペースをつくる、防音室をつくり子どもたちのスペースにする、飲食できるスペースをおしゃれにして会話もOK等) ・カフェを作る ・館内環境を良くする (館内観葉植物などインテリアも考えて、座りごこちの良い席をおく等) ・イベントを増やす (ライブが毎日ある、タイムリーな企画展示等) ・専門家を置く (コンシェルジュ常駐、保育士が常にいる等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・予算を増やす (予算がないので出来ませんではなく、実現するための方針を示してほしい、図書館の資料の為の予算を市民に知らせる等) ・市民のニーズを知る (市民を入れた蔵書購入委員会設置、月1回位(週1回位) 関心のある事の投票箱を設ける等) ・寄付を募る (本を買うための寄付BOXを置く、市民から郷土資料を集める等) ・蔵書のデジタル化を進める ・特色を作る (日刊誌・月刊誌専門館の設置、図書館に得意分野を作る等) ・スタッフの質を向上させる (本についての情報に詳しい職員を置く等) ・場所を拡大する (配架場所を広くするため、建て替える等) ・本についての情報を提供する 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントを企画する (人気のある作者をピックアップ、セリフかるた大会やビンゴ大会をする等) ・ポイント制にする (ポイントカードをつくる、利用頻度に応じてポイントがたまる、ポイントで展示権ゲット等) ・人気投票をする (何かの人気ランキングをつくる等)

ウ 理想の図書館像

Aグループ	Bグループ	Cグループ
「リラクゼーション図書館」	「見つける見つかる！！心が豊かになるみんなの図書館」	「みんなが行きたくなる図書館」

リラクゼーション図書館 緑:本8・分3

- ・いすがたくさんある図書館
- ・ミニコンサートがある
- ・くつろげる(座るスペースが心地よい)
- ・明るく広々としている所
- ・ゆっくり過ごせる図書館
- ・リラックスできる
- ・畳のスペースがある
- ・明るい
- ・お茶を楽しみながら本が読める
- ・ホテルのような図書館
- ・個人空間がある
- ・他の人の顔が見えづらい席

パーソナルスペースを充実させる 緑:本6・分8

- ・少し照明を落としたスペースをつくる
- ・断音室をつくり子どもたちのスペースにする
- ・飲食できるスペースをおしゃれにして会話もOK
- ・昼食がとれるスペースをつくる
- ・ランチをとれる場所・店必要
- ・BGMを流す
- ・オーディオルームの充実
- ・ベランダを活用する

サードプレイス図書館 緑:本4・分1

- ・ランチができるレストランがある
- ・館内のレイアウトがしゃれている
- ・コーヒーのサービスがある
- ・オシャレなカフェがある

カフェをつくる 緑:本25・分14

- ・スターバックス開設
- ・コーヒーサーバー常備
- ・おいしいパン屋が毎日来る

館内環境を良くする

- ・座りごこちのよい席を置く
- ・館内観葉植物などインテリアも考えて
- ・いすスペースをたくさん

ジェネレーションフリー図書館 緑:本8・分3

- ・親子連れ(小さい子)の多い所
- ・赤ちゃんも来られる図書館
- ・老人に優しい気配りのある図書館
- ・ほのほの

イベントを増やす 緑:分2

- ・ライブが毎日ある
- ・イベントを増やす
- ・作家さんの講演会とか交流会など
- ・タイムリーな企画展示

専門家を置く 緑:本1・分1

- ・マッサージ師常駐
- ・保育士さんが常にいる
- ・コンシェルジュ常駐



Aグループ

84

<理想の図書館像>

リラクゼーション図書館



●は7月19日~31日に和光市図書館(本館・分館)内で来館者に「いいねシール」により投票していただいた結果を示している。グループ名横の●の中の数字は、グループで獲得したシールの合計数。
●と●は、7月15日当日に作業過程でグループ内で投票した結果を示している。

資料が豊富 緑:本4・分3

- ・蔵書が豊か
- ・本が多い
- ・読みたい本をあまり待たずに読める
- ・希少な本もあいてある。
- ・一般受けしなくても良書がある。
- ・新しい本が早く入る
- ・山岳関連図書専門の蔵書

予算を増やす 緑:分4

- ・予算を増やす
- ・予算増をうたえる
- ・図書館予算を増やす
- ・予算がないので出来ませんではなく、実現するための方針を示してほしい
- ・本を買う！買う！
- ・図書館の資料の為に予算を市民に知らせる
- ・民活の導入

市民のニーズを知る 緑:本1・分1

- ・市民を入れた蔵書購入委員会設置
- ・月1回(週1回)関心のある事の投票箱を設ける
- ・読みたい本(ジャンル)についてのニーズを知る

寄付をつのる 緑:分1

- ・本を買うための寄付 BOX を置く
- ・一般の人から読み終わった本をもらう
- ・市民から郷土資料を集める
- ・新刊本の寄付をすると買い物ポイントがもらえる

蔵書のデジタル化を進める 緑:分1

- ・Web-DB 利用
- ・電子ブック導入

特色をつくる 緑:本2・分2

- ・日刊誌、月刊誌専門館の設置
- ・図書館に得意分野を作る 芸術・美術など

スタッフの質を向上させる

- ・職員はめんどくさがらずに対応してほしい
- ・本についての情報に詳しい職員を置く

場所を拡大する 緑:分1

- ・本を置く場所を新たに作る
- ・配架場所を広くするため、建て替える

本についての情報を提供する 緑:本1

- ・書評が読みやすい、手に入りやすい



Bグループ 21

**<理想の図書館像>
見つける見つかる！！
心が豊かになる
みんなの図書館**



●は7月19日～31日に和光市図書館(本館・分館)内で来館者に「いいねシール」により投票していただいた結果を示している。グループ名横の●の中の数字は、グループで獲得したシールの合計数。
●と●は、7月15日当日に作業過程でグループ内で投票した結果を示している。

●●●

ポイント配布型

- ・借りる本のノルマを決め、もし目標の本の数を達成したら2冊、3冊と本を借りられる。
- ・雑誌などの付録を配布してほしい

●

イベントが多い図書館

● 緑：本1

- ・イベントが多い

●

本の展示がある

●● 緑：本1・分1

- ・読んだことのない人にもわかるように、ちょっとした本の紹介文を書いて展示する
- ・展示がある

●●●●● ●

イベントを企画する

● 緑：分1

- ・宣伝をして、どこで何をするのかを考え、企画する
- ・人気のある作者をピックアップ
- ・読者の皆さんが書いたイラストを展示する
- ・テーマ(人気のアニメや歴史など)を決めたビブリアバトル
- ・アニメ本や小説の付録などを集め(使わなくなったもの)、イベントを行う
- ・展示に合わせて仮装
- ・画用紙などに本の紹介文をかき、またイラストや模様を加える

●●●●● ●●●●●

ポイント制にする

●●●●● 緑：本3・分1

- ・ポイントカードをつくる(使えるようにする)
- ・利用頻度に応じてポイントがたまる
- ・ポイントカードにためて図書貸出冊数増える
- ・和光市図書館ボランティアをするとポイントがたまる
- ・ポイントで展示権をゲット

●●

人気投票をする

- ・何かの人気ランキングをつくる
- ・人気投票をする

●● ●

セリフかるた大会をする

● 緑：本1

- ・セリフかるた大会をする

●●●●● ●●●●●

ビンゴ大会をする

●●●●● 緑：本5・分4

- ・ビンゴやカルタなどの遊びイベントがある(景品あり)



Cグループ 18

<理想の図書館像>
みんなが行きたくなる
図書館



●は7月19日～31日に和光市図書館(本館・分館)内で来館者に「いいねシール」により投票していただいた結果を示している。グループ名横の●の中の数字は、グループで獲得したシールの合計数。
●と●は、7月15日当日に作業過程でグループ内で投票した結果を示している。

(4) 図書館ボランティア団体アンケート調査

- 調査対象：和光市図書館で活動している図書館ボランティア団体
 - 調査時期：平成29年6月5日（月）～6月13日（火）
 - 調査方法：各ボランティア団体の代表者へFAX
 - 回答団体：7団体
 - ア 和光絵本とお話の会
 - イ ひまわり倶楽部
 - ウ 朗読の会あめんぼ
 - エ ワンダークラブ
 - オ 影絵サークルペンぎん
 - カ あゆみの会はじめのいっぽ♪
 - キ 和光布絵本の会ゆりかご
- ※以下、団体名欄のア～キは、それぞれ上記の団体をあらわす。

①活動の内容を教えてください（内容・頻度・メンバー等）

団体	内容
ア	図書館、保育園、学校にて絵本の読み聞かせと素話を定期的に行う（図書館/毎週・保育園/毎月・学校/不定期）。 会員数18名。
イ	絵本の読み聞かせ、パネルシアター等。月4回ぐらい。主な活動メンバーは4名。
ウ	第三小（読み聞かせ、毎週月曜朝、メンバーはあめんぼから10名参加）。たけのこクラブ（紙芝居、月1回メンバー2～3名）。 グループホームひかりの里（朗読月1回メンバー4名）。下新倉児童館、学童保育クラブ（読み聞かせ各年5回ずつ位、メンバー2～5名）。白子小（大石真作品の朗読、年1回、メンバー10名位）他依頼があれば、その都度出むいている。
エ	英語絵本の読み聞かせ、外国の歌、ゲームを子供達とその親に楽しんでいただく。
オ	影絵の制作、上演を行う。月1回の定例会。 現在5名。
カ	本館→わらべうたと絵本の会（毎月1回）。 分館→わらべうたと絵本の会（隔月）。
キ	布の絵本（各4冊）の制作。 月2回、隔週水曜日。現在10名。

②ふだん活動していて大変なことや、困っていることはありますか

団体	内容
ア	参加する子供達の数の減少。
イ	特にありません。
ウ	ボランティアに出向く場所や回数が大変多く、当番表作りなどにも苦労しています。手分けして担当し、作成しています。ボランティア先で、企画や運営等の会議がある場合、その出席が負担になっています
エ	読み手へのリハーサルの時間がない（レベルの維持がむずかしい）企画、準備の人手がない。
オ	部員の高齢化、人数が7名から5名に減ってしまったこと。
カ	スタッフの数が増えてくれると良い。
キ	予算が少ないことから、購入希望（キャンバス地1巻）が叶わない。購入先が1件しかないことと、立替払いができないなどで、品物が揃わないことがある。分館用に作成したカレンダーや本館のタペストリーを交換展示して、多くの子供達に見て欲しいと思っているが、当面考えていないとのことで、大変残念に思っている。

③今後、どのように活動を進めていこうと考えていますか（現状維持、拡大等）

団体	内容
ア	子供が参加しやすい環境作りと、呼びかけを行っていきたい。
イ	無理せず楽しく活動したいと思います。
ウ	メンバーも高齢化しており、体調等にも無理のないよう、現状維持でやって行こうと考えています。
エ	活動を年1回（図書館まつり）などにしぼりたい。
オ	影絵を上演するのに、あと2~3人増やすこと。
カ	現状維持で今の活動をとにかく地に足をつけて行っていきたい。
キ	当面現状維持だが、メンバーが増えてきて、拡大したい思いもあるが、予算との兼ね合いがあるので、難しいとも思われる。

④今までできなかったけれど、今後始めてみたいと思う活動はありますか（それはどのような内容ですか）

団体	内容
ア	特になし。
イ	特にありません。
ウ	無回答
エ	無回答
オ	
カ	スタッフの数が増えるとできる、やってみたい活動はあります（子育て支援センターや保健センターなどでのわらべうた）。
キ	予算内で図書館の指示のもと、貸出用の制作をするのが活動の基本なので、現状では具体的に考えてはいない。

⑤今後活動を進めていくために、どのような支援があるとよいと思いますか（図書館や市役所の支援、ボランティアの支援、利用者の支援など）

団体	内容
ア	図書館からはいつもご支援を頂き、とても感謝しています。今後、参加する子供達を増やせるよう図書館の皆様と考えていきたいと思います。
イ	特に今まで通りで問題ありません。
ウ	遠い地区でのボランティアの依頼が来た場合は、送迎等有れば助かります。
エ	英語が出来て、かつ子供達と楽しく接することのできる人を集めるのがむずかしい。みんなで楽しむ会に、英語絵本の読み聞かせが出来る機会があれば参加したいと思う。
オ	OHP 機械が古いので、新しいの（中古でも）があれば良いと思っています。
カ	ぜひ！！お願いしたいこと！！→わらべうた講習会、絵本読み聞かせ講習会（スキルアップ、フォローアップのため）。
キ	より良い布の絵本を作りたいと思っており、図書館スタッフの方々とはコミュニケーションは取れていると感じているが、物価等勘案した予算を考えていただけると、大変有難いと思う。

和光市（図書館・公民館）に関するアンケート

日ごろより和光市の図書館、公民館事業につきまして、ご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

和光市図書館では平成30年度からの5か年計画である「第2次和光市図書館サービス計画」の策定を予定しています。この計画は、今後、和光市図書館がサービスを行っていく上での指針となるもので、和光市図書館の方向性や取組が書かれたものとなります。今回のアンケートは、この計画策定に伴い、市民の皆さまの意見を反映していくために実施するものです。

また、公民館につきましては、現在、市内の3つの公民館において、主催講座等の学習機会の提供に努めていますが、市民の多様な学習ニーズに対応し、今後の公民館運営をより充実したものとするため、併せてアンケートを実施するものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、この調査は無記名で回答していただくものであり、個人が特定されることはありません。また、皆様からいただきました回答の集計結果は、「市のホームページ」などで公表いたしますが、個人の意見が公表されるものではありませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。

平成29年6月

和光市教育委員会

- 1 このアンケートは平成29年6月1日現在、満18歳以上の全ての市民の中から1,000人の方々を無作為に抽出し、郵送でお送りしています。
- 2 お送りした封筒のあて名のご本人がお答えください。何らかの事情により、ご本人が記入できない場合には、ご本人の意思を反映してご家族の方などが記入してください。
- 3 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、平成29年6月27日（火）までに投函してください。（※切手は不要です。）
- 4 このアンケートについてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

図書館に関すること【和光市図書館下新倉分館】

TEL048-452-6011

FAX048-452-6012

公民館に関すること【和光市中央公民館】

TEL048-464-1123

FAX048-464-0560

はじめに、あなた自身についてお伺いします。

問1 あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)

1 男性	2 女性
------	------

問2 年代をお答えください。(〇は1つ)

1 10代	4 40代	7 70歳以上
2 20代	5 50代	
3 30代	6 60代	

問3 和光市のどの地区にお住まいですか。(〇は1つ)

1 白子	5 本町	9 諏訪原団地
2 南	6 諏訪	10 下新倉
3 中央	7 広沢	11 丸山台
4 新倉	8 西大和団地	

問4 和光市に住んでどれくらいになりますか。(〇は1つ)

1 1年未満	4 10年以上20年未満
2 1年以上5年未満	5 20年以上30年未満
3 5年以上10年未満	6 30年以上

問5 あなたのお仕事は次のうちどれですか。(〇は1つ)

1 自営業	5 学生(予備校生含む)
2 会社員・団体職員(役員含む)	6 パート・アルバイト・派遣職員
3 公務員	7 働いていない
4 専業主婦・専業主夫	8 その他()

市内の図書館についてお伺いします。

問6 市内の図書館(室)で知っているところを教えてください。(〇はいくつでも)

1 和光市図書館本館	4 坂下公民館図書室
2 和光市図書館下新倉分館	5 南公民館図書室
3 中央公民館図書室	

問7 この1年間に市の図書館を利用しましたか。また、利用されている方はどの程度利用しましたか。(〇は1つ)

1 利用したことはない	4 週2~3回利用した	7 月1回程度利用した
2 ほぼ毎日利用した	5 週1回程度利用した	8 年数回利用した
3 週4~5回利用した	6 月2~3回利用した	

問7-1 問7で1を選んだ方にお伺いします。図書館を利用しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1 図書館を利用する時間がないから	6 本を返すのが面倒くさいから
2 図書館までの交通が不便だから	7 本や雑誌はあまり読まないから
3 図書館の開館日・開館時間が自分の都合に合わないから	8 本や雑誌は自分で買うから
4 利用したい本や雑誌が図書館にはないから	9 図書館の場所がわからないから
5 図書館の本は汚れているから	10 電子書籍及びインターネットを利用しているから
	11 その他()

問7-2 問7で2~8を選んだ方にお伺いします。図書館を利用して、どのように思いますか。

(○は1つ) また、不満に思うところがあれば○を付けてください。(○はいくつでも)

1 とても満足している	4 あまり満足していない
2 おおむね満足している	5 満足していない
3 どちらともいえない	6 わからない

不満に思うところはどこですか。	ア 開館時間	オ 職員の対応
	イ 図書・雑誌の量	カ 館内の環境
	ウ 図書・雑誌の質	キ 事業の内容
	エ 貸出冊数・期間	ク その他()

問8 図書館では本やCD・DVDの貸出しのほか次のようなサービスを行っています。ご存知のものを選んで○を付けてください。(○はいくつでも)

1 探している本が貸出中の場合は予約・リクエストができ、返却されると連絡してもらえる
2 パソコン(インターネット)・携帯電話から蔵書検索・予約ができる
3 調べたいことがあるときは、職員に相談し、手伝ってもらえることができる
4 読み聞かせ、朗読会、市民図書館講座、雑誌や本の無償配布などの行事が行われている
5 図書館に来館できない人(障害者等)のために資料の郵送貸出を行っている
6 放送大学の授業を視聴できる
7 市内の学校、保育園、保育クラブなどに本をまとめて貸出している(団体貸出・テーマ本の貸出)
8 インターネットの利用やCD、ビデオ・DVDの視聴ができる
9 公民館図書室において貸出や予約資料の受け取りができる。(利用券の発行は火・土曜日の午後のみ)
10 上記の中に、知っているサービスはない

問9 あなたは、図書館のサービスに、どのようなものがあるとよいと思いますか。(○はいくつでも)

1 開館時間の延長	11 生活に関する情報提供(法律・医療など)の充実
2 市内の機関(国等)や企業の図書館(室)との連携	12 ビジネスに役立つ情報提供(データベース)の充実
3 乳幼児・児童への充実したサービス	13 郷土資料や行政資料の充実
4 ヤングアダルト(中高生くらい)への充実したサービス	14 読み聞かせなどボランティア活動の充実
5 現在働いている世代への充実したサービス	15 図書館内のIT環境(パソコン、インターネット等)の充実
6 高齢者への充実したサービス	16 各種講座や映画会などの充実
7 障害のある方への充実したサービス	17 図書館からの積極的な情報提供
8 在日外国人への充実したサービス(多文化サービス)	18 窓口サービスの自動化(貸出・返却)
9 専門知識を持った職員による的確な資料案内	19 電子書籍の提供サービス
10 丁寧で気持ちのよい職員対応(接客)	20 その他()

問10 図書館についてご意見ご要望がございましたらご記入ください。

--

図書館利用者アンケート（高校生以上）

和光市図書館では、平成30年度からの5ヵ年計画である「第二次和光市図書館計画」および「第三次子ども読書活動推進計画」の策定を予定しています。この両計画は、今後、和光市図書館がサービスを行っていく上での指針となるもので、和光市図書館の方向性や取組みが書かれたものとなります。

今回のアンケートは、利用者みなさんの意見を計画に反映していくため、また、和光市図書館のサービスを発展させるため実施するものですので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成29年5月

和光市図書館長

【和光市図書館の基礎データ（平成28年度）】※28年11月に下新倉分館開館

○登録者人数（平成29年3月31日現在）（和光市民）	53,308人
○図書貸出冊数－図書館・分館	343,305冊
－公民館	7,848冊
○CD・DVD等貸出点数－図書館	20,764点
－公民館	69点
○入館者数（図書館・分館のみ）	272,546人
○リクエスト数－図書館・分館	38,275冊（点）
－公民館	287冊（点）
○レファレンス（資料の案内・相談）件数－図書館・分館	5,457件
－公民館	213件
○人口1人あたりの市内個人貸出資料数	3.53冊
○市内登録率	65.69%
○登録者1人あたりの貸出資料数	5.74冊
○人口1人あたりの資料数	2.56冊
○主な集会行事	
・絵本とおはなしの会〈子ども〉	・絵本に関する講座〈子ども〉
・子どもの科学〈子ども〉	・子どものための読書会〈子ども〉
・図書館クラブ〈子ども〉	・英語絵本の読み聞かせ〈子ども〉
・市民図書館講座〈大人・子ども〉	・図書館シネマ〈大人・子ども〉
・図書館まつり〈大人・子ども〉	・大人のための朗読劇場〈大人〉
・図書館ボランティアを対象とした講座〈大人〉	

問1 はじめに、あなたご自身についてお聞きします。(○はそれぞれ項目で1つずつ)

性別	1 男性	2 女性				
年齢	1 15～19歳	3 30～39歳	5 50～59歳	7 70歳以上		
	2 20～29歳	4 40～49歳	6 60～69歳			
お住まい	1 白子	4 新倉	7 広沢	10 下新倉		
	2 南	5 本町	8 西大和団地	11 丸山台		
	3 中央	6 諏訪	9 諏訪原団地	12 その他(市外)		
職業	1 自営業	3 公務員	5 学生(予備校生含む)	7 働いていない		
	2 会社員・団体職員(役員含む)	4 専業主婦・専業主夫	6 パート・アルバイト・派遣職員	8 その他		
勤め先や学校等の場所 ※市外在住の方のみ記入	1 和光市内	2 朝霞市・志木市・新座市・板橋区・練馬区		3 その他		

問2 図書館の利用状況についておうかがいします。

(1) あなたは和光市図書館(本館・分館)をどの程度利用していますか。(○は1つ)

1 ほぼ毎日	3 週2～3回	5 月2～3回	7 年数回
2 週4～5回	4 週1回	6 月1回	8 今回が初めて

(2) あなたは図書館を利用する主な目的は何ですか。(○はいくつでも)

1 本や雑誌、CD・DVD等を借りるため	5 勉強や仕事をするため
2 図書館の本、新聞、雑誌等を読むため	6 講座や読み聞かせ等に参加するため
3 インターネット、CD・DVD等を閲覧するため	7 放送大学の授業を視聴するため
4 調べものをするため	8 その他()

問3 図書館の事業内容やサービスなどについておうかがいします。

(1) 「図書館の資料の所蔵状況」について、どれくらい満足していますか。(○はそれぞれ項目で1つずつ)

	とても満足している	おおむね満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	わからない
① 図書の量(平成28年度)						
一般書 108,327冊	→ 1	2	3	4	5	6
児童書 79,334冊						
郷土行政資料 4,804冊						
② 図書の質	→ 1	2	3	4	5	6
③ 新聞の量 本館:27紙 分館:19紙	→ 1	2	3	4	5	6
④ 新聞の質	→ 1	2	3	4	5	6
⑤ 雑誌の量(平成28年度)						
本館:212種類 分館:139種類	→ 1	2	3	4	5	6
⑥ 雑誌の質	→ 1	2	3	4	5	6
⑦ CD・DVDの量(平成28年度)						
CD 7,923点・DVD 1,013点	→ 1	2	3	4	5	6
⑧ CD・DVDの質	→ 1	2	3	4	5	6

(2) 「図書館サービス」について、どれくらい満足していますか。(○はそれぞれ項目で1つずつ)

		とても満足 している	おおむね満 足している	どちらとも いえない	あまり満足 していない	満足してい ない	わからない
① 開館時間 (本館：月～金9時30分～20時 土・日9時30分～18時 分館：火～日9時30分～18時)	→	1	2	3	4	5	6
② 貸出の冊数・期間 (貸出冊数一本・雑誌15点、 CD・ビデオ・DVD3点) (貸出期間-2週間)	→	1	2	3	4	5	6
③ 返却ポストの設置 (本館、分館、公民館、市役所、コミセン、 総合福祉会館、駅南口自転車駐車場 駅北 口区画整理事務所)	→	1	2	3	4	5	6
④ 図書館相互利用 (朝霞市、志木市、新座市、戸田市、板橋 区・練馬区の図書館が利用できます。)	→	1	2	3	4	5	6
⑤ インターネットからの蔵書検索 (図書館のホームページから検索や予約 ができます。現在貸出中の資料や予約 状況、返却期限がわかります。)	→	1	2	3	4	5	6
⑥ 館内利用者端末での蔵書検索・予約 (本館3台、分館に2台。資料検索や予約がで きます。)	→	1	2	3	4	5	6
⑦ 図書などの質問や問合せに対 するサービス (図書館のカウンターでお探しの資料や 調べものについて相談できます。)	→	1	2	3	4	5	6
⑧ リクエストサービス (貸出中の資料の予約や図書館に ない資料の購入や取り寄せ)	→	1	2	3	4	5	6
⑨ 講座や読み聞かせなど (大人や子どもを対象とした講座や 読み聞かせ、朗読など)	→	1	2	3	4	5	6
⑩ 放送大学の授業の視聴 (放送大学の授業53教科を再視聴 できます。)	→	1	2	3	4	5	6

(3) 「利用環境」について、どれくらい満足していますか。(○はそれぞれ項目で1つずつ)

		とても満足 している	おおむね満 足している	どちらとも いえない	あまり満足 していない	満足してい ない	わからない
① 職員の対応	→	1	2	3	4	5	6
② 閲覧席 (椅子や机の数)	→	1	2	3	4	5	6
③ 視聴コーナー (CD・DVD・ビデオ)	→	1	2	3	4	5	6
④ パソコンコーナー	→	1	2	3	4	5	6
⑤ 会議室	→	1	2	3	4	5	6
⑥ 館内の環境 (明るさ、温度、雑音、においなど)	→	1	2	3	4	5	6
⑦ 本などの探しやすさ (図書等の配置など)	→	1	2	3	4	5	6
⑧ 利用者のマナーやモラル	→	1	2	3	4	5	6

問4 今後、充実させて欲しい資料は何ですか。(5つまで○をつけてください。)

1 コンピュータ関係	10 家事・育児	19 CD
2 宗教・哲学・心理学	11 農業・園芸	20 DVD
3 歴史・地理・旅行	12 美術・音楽・演劇	21 絵本・児童書
4 経済・ビジネス	13 スポーツ	22 ティーンエイジャー
5 教育	14 語学	23 雑誌
6 政治・法律	15 文学・小説	24 外国語資料
7 自然科学	16 文庫・新書類	25 郷土行政資料
8 医療・健康	17 辞書・事典類	26 その他
9 建築・技術	18 大活字本	()

問5 各公民館図書室のサービスについて、ご提案等がありましたらご自由にお書きください。

問6 和光市図書館・下新倉分館のサービスについて、ご提案等がありましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

和光市図書館

「みんなで育てる身近な図書館」を目指して

(第2次和光市図書館サービス計画 2018～2022)

発行日：平成30年3月31日

編集：和光市図書館

発行：和光市図書館

〒351-0114 和光市本町 31-1

電話番号 048-463-8723